



ライオンズクラブ国際協会331-B地区

2025-2026年度

第四回キャビネット会議要録



日時：2026年4月11日（土）

場所：アクア・ベールくしろ

釧路市栄町8丁目3番地

TEL：0154-25-7020



2025-2026 ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区

釧路キャビネット

国際会長

L. A. P. シン

Arvinder Pal Shin

国際テーマ

【We Serve (われわれは奉仕する)】

国際会長メッセージ

【Lead to Serve, Serve to Lead.】

(リーダーシップこそ奉仕、
奉仕こそリーダーシップ。)

地区ガバナー

L. 大島 尚久

地区ガバナースローガン

【豊かな地域づくりに獅子奮迅】

◆釧路キャビネットピンバッチ ◆ コンセプト



釧路川に架かるぬさまい橋から、港を臨むと世界三大夕日が見るものを圧倒し、目を移すと漁船が満を持して出港しようとしています。大漁でありますように！

さあ釧路キャビネットも舳^{もやい}を解いていよいよ出航です。

第四回 キャビネット会議 プログラム

会場：アクア・ベールくしろ

総合受付	9:30～	3F
地区ガバナーチーム会議	10:00～10:40	3F 藤の間
地区コーディネーター会議	10:50～12:00	3F 藤の間
長期計画リサーチ委員会会議	13:00～13:50	3F 藤の間
ミッション1.5会議	13:00～13:50	2F 竹の間
献血・献眼・ 薬物防止委員会会議	13:00～13:50	2F 竹の間
レオ・青少年委員会会議	13:00～13:50	2F 竹の間
LCIF・国際大会委員会会議	13:00～13:50	3F 扇の間
YCE委員会会議	13:00～13:50	3F 檜の間
M・IT委員会会議	13:50～14:40	3F 檜の間
地区名誉顧問会議	14:00～15:20	2F 松の間
アラート委員会会議	14:00～14:20	3F 末広の間
ゾーン・チェアパーソン事前会議	14:20～15:20	3F 末広の間
* キャビネット会議 *	15:30～17:30	3F 末広の間
* 懇親会 *	18:30～20:30	2F 高砂の間

第四回キャビネット会議次第

	司会;運営委員長	L.	おおもり 大森	かずみち 一道			
1	開会宣言並びに開会ゴング		地区ガバナー	L.	おおしま 大島	なおひさ 尚久	
2	出席者の紹介		運営委員長	L.	おおもり 大森	かずみち 一道	
3	物故会員への黙祷		運営委員長	L.	おおもり 大森	かずみち 一道	4頁
4	地区ガバナー挨拶		地区ガバナー	L.	おおしま 大島	なおひさ 尚久	6頁
5	副地区ガバナー挨拶		第一副地区ガバナー	L.	ひろせ 広瀬	ひろと 寛人	7頁
			第二副地区ガバナー	L.	やなぎさわ 柳澤	ゆたか 豊	
6	キャビネット報告						
	報告第1号 : 複合地区各種会議		CAB幹事	L.	きむら 木村	ひろゆき 宏幸	9頁
	報告第2号 : 会員並びにクラブ活動状況報告集計表		CAB幹事	L.	きむら 木村	ひろゆき 宏幸	84頁
	報告第3号 : 331-B地区 LCIF交付金 使用状況報告		CAB幹事	L.	きむら 木村	ひろゆき 宏幸	88頁
7	審議事項						
	議長就任		地区ガバナー	L.	おおしま 大島	なおひさ 尚久	
	議案第1号 : 地区ガバナーの選出について		CAB幹事	L.	きむら 木村	ひろゆき 宏幸	97頁
	議案第2号 : 第73回地区年次大会開催地並びにホストクラブ		CAB幹事	L.	きむら 木村	ひろゆき 宏幸	97頁
	議案第3号 : 第一副地区ガバナーの選出について		CAB幹事	L.	きむら 木村	ひろゆき 宏幸	97頁
	議案第4号 : 第二副地区ガバナーの選出について		CAB幹事	L.	きむら 木村	ひろゆき 宏幸	98頁
	提出議案 : 地区内クラブより提出議案(質問)		CAB幹事	L.	きむら 木村	ひろゆき 宏幸	99頁
8	地区GMTコーディネーター報告			L.	やぶき 矢吹	きだ 定夫	102頁
9	地区GETコーディネーター報告			L.	むらやま 村山	あきら 聡	102頁
10	地区GLTコーディネーター報告			L.	しょうじ 小路	やすたか 泰孝	103頁
11	地区GSTコーディネーター報告			L.	さくらい 櫻井	まさひと 正人	103頁
12	地区LCIFコーディネーター報告			L.	さかもと 坂本	ひし 斉	104頁
13	地区WYPTコーディネーター報告			L.	きのした 木下	ひろゆき 裕幸	104頁
14	各委員会報告						
	長期計画リサーチ委員会		委員長	L.	いとう 伊東	たかし 隆志	105頁
	地区大会委員会		委員長	L.	たかぎ 高瀬	つとむ 力	105頁
	会則・コンプライアンス委員会		委員長	L.	たかはし 高橋	てつや 哲也	105頁
	国際大会・国際協調・LCIF委員会		委員長	L.	いしけん 石田健太郎	たろう 太郎	105頁
	献血・献眼・薬物防止委員会		委員長	L.	さいとう 齋藤	しゅうじ 修嗣	106頁
	レオ・青少年委員会		委員長	L.	ふじい 藤井	よしかず 芳和	
	YCE委員会		委員長	L.	おの 小野寺	かずし 一史	106頁
	M・IT委員会		委員長	L.	うめだ 榎田	きんや 欣也	106頁
	オセアルフォーラム特別委員会		委員長	L.	すぎもと 杉本	たかひで 隆英	106頁
	平和ポスターコンテスト委員会		委員長	L.	よしおか 吉岡	こうじ 幸二	107頁
	アラート委員会		委員長	L.	あさの 浅野	けい 敬一	107頁
	公益財団法人 日本ライオンズ特別委員会		委員長	L.	やなぎさわ 柳澤	ゆたか 豊	107頁
	地区名誉顧問会		地区名誉顧問会議長	L.	なかや 中谷	よしお 宣巨	
	参考資料: ①2026年夏季YCE派遣生、来日生、ホストファミリー一覧表						109頁
	②2025-2026地区及びクラブシェアリング交付金申請可能額一覧表						110頁
	③第3回ガバナー協議会 審議事項(中間決算報告関係、複合年次大会関係)						112頁
15	質疑及びその他						
16	閉会宣言並びに閉会ゴング		地区ガバナー	L.	おおしま 大島	なおひさ 尚久	

第四回キャビネット会議出席者名簿

発言権及び議決権のあるキャビネット構成員			
	役 職	氏 名	出 欠
1	地区ガバナー	L. おおしま なおひさ 大島 尚久	○
2	第一副地区ガバナー 地区LCIF副コーディネーター 長期計画リサーチ副委員長	L. ひろせ ひろと 広瀬 寛人	○
3	第二副地区ガバナー 長期計画リサーチ副委員長 公益財団法人日本ライオンズ 特別委員会委員長	L. やなぎさわ ゆたか 柳澤 豊	○
4	前地区ガバナー 地区名誉顧問 長期計画リサーチ委員長	L. いとう たかし 伊東 隆志	○
5	地区名誉顧問会議長 長期計画リサーチ委員	L. なかや よしお 中谷 宣巨	○
6	キャビネット幹事(全般) 長期計画リサーチ委員	L. きむら ひろゆき 木村 宏幸	○
7	キャビネット会計(広報)	L. おおつ こうぞう 大津 幸三	○
8	地区GMT コーディネーター	L. やぶき だて夫 矢吹 定夫	○
9	地区GET コーディネーター	L. むらやま あきら 村山 聡	○
10	地区GLTコーディネーター 長期計画リサーチ委員 公益財団法人日本ライオンズ 特別委員会副委員長	L. しょうじ やすたか 小路 泰孝	○
11	地区GST コーディネーター	L. さくらい まさと 櫻井 正人	○
12	地区LCIF コーディネーター	L. きもと ひとし 坂本 斉	○
13	地区WYPT コーディネーター	L. きのした ひろゆき 木下 裕幸	○
14	第1R第1Z ゾーン・チェアパーソン	L. わたべ 候司 渡部 候司	○
15	第1R第2Z ゾーン・チェアパーソン	L. はせがわ まつみ 長谷川松美	○
16	第2R第1Z ゾーン・チェアパーソン	L. さとう 利博 佐藤 利博	○
17	第2R第2Z ゾーン・チェアパーソン	L. たなか かおり 田中 香織	○
18	第3R第1Z ゾーン・チェアパーソン	L. おおくま ひでゆき 大熊 秀之	○
	第3R第2Z ゾーン・チェアパーソン	L.	
19	第4R第1Z ゾーン・チェアパーソン	L. はしもと しゅうじ 橋本 修司	○
20	第4R第2Z ゾーン・チェアパーソン	L. さき木 隆博 佐々木 隆博	○
21	第4R第3Z ゾーン・チェアパーソン	L. おかや しげかつ 岡谷 繁勝	×
22	第5R第1Z ゾーン・チェアパーソン 第5R 地区MIT・YCE委員	L. かんとう まさひろ 関東 正浩	○
23	第5R第2Z ゾーン・チェアパーソン	L. いとう みつたか 伊藤 光隆	○
24	地区大会委員長	L. たかせ つとむ 高瀬 力	○
25	会則・コンプライアンス 委員長	L. たかはし てつや 高橋 哲也	○
26	国際大会・国際協調・ LCIF委員長	L. いしだけんたろう 石田健太郎	○
27	献血・献血・薬物防止 委員長	L. さいとう しゅうじ 齋藤 修嗣	○
28	レオ・青少年委員長	L. ふじい よしかず 藤井 芳和	○
29	YCE委員長	L. おのの かずし 小野寺一史	○
30	M・IT委員長	L. うめだ きんや 榎田 欣也	○
31	オセアルフォーラム 特別委員長	L. すぎもと たかひで 杉本 隆英	○
32	平和ポスターコンテスト 委員長	L. よしおか こうじ 吉岡 幸二	○
33	アラート委員長	L. あさの けいいち 浅野 敬一	○

その他 キャビネット地区役員			
	役 職	氏 名	出 欠
1	地区名誉顧問	L. ふじわら えいこう 藤原 回向	○
2	地区名誉顧問	L. あべ あきら 阿部 あきら	○
3	地区名誉顧問	L. かがわ としお 香川 俊雄	×
4	地区名誉顧問	L. おくやま としお 奥山 壽雄	×
5	地区名誉顧問	L. やまだ まさあき 山田 正昭	○
6	地区名誉顧問	L. さとう 信雄 さとう 信雄	○
7	地区名誉顧問	L. いのうら よしあき 井ノ浦義明	○
8	地区GMT 副コーディネーター	L. おた 好啓 太田 好啓	×
9	地区GET 副コーディネーター	L. いしだ そうごん 石田十羽完	○
10	地区GLT 副コーディネーター	L. うめだ みき 梅田 三樹	○
11	地区GST 副コーディネーター	L. かわと 正和 川人 正和	○
12	地区WYPT 副コーディネーター	L. くまがい かずゆき 熊谷 一行	○
13	地区大会事務局長	L. ふくや 龍彦 古谷 龍彦	×
14	地区大会事務局次長	L. あおき ひでゆき 青木 秀史	○
15	地区大会事務局次長	L. あべ 将和 阿部 将和	×
16	会則・コンプライアンス 副委員長	L. にし池 聡 西池 聡	×
17	国際大会・国際協調・ LCIF副委員長	L. ささき 木良吉 佐々木 良吉	○
18	献血・献血・薬物防止 副委員長	L. みやきた こうえつ 宮北 晃悦	○
19	レオ・青少年副委員長	L. せいの よしあき 清野 芳明	×
20	YCE副委員長 アラート副委員長	L. さとう 豪一 さとう 豪一	○
21	M・IT副委員長	L. ふなやま かずひろ 舟山 和宏	○
22	M・IT副委員長	L. ばば 英樹 馬場 英樹	○
23	オセアルフォーラム 特別副委員長	L. しま こうじ 島 孝治	○
24	オセアルフォーラム 特別副委員長	L. さとう くにひこ 佐藤 邦彦	○
25	オセアルフォーラム 特別副委員長	L. てらなか 賢次 寺中 賢次	○
26	平和ポスターコンテスト 副委員長	L. まつなみ まさゆき 松並 正幸	○
27	第1R 地区MIT・YCE委員	L. まつさき まさゆき 松崎 正幸	○
28	第2R 地区MIT・YCE委員	L. きたはし ひろし 北橋 完	×
29	第3R 地区MIT・YCE委員	L. かとう れいち 加藤 礼市	○
30	第4R 地区MIT・YCE委員	L. ひがしはら よしゆき 東原 義幸	○
31	第2R・第2Zゾーン委員 (兼LCIF委員)	L. はやかわ なおひさ 早川 直久	×
32	第3R・第1Zゾーン委員 (兼LCIF委員)	L. まつもと みつぶ 松本 光伸	○
33	第3R・第2Zゾーン委員 (兼LCIF委員)	L. なかはら ひろゆき 中原 弘之	○
34	第4R・第1Zゾーン委員 (兼LCIF委員)	L. まつだ はじめ 松田 肇	○
35	第4R・第2Zゾーン委員 (兼LCIF委員)	L. みやじま みつぐ 宮島 貢	○
36	第4R・第3Zゾーン委員 (兼LCIF委員)	L. まつもと たかゆき 松本 孝幸	○
37	第5R・第1Zゾーン委員 (兼LCIF委員)	L. たけひろ ひろし 為広 裕司	○
38	第5R・第2Zゾーン委員 (兼LCIF委員)	L. いいた まもる 飯田 守	○
39	長期計画リサーチ委員	L. にのみや ゆういち 二宮 雄一	○
40	長期計画リサーチ委員	L. さとう けんじ 佐藤 健治	○
41	長期計画リサーチ委員	L. いしむら よしゆき 石邑 義幸	○
42	地区会計監査委員	L. さびら 靖人 淋代 靖人	○
43	地区会計監査委員	L. おの てつや 小野 哲也	○
44	運営委員長(副幹事)	L. おおもり かずみち 大森 一道	○
45	運営副委員長(副幹事)	L. わたぬま ゆうすけ 綿貫 裕介	×
46	運営委員(副幹事)	L. いだ 正昭 井田 正昭	○
47	運営委員(副幹事)	L. あいばら ゆきお 相原 幸雄	×
48	運営委員(副幹事)	L. あさの かずひろ 浅野 一弘	×
49	運営委員(副幹事)	L. あさの みつる 浅野 目 充	○
50	運営委員(副幹事)	L. くまがい あきお 熊谷 明男	×
51	運営委員(副幹事)	L. おばら 修幸 小原 修幸	○
52	運営委員 (副会計)	L. あきもと 邦宏 秋元 邦宏	○
53	運営委員 (副会計)	L. たかはし きよみ 高橋 清美	○

地区役員53名うち欠席13名

合計86名 欠席14名

オブザーバー

留萌みなとライオンズクラブ	L. みやしたやひろ 宮下泰裕	○
富良野次期キャビネット事務局	ありもとよし江 有本好江	○
富良野次期キャビネット事務局	おたか ことみ 太田琴美	○

その他会議出席者

事務局長	L. たけだ ただし 武田 真使	○
事務局員	さとう ゆかこ 佐藤祐雅子	○
事務局員	わかづき きよみ 若月 聖美	○

キャビネット会議出席人数 78名

33名のうち、欠席1名

物 故 会 員

(2026年1月16日～2026年3月15日迄の物故者名)

獅子の魂は永遠に

獅子の肉体は滅びても培われた魂は滅びず、永く世に貢献する。北の大地で志を半ばにしてご逝去された、我が同士の雄姿を忘れることは決してなく、獅子の栄誉は永遠に銘記されていく。故人に寄せる想いは去りがたく331-B地区会員一同謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

2026年2月24日	ひらさわゆきお L. 平沢 幸雄	80歳	(富良野LC)
2026年2月27日	ふじた ひろみ L. 藤田 裕三	88歳	(東川LC)

地区ガバナー挨拶
副地区ガバナー挨拶



地区ガバナー挨拶

L. 大島 尚久

第4回キャビネット会議にご出席いただきまして誠にありがとうございます。つい先日第1回を開催したばかりのような感覚というのが正直な感想でございます。

キャビネットとしての様々な事業や、クラブへのサポートなどを進めるうえで至らない点もあったと存じますが、皆様のご尽力で、ほぼ順調に経過していますことをこの場をお借りして感謝申し上げます。

前回のキャビネット会議はズーム会議ということで、聞きたいことが聞きづらく、言いたいことも言いにくく消化不良だったのではと拝察いたします。

今回は、そのような消化不良にならないよう十分に聞き、十分に発言していただき、クラブ会員の皆さんにキャビネットの動きを伝える諮問委員会を、開いていただきますようお願いいたします。

第4回の諮問委員会は、議題があまり無いといわれますが次期への引継ぎ、今期の反省、目立った活動のあったクラブへの表彰、懇親など、キャビネット会議の報告以外の企画を盛り込んでいただければ幸いです。また、副地区ガバナーがおりますリジョンは招待して、今後のキャビネットの進め方などの抱負を聞く場としても良いのではと思います。

さて、今期の大きな行事は年次大会のみとなってしまいました。

L高瀬大会委員長が中心となって、鋭意準備しておりますので期待していただければと思います。1年の締めくくりの場として私も、キャビネットとしての活動についてしっかり報告したいと思いますのでその点もご期待ください。

ガバナーとしてまだ残り2か月以上ある時期にお話しするのは早いかもしれませんが、9か月間、実にいろいろな経験をさせていただき感謝に堪えません。

自分なりに『獅子奮迅』精一杯頑張りましたが、至らぬ点があったにもかかわらず、温かく見守っていただいた名誉顧問の皆様、ご指導下さいました諸先輩の皆様、賛同や励ましの声をかけてくださいました、全てのライオンズ会員の皆様、誠にありがとうございました。

今回、ガバナーという役職をさせていただき、ますます世界的組織であるライオンズクラブの素晴らしさを実感しましたので、任期が終わってからも、この気持ちを多くの方に伝えていきたいと思います。

全ての事業についてコメントしたいところですが、時間の都合上割愛させていただくことをお許しください。

結びとなりますが今回のキャビネットに関わった全ての皆様、今回の経験が無駄にせず、今後のライオンズクラブの活動に活かしていただきますようお願いいたします、第4回キャビネット会議のご挨拶といたします。ありがとうございました。

第一副地区ガバナー挨拶

L. 広瀬 寛 人

皆様、こんにちは。昨年3月に釧路で開催されましたコーディネーターとZCの研修会を皮切りに、実質スタートしてから遂に第4回のキャビネット会議開催ということで、最終コーナーを回り年次大会まで直線ダッシュのフェーズとなりました。

L大島ガバナーの力強いリーダーシップで、LCIFの目標も達成されたようで、地区内の全てのメンバーに感謝申し上げたいと思います。

釧路キャビネットの有終の美を飾るにはM1.5つまりは会員拡大、各クラブの会員が純増で新たな7月1日を迎えることに他なりません。

何処のクラブでも、年次の変わり目に退会者が出ることは経験済みと思います。

もう一度クラブメンバーの動静に目を凝らして、温かなメンバーシップで退会者を抑止することと、新たな息吹をもたらす新入会員の発掘に取り組んで頂きたいと思います。

私自身は次年度の富良野キャビネットの立ち上げ作業で四苦八苦しておりますが、本年度の会員を減らすことなく次年度をスタート出来る事は、正に釧路キャビネットの成功が、富良野キャビネットの善きスタートになることと理解をしております。

331-B地区の友愛が更に深まることを願い、第一副地区ガバナーとして最後のご挨拶に致します。

第二副地区ガバナー挨拶

L. 柳澤 豊

早いもので、第4回キャビネット会議となり、今期も残すところあと3か月ほどとなりました。

これまで大島ガバナーを始め釧路キャビネット役員の皆様、大変ご苦勞様でした。

また、ガバナーチームの第二副地区ガバナーとして、大変お世話になりました。

今後は第72回地区年次大会(釧路大会)において、次期第一副地区ガバナーとしての立候補をいたしますので、キャビネット役員の皆様、そして、各クラブの皆さん今後共よろしくお願ひ申し上げます。

また、次期もL広瀬第一副地区ガバナーを筆頭に、新たな年度に向けての準備となる研修が今後ありますが、初心を忘れずに、ライオンニズムに邁進する所存でございます。

各66クラブの皆様においても、次期のそれぞれのクラブ運営と奉仕活動に従事していただき、それぞれの地域でのWe・Serveを今後共よろしくお願ひ申し上げます。

報告事項



(報告第1号)

複合地区各種会議

- 一般社団法人日本ライオンズ
 - ◆ 社員総会（全国ガバナー会）
 - (2025. 12. 8) 第2回社員総会議事要録 10 頁
 - ◆ 理事会 議事録
 - (2026. 1. 27) 第7回理事会議事要録(HB開催) 20 頁
 - (2026. 2. 25) 第8回理事会議事要録(HB開催) 28 頁
 - ◆ P R マーケティング委員会
 - (2026. 2. 4) 2025-2026 第2回 P R マーケティング委員会
合同委員会議事要録(Zoom併用) 38 頁
 - ◆ 会則委員会 議事録
 - (2025. 12. 9) 2025-2026 第3回会則委員会HB議事要録 43 頁
 - ◆ 国際大会委員会 議事録
 - (2026. 1. 7) コンペ開催および第6回議事要録（対面+Zoom） 50 頁
 - (2026. 2. 2) 第7回国際大会委員会(HB)議事要録 57 頁
 - ◆ Y C E 委員会 議事録
 - (2026. 2. 18) 2025-2026 第4回 Y C E 委員会【対面】議事要録 64 頁
 - ◆ アラート委員会 議事録
 - (2026. 1. 21) 2025-2026年度 第3回アラート委員会(HB)議事要録 71 頁
 - (2026. 2. 17) 2025-2026年度 第4回アラート委員会(WEB)議事要録 76 頁
 - ◆ ライオン誌日本語版委員会
 - (2026. 1. 8) 2025-2026 第5回会議（ZOOM）議事録 81 頁
 - (2026. 2. 4) 2025-2026 第6回会議
合同委員会議事要録(Zoom併用) 41 頁

2025年12月8日(月) 13:30-16:30

AP日本橋 Fルーム

出席者リスト

<正社員> 2025-26年度

- 330-A 地区ガバナー 上野 繁 幸
- 330-B 地区ガバナー 森川 吉 孝 【欠席】
- 330-C 地区ガバナー 三浦 宏 仁
- 331-A 地区ガバナー 山崎 巖
- 331-B 地区ガバナー 大島 尚 久
- 331-C 地区ガバナー 高橋 伸 介
- 332-A 地区ガバナー 藤田 鉄 哉
- 332-B 地区ガバナー 廣田 清 実
- 332-C 地区ガバナー 斎藤 孝 一
- 332-D 地区ガバナー 酒井 富 也
- 332-E 地区ガバナー 横山 昭 子
- 332-F 地区ガバナー 野宮 加代子
- 333-A 地区ガバナー 林 隆 行
- 333-B 地区ガバナー 前原 正 義
- 333-C 地区ガバナー 廣瀬 直 樹
- 333-D 地区ガバナー 荻野 匡 司
- 333-E 地区ガバナー 若林 純 也
- 334-A 地区ガバナー 速水 清 朗
- 334-B 地区ガバナー 加藤 謙 一
- 334-C 地区ガバナー 杉山 節 雄
- 334-D 地区ガバナー 森川 直 之
- 334-E 地区ガバナー 飯田 重 光
- 335-A 地区ガバナー 栗栖 正 明
- 335-B 地区ガバナー 笹部 美千代
- 335-C 地区ガバナー 田端 俊 三
- 335-D 地区ガバナー 船橋 佳 照
- 336-A 地区ガバナー 向 和 人 ※【欠席】
- 336-B 地区ガバナー 榎本 明
- 336-C 地区ガバナー 宮本 浩 二 ※【欠席】
- 336-D 地区ガバナー 日下 眞 二 ※【欠席】
- 337-A 地区ガバナー 松村 誠
- 337-B 地区ガバナー 増田 勝 也
- 337-C 地区ガバナー 川原 保 治
- 337-D 地区ガバナー 脇黒丸 一典
- 337-E 地区ガバナー 熊宮 敏 紘

(2025-26年度)

- 一般社団法人日本ライオンズ前理事長 松浦 淳 一 ※【欠席】
- 公益財団法人日本ライオンズ理事長 小野寺 眞 悟

(2025-26年度 協議会議長)

- MD330 議長 倉田 雅 史
- MD331 議長 設楽 幸 子 ※【欠席】
- MD332 議長 車田 信 彦
- MD333 議長 水沼 孝 夫
- MD336 議長 山崎 もとみ
- MD337 議長 武永 健治郎

(2024-25年度 協議会議長)

- MD330 議長 伊賀 保 夫
- MD331 議長 諏訪 昇 三
- MD332 議長 渡邊 俊 弥
- MD333 議長 佐藤 裕 幸
- MD334 議長 喜多 友 一
- MD335 議長 廣田 晃 一
- MD336 議長 藤井 信 英
- MD337 議長 濱田 浩 平

(2025-26年度 理事)

- 2025-27 国際理事 仁科 良 三
- 2025-27 国際理事 田名部 智之 ※【欠席】
- 2025-26 LCIF 理事 鶴嶋 浩 二

(2025-26年度 監事) 2年任期の2年目

- MD332 元議長 下間 俊 悦 ※【欠席】
- MD333 元議長 石橋 貞
- MD335 元議長 小林 聰
- MD337 元議長 乗田 泰

<入社予定者> 2025-26年度

- MD334 現議長 浜 一 平
- MD335 議長 津田 勝 之

※議決権行使書

正社員総数 58 名 (出席 50 名・欠席 8 名)

【正社員】 第2回社員総会（全国ガバナー会）出席者数 内訳：
※会議開催時点での人数

	出席	欠席※	小計
DG	31	4	35
理事	16	3	19
監事	3	1	4
<hr/>			
	50	8	58（名）

※欠席8名のうち、7名は議決権行使書受領済み

議決権行使書

第1号議案	社員退社承認の件	賛 7	否 0
第2号議案	新入社員承認の件	賛 7	否 0

オブザーバー

【国際協会】

元国際会長 山田 實紘

【2025-26 日本グローバル・アクション・チーム】

エリアリーダー(MD330, MD331) 小川 晶子

【2025-26 LCIF 日本リーダーズ】

MD334 副コーディネーター 山田 実貴人

【2026-28 年度 国際理事候補者】

松岡 勲 【欠席】

【OSEAL 調整事務局】

事務局長 マーズ 佐子

【顧問】

法律顧問 池田 和司

会計顧問 吉田 宗一郎

【一般社団法人日本ライオンズ事務長】

増澤 義治 【欠席】

【理事長事務局補佐】

田中 俊彦

小口 恒樹

以上

◇喜多理事長あいさつ

インフルエンザが流行っており若干欠席者が出たことは大変残念であるが、社員総会は大変大事な会議であることから、内容は必ず地区に持ち帰り全員に伝えてほしいとあいさつされた

◇ゲスト紹介

伊賀専務理事より紹介、詳細は紙面とする

◇議事録確認者の指名

330-C 地区三浦ガバナー、337-E 地区熊宮ガバナーを指名。

◇議事録作成人の指名

倉田常務理事・武永常務理事を指名。

◇議事

進行：伊賀専務理事

第一号議案：社員退社承認の件

MD334 杉木徹前議長について、一身上の都合により退社届が提出されているため、社員総会へ退社の承認を諮ることの説明の上、審議が行われた。

【本人参加者 50 名 議決権行使による参加者 7 名 全員の賛成により可決】

第二号議案：新入社員承認の件

第 1 回社員総会後に議長交代が行われた MD334 について、8 月 8 日付けにて協議会議長として L 浜一平が選出された報告と、第 1 回社員総会時点で議長が空席となっていた MD335 については、8 月 23 日付けにて L 津田勝之が選出された報告がなされ、日本ライオンズ定款第 7 条 2 項「入社は、社員総会の承認を得なければならない。」に基づき、残任期間に限り正式に正社員として追加入社を承認することを社員総会に提案することが説明された上、審議が行われた。

【本人参加者 50 名 議決権行使による参加者 7 名 全員の賛成により可決】

第二号議案の後、緊急動議が廣田副理事長より発議された。

先ほど入社が承認された浜議長、津田議長を理事会構成員とすることを、定款に基づき社員総会にて承認を頂きたい、という内容。倉田常務理事よりセコンドを頂き動議として有効となることを確認の上総会の場に諮られた。

【MD334 浜議長・MD335 津田議長を理事会構成員として選出することについて、本人参加者 52 名・議決権行使による参加者 7 名 全員の賛成により可決】

◇日本ライオンズ 永年勤続表彰

日本ライオンズ就業規程に基づき、3 名の事務局員が喜多理事長より表彰された。

◇報告事項

・一般社団法人日本ライオンズ 11月までの中間報告：喜多理事長

第1回社員総会で40円の値上げが決定されたことを受け、経費削減やペーパーレス化の推進、ライオン誌送料の負担や各種委員会対面会議旅費における各MDが負担していたプール金の廃止、日本ライオンズが国際会長公式訪問を主幹することでの協力金の配信やセミナーへの支援等、現在までの取り組みと、今後GATとの提携や日本ライオンズ10周年、ワンプラスワンキャンペーン、国際大会でのツアーデスクの設置など、今後の目標について報告を行った。

財務担当責任者である渡邊理事より会費値上げについての補足説明：社団全体で約3,400万円の受取金増加があり、ライオン誌送料減収、旅費交通費分担金等踏まえると1800万程の収益が増加。予算として国際大会、アジアフォーラム関係、各種セミナー補助、国際協会関連費などに充て、各MDの負担軽減へ繋げる。

・PRマーケティング委員会・ライオン誌日本語版委員会：廣田委員長

PRマーケティング委員会はこれまで活動が低調だったが、2024年度より8複合地区間の情報共有を強化し、GAT連携によるミッション1.5達成への啓発活動、SNS活用を通じたライオンズブランド認知度向上に注力。ライオンポータル登録の促進やWEBメディアの強化、事務局DX化等にも取り組みを行う。ライオンズ国際協会、日本ライオンズ、公益財団法人日本ライオンズの知名度を飛躍的に高めていきたいと考えている。

ライオン誌日本語版委員会は『ライオンズ』誌のデジタル化・コスト削減を進め、ウェブマガジン月1回・印刷版年4回の体制を維持しつつ、LINE登録者1万人突破を目標に掲げている。なお喜多理事長の報告にあった通り今年度よりライオン誌印刷版の送料は社団が負担しているが、取材については内製化により大幅に経費削減に成功。今後は各MD委員も取材へ当たる予定。

両委員会は2025年2月に対面合同委員会を開催予定で、相互連携による情報発信力強化を図る。

・国際理事候補者資格審査委員会：諏訪委員長

2025年7月31日時点で国際理事候補として2名が立候補し、資格審査委員会は2回の会議を経て、そのうち1名を推薦した。委員会開催を経て、現行の審査規約やガイドライン、審査委員会の権限や判断基準について明文化が必要であると感じた。そのため会則委員会とも協力し2026年1月以降に第3回委員会を開催し協議を行い、規約作成を目指す。

・会則委員会：渡邊委員長

「ライオンズ必携」と「役員必携」について従来の2冊体制からA4判1冊に合冊し発行することで進めている。併せて、紙媒体だけでなく公式ホームページ上での電子版掲載を行い、会員が最新情報をいつでも閲覧できる環境を整えていく予定である。

・国際大会委員会：伊賀委員長

10月に札幌で開催されたオセアルフォーラムへの協力の呼びかけを行った。結果として多くの参加をいただき、協力への感謝が述べられた。

フォーラム終了後は、2026年香港国際大会への準備に本格移行しており、日本としてまとまって

宿泊をいただくホテル割当の調整や社団負担でのツアーデスク設置など参加の利便性を図り多くの方に大会へ御参加をいただけるよう、また今回は多くの代議員の方にご協力をいただくべく早期登録の呼びかけ（締切：1月30日）を行っている。

・ **YCE委員会：濱田委員長**

日本ライオンズ YCE 委員会は、コロナ禍の間中断していた YCE 事業の回復と拡大を進めている。世界より日本各地への留学希望が高まっている。円安などもあるが日本文化への大きな関心が背景にある。

一方で、受け入れ地域の制限や希望国とのミスマッチといった課題も浮上しており、今年度下半期では8複合地区間での柔軟な調整メカニズムの構築を検討する。

また、長期懸案である「日本ライオンズ全体での YCE 事業一本化」も引き続き議論される予定。YCE は青少年育成の柱として位置づけられ、8MD の皆様と協力し、今後も質の高い体験提供を目指していきたい。

・ **ライオンズクエスト・薬物乱用防止委員会：佐藤委員長**

ライオンズクエストおよび薬物乱用防止委員会を数年ぶりに2部制で開催。全国の現状の課題と成功事例が共有された。

ライオンズクエストは取り組みに地域差が大きいと感じられ、教員の方の働き方改革により協力が得にくいなどの問題もある。今後各地の事例の報告を行っていただくなどデータを持ち寄り、協議を行う予定である。

薬物乱用防止委員会では公益財団法人薬物麻薬乱用防止センターより役員にお越しいただきお話を頂いた。ライオンズの薬物乱用防止活動は、警察や薬剤師主導のものとは比べて子ども・生徒の関心・理解度が高くきめ細かく説明を行うため、効果的と評価を頂いた。複合・地区で資料が必要な場合は日本ライオンズもしくは薬物乱用防止センターへ連絡をお願いします。

次回委員会は2024年2月に対面で開催。

335B地区笹部ガバナーより地区内のライオンズクエスト報告として、クエスト認定講師の有無にかかわらず事業を開催できるように検討中であるが可能かどうかと、薬物乱用の教材費についての質問があり、次回委員会で確認を行う予定。

・ **アラート委員会：藤井委員長**

「全国アラートフォーラム2026 in 大阪」が2026年3月13日（金）にリーガロイヤルホテル大阪で開催される。フォーラムは午後からの開催であるが午前中には第1分科会として第一・第二副地区ガバナーを対象とした「リーダー研修会」、第2分科会としてリジョンチェアパーソン・ゾーンチェアパーソン・クラブ会長をはじめとした方々を対象とした「マッチング分科会」の2つの分科会が実施される。詳細案内は後日、協議会議長および地区ガバナーを通じて改めて送付される予定。

◇ **公益財団法人日本ライオンズ 活動報告：小野寺公益財団理事長**

特別支援学校生徒の協調性の育成を目的とした特別支援学校フットサル大会、児童養護施設在住

児童の学力向上を目的とした寺子屋事業、災害時における子ども支援を行っており、財団として5年7か月にわたり活動を継続している。

特に特別支援学校フットサル地区大会は第4回を迎え、延べにして4,500人の選手が参加し、今年の全国大会は11月1日東京で開催した。現在までの累計寄付金額が伝えられ、財団の事業をクラブまで周知を頂きたいことと、今後の協力を呼びかけられた。

また、財団の事業を通じて児童養護施設出身者の就労定着率の低さや、退所後の経済的脆弱性といった社会的問題も浮き彫りにされていると所感を述べられ、子供たちの未来のためにライオンズクラブがさらに社会問題への関与を行っていくことを強く求められた。

◇国際理事会報告

・名誉理事長 山田元国際会長

日本はLCIFへの寄付額で長年世界1位を維持しており、会員1人あたりの寄付額はアメリカの約10倍に達する。ヨーロッパでは各国が、アメリカは各州のライオンズが事業のための財団をもっており、自国の財団への寄付を優先しているという事情もある。

LCIFへの協力は当然大切ではあるが、寄付のほとんどが国際本部（アメリカ）に送られ、日本国内での可視化された社会貢献活動が不足し、一般市民や若者層にライオンズクラブの価値が伝わらず、組織の認知・評価が低下している。

この問題を解決し、多くの方にライオンズの活動を知っていただき、国内の子供たちへの支援をさらに充実させるべく、2年前から非課税資格を取得した「公益財団法人日本ライオンズ」を通じて、子ども食堂や青少年支援など国内プロジェクトへの支援を強化することについて呼びかけられた。日本のライオンズの力を発揮するためのよいチャンスだととらえていただきたい。ガバナーの皆様にもご理解と、各地での周知をお願いする。

国際理事の選任の流れについては国際理事候補者資格審査委員会の取り組みもあり、周知が進んでいると感じる。第3副国際会長選出プロセスについてもガバナーとして知っておいていただきたいと前置きの上で近年、国際協会にて選出プロセスが透明化・厳格化されたこと、自身もほとんどが元国会長で組織される、第3副国際会長選出に関わる委員会のメンバーに第5会則地域の代表として選出されたことを報告され、配偶者同伴での面接を行うなど委員会から候補者を推薦する流れについて説明された。

候補者として推薦される流れが公平になった分、難易度も高くなっていると所感を述べられ、なりたい人ではなく周囲から見てふさわしい人を会長まで押し上げていくべきだとし、日本からも次世代の国際リーダーを育成し輩出する必要性を訴え、次のステップへ進むためにもまずはガバナーとしての任務をしっかりと果たしてほしいと呼びかけられた。

・仁科国際理事（大会委員会）

自身の国際理事就任経験を踏まえ、ライオンズクラブ国際理事会における意思決定プロセス、特に推薦・承認手続きや時差による会議運営の難しさ、10月のコルカタでの国際理事会に参加した所感を話された。

香港で開催予定の2026年大会（7月3日～7日）における投票に附される国際理事会の国ごとの

選出数の変更と国際理事会定数の変更に言及され、日本としての意思表示を行うため多くの代議員に投票に参加をいただきたいことと、会員一人ひとりの主体的な関与の重要性を強調した。

続いて会員増強の取り組みとして、日本における会員拡大目標（12,072人増）と現状を報告し、自身のライオンズでの経験を共有された。

・鶴嶋 LCIF 理事

LCIF 報告として、地区別の LCIF 寄付達成状況が報告され、全体では 5 割程度の達成率であることと、334-D 地区が 108% で目標を達成していることが示された。また、来年度からクラブ・地区シェアリング交付金のパーセンテージが変更されるため、ガバナーチームによる継続的な資金活用計画の協議について要請された。また LCIF の公式ライン登録とライオン誌への QR コード掲載を呼びかけられた。

MCAT（大災害援助金）が発動されたスリランカ・インドネシア・タイ南部などで発生した大規模被害に対する緊急寄付（目安：1人1,000円以上）が呼びかけられた。寄付は LCIF を通じて現地ライオンズにより被災地支援に活用される。なお LCIF への協力については「献金」という言葉は使わず、「寄付」と表現いただきたい。また今後の災害支援について、まずは社団での建て替えなど検討を依頼された。

◇各種行事報告

・第 62 回 OSEAL フォーラム（札幌）：鶴嶋 LCIF 理事

オセアルフォーラム登録人数は 10,464 人となり、当初目標を若干下回ったものの、4 回の下方修正を経て最終的にプラスで終えることができたことと報告され、改めて協力の感謝が伝えられた。

日本ライオンズ 10 周年を節目に「ジャパン・フォーラム」という名称で全国のメンバーが一同に会し、対話の場を設けるとともに、公益財団記念コンペや LCIF 記念ゴルフコンペなどの交流イベントを併催するよう提案をされた。

・第 6 回 OSEAL レオフォーラム（大阪）：津田議長

11 月 7 日～9 日までの三日間、第 6 回レオフォーラム 2025 が大阪で開催され、想定していた 150 名を大幅に上回る 396 名（海外 93 名、国内 306 名）が参加した。急遽会場を増設するなど柔軟な対応が功を奏し、大きなトラブルなくプログラムを完遂。レオ同士の国際交流が活発に行われ、温かい雰囲気印象的だった。運営は MD335 地区の若手メンバーが中心となり、若い世代の成長を強く感じる場面が多く見られ、運営の経験も大きな財産となるはずである。財務面では登録料を主な収入源とし、泉佐野市の国際フォーラム補助金と、国際協会・LCIF のレオ関係の補助金を 2 件申請中。採択された場合は赤字回避が見込まれる。今後、日本でレオフォーラムを再び開催される場合は「OSEAL フォーラム」と同時開催することで運営効率化と参加拡大を図ることができると思われる、と提案と申し送りがなされた。

・GAT 全日本女性シンポジウム：小川エリアリーダー

11月19日に日本ライオンズ共催として、女性会員拡大のためミッション1.5の一環として開催。

GAT全日本女性シンポジウムは、登録料を当初予定の5,000円から3,000円（ノンライオン2,000円）に引き下げ、一般社団法人日本ライオンズからの補助金（35地区×2万円）を受け開催。当初の想定を大きく上回る参加者となり、オンラインでも約150名が参加。

国会議員が基調講演、パネリストとして参加し、「ガラスの天井を打ち破る」ワークショップ、ダンサーのサム氏による「誰でもダンス」体験など多彩なプログラムを通じ、女性の未来やWFTPで行っている小児がん・こども食堂などを中心に、持続可能な奉仕活動の在り方が議論され、女性リーダーの育成という面でも大きな成果のあるイベントとなった。

イベント後、ノンライオン55名中4名が既に入会し、会員拡大の直接的な成果も見られている。今後複合・地区でも女性会員活躍のためご協力をお願いしたい。

・キャンパスクラブ・カンファレンス：山田実貴人 MD334 副コーディネーター

11月22日・23日「キャンパスライオンズクラブ全国カンファレンス」が日本ライオンズの支援を受け開催。全国から72名が参加し、内約は学生会員が30名、一般会員が42名となり、そのうち10名はZOOMでの参加となった。今年1年でキャンパスライオンズクラブは10クラブ増加している。

学生会員と一般会員が活動内容を共有・対話する初の大規模な場となった。学生会員による活動報告のほか、日本ライオンズ山崎副理事長による一般会員向けの講演が行われ、グループディスカッションを通じて「次世代継承」「活動の質的向上」「卒業後のOB連携」などの課題について意見交換が行われた。

開催後のアンケートでは高い満足度が得られた一方、「開催時期」「旅費支援」「参加対象者」が今後の改善ポイントである。このカンファレンスは、単なる情報交換にとどまらず、キャンパスクラブの持続可能性を確保するための戦略的対話の起点となった。

◇日本ライオンズ 監事講評：石橋監事

本日の決議事項や、永年勤続表彰、報告事項について振り返りを行った。

心身を強く保つことの重要性や、ガバナーに大変多くの出席をいただいたことへの感謝が述べられ、LCIFへの協力と、ガバナーから各クラブへの本日の総会で発信された情報について伝達が呼びかけられた。

◇閉会宣言 伊賀専務理事

以上

議事録作成人

常務理事

倉田 雅史

常務理事

武永 健治郎

議事録署名人

一般社団法人日本ライオンズ 理事長 喜多 友一 【押印省略】

330-C 地区ガバナー 三浦 宏仁 【押印省略】

337-E 地区ガバナー 熊宮 敏紘 【押印省略】

(2025-26 年度)

一般社団法人日本ライオンズ 25-26 年度 第7回理事会議事要録

◎日 時：2026年1月27日(火) 14:00-17:00

◎場 所：兵庫県姫路市「ホテルモントレ姫路」(HB開催)

出席者リスト

理事長	喜多 友一	(上田城南)	【欠席】
副理事長	諏訪 昇三	(札幌時計台)	
副理事長	山崎 もとみ	(大田)	
副理事長	廣田 晃一	(姫路中央)	
専務理事	伊賀 保夫	(東京ピース)	【Web】
常務理事	倉田 雅史	(小田原白梅)	
常務理事	設楽 幸子	(札幌アカシヤ)	【Web】
常務理事	車田 信彦	(玉川)	
常務理事	水沼 孝夫	(真岡)	
常務理事	浜 一平	(岡谷)	
常務理事	津田 勝之	(大阪桜之宮)	
常務理事	武永 健治郎	(都城きりしま)	
理事	渡邊 俊弥	(仙台五城)	【Web】
理事	佐藤 裕幸	(柏崎日本海)	
理事	藤井 信英	(岡山みらい)	
理事	濱田 浩平	(長崎南)	
理事(前理事長)	松浦 淳一	(岩見沢はまなす)	【欠席】
理事(公益財団法人日本ライオンズ理事長)			
	小野寺 眞悟	(札幌北の杜)	【欠席】
理事('25-27 国際理事)	仁科 良三	(長野みすず)	
理事('25-27 国際理事)	田名部 智之	(八戸)	
理事('25-26 LCIF 理事)	鶴嶋 浩二	(札幌中島)	【欠席】
監事(MD332 元議長)	下間 俊悦	(男鹿)	【欠席】
監事(MD333 元議長)	石橋 貞	(足利西)	【Web】
監事(MD335 元議長)	小林 聰	(姫路広陵)	
監事(MD337 元議長)	乗田 泰	(伊万里)	
<u>オブザーバー</u>			
法律顧問	池田 和司	(東京桜門)	【欠席】
会計顧問	吉田 宗一郎	(東京武蔵野)	【欠席】
日本ライオンズ事務長	増澤 義治	(諏訪湖)	
25-26 理事長事務局補佐	田中 俊彦	(上田城南)	【Web】
25-26 理事長事務局補佐	小口 恒樹	(岡谷)	

※出席者の役職は第7回理事会開始時点での情報となります。

◇会議冒頭

増澤事務長より喜多理事長の手術により入院中であるため、本日欠席であることが報告され、本来、議長は理事長であるが定款 24 条 3 項に記載された「副理事長は、理事長を補佐し、この法人の業務を執行する。また理事長に事故があるとき又は理事長が欠けたときは、理事会が予め決定した順序によって、その業務執行に係る職務を代行する。」に基づき、諏訪副理事長が議長を務めることが説明された。

◇会議冒頭あいさつ

諏訪理事長代理：雪が多く交通機関の状態から今日の会議に間に合わないかと考えましたが到着できて良かったとあいさつ。理事長代理ですが本日はよろしく願います

◇出席確認

増澤事務長：書面に基づき確認。定款 4 1 条により理事の過半数が出席しているため本理事会が成立していることを確認。

◇緊急議案(人事)

喜多理事長が2月中入院のため休職となり、その間諏訪副理事長が代行を務めることと、伊賀専務理事より体調不良のため、理事としては残るものの専務理事辞任届が提出されたことを受け、定款第 2 3 条 4 項に基づき、新専務理事として廣田副理事長を選出することについて協議。全員一致で承認。

◇開会宣言

専務理事 廣田 晃一

議事録作成人の指名

MD334 浜常務理事、MD335 津田常務理事を指名。

◇あいさつ

・仁科国際理事：国際大会のスケジュール変更にふれ、このあと行う国際理事大会委員会に出席することから、今後変更が無いようにしっかり意見交換をしていく約束をして情報開示につなげることを伝えた。また一般社団法人立ち上げと、ライオンズにおける法人格理由にふれ、日本に 8 つの MD が存在する強みを活かし、オールジャパンで頑張ろうと呼びかけを行われた。

・田名部国際理事：昨年度会費値上げが社員総会で承認された件に触れ、また自身が理事長として全国のガバナー協議会を訪ねた経験から日本ライオンズとして今こそ一致団結し、会員の理解を得るため努力する必要性について話された。

続いて自身が参加している国際本部会員増強委員会の報告を行った

◆審議事項

1.第 108 回香港国際大会

・伊賀理事より説明：香港国際大会のスケジュール変更の説明と、代議員朝食会開催概要案の説明。

◇スケジュール変更

変更後は7/4が開会式、7/6が閉会式、7/7にパレードが開催される予定である。代議員朝食会について開会式開催日程変更に伴い、当初予定していた7/5より一日早い7/4に変更。

◇開催規模について

・多くの方に投票を行っていただく目的で、参加人数は300人を想定。仁科国際理事より、重要議案が投票に附されるため多くの代議員による投票が必要であると補足説明。

◇費用等

・幹事公認TCより提出されている代議員朝食会会場候補のホテル詳細と、現時点での見積もりについて大会委員長より口頭報告。

・大会委員長・仁科国際理事ともに会場・音響に係る金額など、ある程度日本ライオンズでの費用負担が必要であると考えていることが説明された。さらに詳細な見積もりについては大会委員長より公認TCへ確認中である。

・代議員朝食会の開催

・スケジュール変更に伴い代議員朝食会を当初の7/5から7/4へ変更すること
以上2点について審議の結果、全会一致にて承認。詳細については今後検討。

2.日本ライオンズ職員の出張要請(執行理事会継続審議)

第108回香港国際大会への職員派遣の件。

増澤事務長より、前回執行理事会で質問があった菅原前事務総長の出張について報告あり。菅原前総長については高齢であったこともあり海外でのOSEALフォーラム、国際大会への出張は行われていなかった。

事務長の出張についても理事会で必要性について協議をお願いすると発言。

諏訪理事長代理より現地での監督者は必要であると思われる意見。

人選については出張要請承認後にしっかりと検討する。

賛成多数にて承認。

3.複合地区議長選任についてのお願い文書について(執行理事会継続審議)

・諏訪理事長代理より説明：第6回執行理事会で承認された通り、次年度議長とガバナーの兼任は避けていただくようお願いする文章を喜多理事長と議長全員の連名で全国へ配信を行う。賛成多数で承認。

4.AP シン国際会長公式訪問 収支報告

・諏訪理事長代理より説明。

前回の執行理事会で質問のあった、ウイントラベル請求書に記載されている札幌フォーラムでのジャパンレセプション費用についてはフォーラムでの行事であるため、A.P シン国際会長公式訪問の収支報告には記載されていない件の説明。

また、10月28日に行われたJCI会頭と国際会長との対談の際に発生した飲食費については、主催である日本ライオンズが招待したことを考慮し関係者13名分を負担。

A.P シン国際会長公式訪問の収支報告については賛成多数で承認。

ジャパンレセプションの会場費負担を日本ライオンズが行うことについて参加者に意見が募られた。

今回はすでに終了していることから、今後のことを検討するべきであるという意見や、賛助会費を値上げしたことを考慮し社団である程度の負担をしてもよいのではという意見。理事会の議事録に記載はないが支払いについて執行部より言及があった、という意見もあったが、次回よりあらかじめお見積りを提出いただき協議を行うことや、社団としての立ち位置をはっきりとさせることが重要であるという件が共通して出された。

今後引き続き検討を行う。

◆協議・確認事項

1.議長選任に関する内規案の検討

・諏訪理事長代理より説明。参加者より内容について意見あり。
意見全てを踏まえて増澤事務長が訂正する。

2.第108回香港国際大会関係

・伊賀専務理事より説明：
まずは変更後のスケジュールについて再度説明。

開会式から閉会式の日程が一日前倒しになり開会式は7月4日、パレードは閉会式後の7月7日へ変更予定。各MD大会委員長にも共有と、行事についての協議を行う予定。

続いて1/9に行われたパレード頒布品コンペの結果として、交換ピンと缶バッジの最終デザインやサイズ、価格など詳細報告。

参加者の負担を軽減し多くの方に国際大会へ参加をいただく目的で、前年度理事会で日本ライオンズが負担すると承認されたツアーデスクについては、今回幹事公認TCが手配し日本からの参加者に宿泊いただくホテルが国際協会との兼ね合いで複数になる可能性があることから一番部屋数が多く確保できるホテルへの設置を考えている。

必要であるか否か、またなるべくコストを抑える方法を検討の上、必要があれば理事会へ上程予定である。

参加者からはツアーデスクを一本化する弊害としてのサービス低下の懸念や、ホテルが決まらなるとツアー案内が出せないで早急をお願いしたい、など意見が出された。大会委員会において今後も協議を行う。

◆その他

1. 社団賛助会費について

24-25年度第3回社員総会で承認され、各MD年次大会への上程をお願いしていた日本ライオンズ賛助会費値上げについて、現状の確認がなされた、

倉田常務理事：2年にわたり40円の値上げを上程する予定。ガバナー協議会で地区ガバナーの同意を得ている。問題はないと思われる。

水沼常務理事：今年度はMDが値上げ分を捻出している。値上げについて各地区ガバナーの理解を得ている。

2. 複合地区年次大会への共通提案事項の確認

廣田専務理事説明：大会日程を読み上げ全員で共有。喜多理事長の出席要請がある場合は、早めに案内いただけるようお願いしたい。

3. 総務人事関係 増澤事務長より説明

・昨年度12月に支給された職員賞与について増澤事務長が病欠だったため事後報告となるがすでに総務人事委員会で承認をいただいていた件の説明と財務担当理事確認の報告。承認。

職員1名の退職について報告。

非正規職員の就業規定は労働顧問・羽鳥社労士と相談しつつ引き続き行っている事を報告。

・日赤との協定案報告：可能であれば3月に行われる第3回社員総会にて、協定の締結と調印まで持って行きたい。添付の資料を見て頂き、2月理事会に上程する。

・インドからの来日について、先方からのスケジュールと、訪問予定 MD での予定の報告が各議長より行われた。

MD334 3/3 名古屋での懇親会を予定している

MD330 東京地区については各クラブに確認中。箱根滞在時の夜 懇親会を考えている

MD335 先方の予定に合わせ 3/5 に懇親会を予定している

MD337 3/8 合同懇親会を計画。懇親会で発生した費用はどうするのか、地区ガバナーから質問があった件が報告された。

増澤事務長より返答：日本側の参加者の費用は自己負担してほしい。インド側の費用は自己負担されるので、会費制にさせていただくか出発前に精算いただいてください。

各 MD より出された質問については先方へ確認する。

4. SON 東京大会ユニファイドラン詳細と今後の対応について

増澤事務長より説明：今年6月・9月に開催されるSON東京大会に先だって開催される、ユニファイドランの説明と参加の呼びかけ。参加費は一名5,000円。

SONの今後の対応をMD330とするか社団の委員会とするかはMD330でも検討いただく。

なお社団に残っているSON特別口座残金はトリノ大会の交通費援助の残金である。参加費等の負担を自己負担とするか社団からの援助とするかについては理事会での検討が必要。

5. 各種報告

・公益財団法人日本ライオンズ報告：倉田常務理事より、1/26に行われた公益財団法人日本ライオンズ理事会について、1-3号議案までの報告が行われた。

各委員会報告

・1/8開催 第5回ライオン誌委員会：水沼常務理事

333-B地区での取り組みである子供みらい支援シンポジウムへの支援など、記事作成中である。多くの方にライオン誌を見て頂けるように進めている。

・1/13 開催 国際理事候補者資格審査委員会意見交換会：倉田常務理事

池田顧問を含めて意見交換会を行った。オセアルのガイドラインに従った内規のような立ち位置のものを作成予定である。引き続き打ち合わせを2月中に行い、引き続き検討とガイドラインの作成などを行う。

・社団10周年記念行事実施委員会：山崎副理事長

今年12月、遅くとも1月に3~500人規模で式典を開催する旨を報告。

今後事業内容など検討すべき部分は多いが、委員会で協議を行い、順次報告を行う。

倉田常務理事より：会場候補のホテルについては確認中。

設楽常務理事より現議長であるMD332 車田議長・MD333 水沼議長の参加について提案があり、今後委員会で検討を行う。

・会則委員会：渡邊理事

ライオンズ必携・役員必携をA4版合冊として内容を編集集中である。現在の記載事項をすべて盛り込むと400ページ近くになってしまうため、印刷版においてはライオンズ必携、役員必携に重複して掲載されている内容を削除するなど、大幅な内容の変更を行うことを検討中。また、年表や地区データ、歴代ガバナー名簿など毎年更新するものについてはデータ版へ移行し、印刷版から削除。製本版は新三役セミナー後になる予定であるためデータ版を先に作成予定。

田名部国際理事より

内容は理事会構成員としてもしっかりと精査が必要であり一度確認させていただきたい。

渡邊委員長：次回会則委員会(2/16)を目標に、皆様へ提供できるよう目指したい。また変更箇所については明記し、変更箇所を抜粋してお渡しする。

津田常務理事より

MD335の会計監査を行い資産について調べていたところ「漫画でわかるロバート議事規則」の掲載を発見。3年ほど前にMDの会則委員会で作成し、各MDへ販売を考えていることが分かった。大変役に立つわかりやすいマンガであるので渡邊委員長にも確認いただきぜひ各MDで取り上げていただきたい。金額は今後相談させてもらいたい。

註：日本ライオンズでは2025年7月2日に開催された24-25年度第12回理事会で会則委員会からの申し合わせとして編集権一式を5万5000円で買い取ることを打診しており、値段についてはMD335で再度打ち合わせをお願いする内容が当時の議事録に記載あり。

・アラート委員会：藤井理事

アラートフォーラムのMDごとの登録者の報告。

まだ登録者が少ないとのことで、社団からもう一度案内を出させていただきたい。

◇月次監査報告 森田事務局員

1月20日に吉田顧問に半期の決算を行っていただき、2月24日ごろに監査を行う報告の後、通常の月次監査報告を行った。

◇今後の予定

廣田専務理事より共有が行われた。

◇監事講評

小林監事 地元である姫路で理事会が開催され嬉しく思っている。ジャパンレセプションの費用負担についてはそもそも賛助会費値上げの際に値上げの理由のひとつとして示されていたと理解している。社団が負担する方向で検討していただきたい。

乗田監事 議長選任の内規について。言葉の遣いかたについて、理事会に参加しているメンバーはわかっている外部の方からすると少しの言葉に違和感がある、ということがあると思われる。皆が理解できる形での表現・発信をお願いしたいと思う。

◇閉会のあいさつ 山崎もとみ副理事長

閉会宣言 廣田専務理事

以上

議事録作成人

MD334 常務理事 浜 一平

MD335 常務理事 津田 勝之

議事録署名人

一般社団法人日本ライオンズ

理事長代行 副理事長 諏訪 昇三【押印省略】

監事 石橋 貞【押印省略】

監事 小林 聡【押印省略】

監事 乗田 泰【押印省略】

一般社団法人日本ライオンズ 25-26 年度 第 8 回理事会議事要録 訂正版

◎日 時：2026 年 2 月 25 日(水) 14:00-16:30

◎場 所：日本ライオンズ事務所+ZOOM (HB 開催)

出席者リスト

理事長	喜多 友一	(上田城南)	【欠席】
副理事長(理事長代理)	諏訪 昇三	(札幌時計台)	
副理事長	山崎 もとみ	(大田)	
専務理事	廣田 晃一	(姫路中央)	
常務理事	倉田 雅史	(小田原白梅)	
常務理事	設楽 幸子	(札幌アカシヤ)	
常務理事	車田 信彦	(玉川)	
常務理事	水沼 孝夫	(真岡)	
常務理事	浜 一平	(岡谷)	
常務理事	津田 勝之	(大阪桜之宮)	
常務理事	武永 健治郎	(都城きりしま)	
理事	伊賀 保夫	(東京ピース)	
理事	渡邊 俊弥	(仙台五城)	
理事	佐藤 裕幸	(柏崎日本海)	
理事	藤井 信英	(岡山みらい)	
理事	濱田 浩平	(長崎南)	
理事 (前理事長)	松浦 淳一	(岩見沢はまなす)	【欠席】
理事 (公益財団法人日本ライオンズ理事長)			
	小野寺 眞悟	(札幌北の杜)	
理事 ('25-27 国際理事)	仁科 良三	(長野みすず)	
理事 ('25-27 国際理事)	田名部 智之	(八戸)	
理事 ('25-26 LCIF 理事)	鶴嶋 浩二	(札幌中島)	
監事 (MD332 元議長)	下間 俊悦	(男鹿)	
監事 (MD333 元議長)	石橋 貞	(足利西)	
監事 (MD335 元議長)	小林 聰	(姫路広陵)	【Web】
監事 (MD337 元議長)	乗田 泰	(伊万里)	【Web】
<u>オブザーバー</u>			
法律顧問	池田 和司	(東京桜門)	【欠席】
会計顧問	吉田 宗一郎	(東京武蔵野)	【Web】
日本ライオンズ事務長	増澤 義治	(諏訪湖)	
25-26 理事長事務局補佐	田中 俊彦	(上田城南)	
25-26 理事長事務局補佐	小口 恒樹	(岡谷)	【Web】

◇開会宣言

諏訪理事長代理

社員総会に向けての審議事項をはじめ審議・承認事項が多い会議であるとして、スムーズな進行への協力を呼び掛けた

◇出席確認

専務理事 廣田 晃一

出席者確認。欠席者より委任状が提出されていることの報告の後、定款41条により理事の過半数が出席しているため理事会成立を宣言。

◇議事録作成人の指名

専務理事 廣田 晃一

山崎副理事長 武永常務理事 2名を指名

◇あいさつ

・小野寺公益財団理事長：悪天候にも関わらず社団理事会に多くの方が参加されていることに感謝の意を表されあいさつされた。

・仁科国際理事：まずは3月15日よりシカゴにて国際理事会・その後ニューヨークでの国連奉仕デーへの参加を田名部国際理事と行うことを話された。

ミッション1.5関係として、香港国際大会においてミッション1.5において優れた結果を残した地区・会員を対象に表彰を行うほか、国際大会への招待などを含めた各種特典を用意する予定であることを報告。地区内へぜひお伝えしてほしい。

香港大会での投票事項について、すでに呼びかけている国際理事の会則地域ごとの定数変更を行う内容について再度説明し、投票を通じて日本としての意思を示すことへの協力を呼びかけた。その他の重要な投票事項も予定されており、国際大会後にライオン誌記事などで詳細をお知らせすることをお話しされた。

また、3月12日に今年度2度目となるPDGセミナーを実施することに伴い、参加促進と、地区への情報伝達を行うことの重要性を指摘しあいさつされた。

・田名部国際理事：一般社団法人全国高等学校PTA連合会の会長として先ほどまで文部科学省にて記者会見を行っていたことを報告。

現在のミッション1.5ではレオクラブ会員は対象とはならないが、レオクラブ会員プログラムを通じて奉仕の強化や将来の会員増強を見据えることと、将来的に日本ライオンズと文部科学省や子供たち、保護者や地域の方が提携することでライオンズと子供たちの取り組みにより、地域全体をよくすることができると考えていることを話された。

国際理事会では日本の意見を必ず国際本部へ届け、同時に国際本部からの声も日本へ届けると決意を表しあいさつされた。

・鶴嶋 LCIF 理事：午前中に行われた 10 周年記念事業委員会で大変良い協議が出来た報告と、悪天候にも関わらず理事会へ参加を頂いたことへの感謝を伝えられた。

続いて LCIF 理事として各地区の今年度 LCIF 目標達成に触れられ、議長の皆様にもぜひご協力をお願いすることと、名古屋にて明日、来日中の LCIF 事務総長と会議を行うことをお話しされた。

◆審議事項

1.第 3 回社員総会(全国ガバナー会)開催について

・諏訪理事長代理より資料に基づき説明。

日程：2026 年 3 月 23 日(月) AP 日本橋 G ルーム 13:30-16:00 にて開催。

当日午前中に日本ライオンズ事務所で理事会を行い進行について確認を行う。

審議事項については無とし、報告事項のみとする。

総会前に日本赤十字社との協定締結・調印式とあいさつを行い、第 1 部：社員総会 第 2 部：名誉理事長・山田元国際会長の基調講演を予定。基調講演のテーマについては山田元国際会長に一任とさせていただく。

各委員会からの報告事項について事前に書面にて提出いただくよう、後日各委員長へ依頼。

その他報告事項の詳細や出席対象者、ストリーミング・総会後の懇親会開催について資料に基づき確認がなされ、全会一致にて第 3 回社員総会(全国ガバナー会)開催について承認。

2.議長選任ガイドラインについて

・諏訪理事長代理より説明：

前回の執行理事会での意見を受け、池田法律顧問にリーガルチェックと修正をいただいた案が示された。文書のタイトルについても法的効力の観点から内規ではなく、ガイドラインへ変更。

渡邊会則委員長より、田名部国際理事より会則委員会へ提案があった内容を考慮しても(編集註：詳細は会則委員会報告事項にて後述)会則委員会としても問題がないと思われる意見。

賛成多数にて承認。

3.札幌オセアルフォーラムジャパンレセプション費用負担について

・諏訪理事長代理より説明：

第 7 回執行理事会で承認された、札幌オセアルフォーラムで開催されたジャパンレセプションの費用を一部社団負担することについて説明。

現在すべて松岡国際理事候補者に負担を頂いているが、日本として国際理事を選出し、日本のために今後ご活躍を頂くことを考慮し、日本ライオンズが費用のうち会場費及び音響等設備費負担にあたる¥213,400 を負担することについて理事会へ諮られた。

賛成多数により承認。社員総会では報告事項となる。

増澤事務長より、今回はオセアルフォーラムと理事会のスケジュールの兼ね合いにより審議がフォーラム後となったが、今後もオセアルフォーラムでの会場費等を日本ライオンズが負担することを理事会において統一見解としていただきたい、と呼びかけられた。

4.総務人事委員会上程審議

増澤事務長より説明。

まずは規定2種の改訂について審議を行った。

・一般社団法人日本ライオンズ 会費規定(修正版) 案

2026年度より160円を乗じた額とすることを記載した

・一般社団法人日本ライオンズ 会費規定およびパートタイム・有期雇用職員 非正規職員就業規則(案)：

労働顧問である羽鳥社労士と協議の上作成した最終案を示し内容について説明。

なお管理職は除く、と第1章第1条に記載されている通り、日本ライオンズ事務長については規則の対象外となる。

一般社団法人日本ライオンズ 会費規定およびパートタイム・有期雇用職員 非正規職員就業規則について、賛成多数により承認。

続いて、再雇用となる職員の場合、今後の契約・待遇等をどのようにすべきかについて増澤事務長より理事会に意見が求められたが、まずは総務人事委員会にて検討を行うこととした。

・赤十字との協定締結の件

増澤事務長より報告。社員総会概要で示された通り、第3回社員総会にて調印を行う。

先方との打合せを重ねた上、理事会で出された要望も相手方にお伝えしお受けいただいた。

奉仕の増強に繋がる協定を目指す。

・日本ライオンズウェブサイト改定について

ライオン誌日本語版・PRマーケティング委員会委員長である廣田専務理事より説明。

日本ライオンズウェブサイトは設置後より小さな更新のみ行われているが、国際協会や各MD/地区のHUB(ハブ)サイトとして繋がりを中心とする役割を持ち、一般市民の皆様のライオンズへのイメージを向上するサイトを目指して完全な改訂を行いたい。

改訂について理事会の承認を頂いた後、理事会参加者にも業者を紹介いただいた上で、業者選定のコンペを開催することや、次年度9月までの改訂を想定したスケジュール案などを示して説明され、参考までに過去の日本ライオンズウェブサイト設置・ライオン誌WEB版

システム改訂の際の金額が伝えられた。改訂後の更新や変更は事務局で行うことができるようにしたい。

コンペや業者との打ち合わせは増澤事務長が担当する。

ライオン誌委員会の中でのウェブサイト制作・運用や、10周年記念事業の周知とウェブサイトリニューアルをどのように平行して行うべきか検討が必要である等、意見が出される。

理事会での意見については廣田専務理事よりライオン誌委員会へ報告し、委員会での協議内容については理事会で詳細に報告を行う予定。

まずは示された方向性に合わせて改訂を行うことについて、賛成多数にて承認。

◆協議・確認事項

1.第7回執行理事会からの協議・確認事項

1.一般社団法人日本ライオンズ上半期監査報告

予定を変更し、まずは2月24日に行われた上半期監査報告について渡邊財務担当責任者より口頭報告。

特に大きな問題はなく完了したが、会費値上げと決算の整合性が分かるようにするべきであると意見が出たと報告。

監査に参加した下間監事より、とくに問題はないと思われるという意見。

経理担当職員より上半期の主なポイントとして受け取り賛助会費の改定と事務所家賃の更改があった件のほか、計算書については予算との乖離について指摘があり、今後の決算の課題となると思われる件と、賛助会費値上げの影響として、今後のために社団の在り方・あるべき姿を説明できるようにするべきであるという意見が監査委員より出されたことについて報告。

1-1.第108回香港国際大会 最新情報と進捗報告

・国際大会委員長・伊賀理事より説明：

先日国際大会HPで公開されたパレード行進順の説明。OSEAL地域はかなり早い順番の予定であり日本は6番目となっている。

仁科国際理事より説明を頂いている通り、3月の国際理事会でパレード開催が最終決定される予定であることから、頒布品などパレード詳細は国際理事会後に全国へのお知らせを予定している。

国際大会委員会では引き続き多くの代議員の方にご参加をいただくために取り組んでおり、国際協会が手配したホテルへの名簿提出締め切りとなる2月末まで呼びかけを行い、その後は各クラブへ代議員登録の呼びかけを行う。2/3に開催された第7回国際大会委員会の時点では854名の登録。3月6日の大会委委員会で登録数・ホテル利用室数の取りまとめ後に執行理事会・理事会でも報告の予定。

1-2.次期第1回社員総会 日程及び開催場所案

・増澤事務長より次年度第1回社員総会会場および日程の予定について説明。

2026年8月3日 ベルサール八重洲 ルーム B+C 13:00-17:00【予定】

提出された見積もりに機材等の使用料金が追加される予定。現在金額を確認中であることと、おおよその最終金額が説明された。

第7回執行理事会で各議長に依頼を行った、社員総会予定日におけるMD内行事等の確認の進捗報告。一部未定・未回答となっているMDについては次回理事会で報告を頂く。

◆その他

2/10 開催第2回総務人事委員会からの報告については審議事項にてすべて説明済のため省略。

1.インドよりライオン訪日関係

334-A 主催により名古屋で3月3日に夕食会を開催することと、3月9日にMD337にて337-A 地区ガバナーと朝食後に交流を行うことの確認。

2.ダイナースカード関係

クラブでカードを作る場合は会長名で作成いただくが、利用の際はクラブにポイントが還元される仕組みである。年会費やポイント還元について変更がある。利用申し込みや問い合わせは直接ダイナースカードへ問い合わせをお願いする。

◆各種報告

・委員会報告

・会則委員会：渡邊理事

現在MD330 委員が中心となりライオンズ必携・役員必携合本版の編集を進めている。年表や各種データなど変更が多いと想定される部分はWEBの収録とし、印刷版は300ページ以下を想定。次回会則委員会までに各委員で手分けして内容確認を行っており、新三役研修ではデータでのお渡しを行うことを目標としている。

田名部国際理事より、会則委員に参加し、協議会議長・第2副地区ガバナー・リジョンチェアパーソン・ゾーンチェアパーソンの選任においてローテーションを行わないことを促す記述をライオンズ必携に記載いただくよう要望を行った報告。

ローテーション制度の存在を理由に希望者が役職に就くことが妨げられるなどの事例が発生しており、国際協会でも問題視されている状況であることから、今回の要望を出すことに至った。

提案にあたり国際理事会でも確認を行ったほか、山田元国際会も同様のご意見である。渡邊委員長をはじめ、今回の必携編集の中心となっているMD330 委員にもかなり前向きに調整を頂いている。最終的には必携に記述される内容を理事会で皆さんに確認を頂きたい。

・アラート委員会：藤井理事

次年度アラート委員会組織図案を提示。日本ライオンズ班長・副班長職は昨年度で廃止されているが、今年度はすでに任命を行った地区があったため、次年度は各MD・地区へ班長・副班長職を選任しないよう依頼を出す。

3/13 大阪で開催される全国アラートフォーラム登録状況を報告。

	MD330	MD331	MD332	MD333	MD334	MD335	MD336	MD337
目標	30	20	30	30	40	450	80	30
登録数	39	10	33	14	49	492	50	18

ライオンズ計 705 名・一般の方計 29 名が登録。各 MD については目標数達成のため引き続きご協力をお願いする。

田名部国際理事より、アラート委員会構成員の選任基準について質問と、複合・準地区を通じての選任が行われていないなど、一部構成員の選任基準が不透明な部分があると感じられると意見。

委員長より、東西リーダーについては基本的にはアラートに精通している方を選出していたがトラブルが発生したこともあり、現在慎重に規約の見直しを進めている最中であると回答。アラート委員会組織の変遷についても説明され、今後委員会でさらに検討を行った上、理事会の承認を得て次年度アラート委員会組織図を確定することが確認された。

・YCE 委員会：濱田理事

すでに完了した冬季事業の報告と、夏季事業予定の共有、事業を通じ発生した問題や課題について検討を行った。

冬季派遣 24 名、受入 56 名。中国の情勢により一部空港発の中国系航空会社のフライトが中止になるなど問題が発生。

2 年前より採用しているユニフォーム（白いベスト）が一部の国ではフォーマルではないと意見がある。今後検討する。

昨年度より引き継ぎ事項である日本ライオンズで YCE 窓口を一本化する件について、各国からの問い合わせが激増し MD 事務局・委員の負担が大きくなっていること等、各複合地区委員からの意見を鑑み、時間はかかるものの来期へ向け検討チームを作り前向きに進めていく予定である。

YCE ディレクトリのエクセルが使いにくい件については再度委員会で意見をまとめた上で、国際理事を通じて国際本部へ改善をお願いしたい件が報告された。

・日本ライオンズ 10 周年記念事業委員会：山崎副理事長

現在までの委員会で申し合わされた内容を報告。

委員会正式名称：「一般社団法人日本ライオンズ創立 10 周年特別委員会」

開催予定場所：横浜ベイホテル東急 参加人数は 4～500 人程度を予定（MAX580 名収容可能）

日時：11 月 29 日(日) 翌日 11 月 30 日(月) 東京で社員総会を行いたい。

記念事業について労力奉仕月間とし、期間は 10/1～の一ヶ月間、全国で一斉に奉仕活動へ取り組み組んでいただく案を検討している。

記念式典、記念誌の発行、記念祝賀会を行う。それぞれ 3 部会を立ち上げ分担して進める。

テーマは「これまでに感謝、つなごう未来の奉仕へ」

アワードについても今後検討していく

予算関係は、委員会の中に総務委員会を立ち上げ、きちんと管理を行う。

早急に組織図を作成し、役割分担を明確にする。3 月の社員総会でも発表を行い、なるべく早く書面にて全国へ周知を徹底、奉仕月間に繋げたいと考えている。

月次監査報告

経理担当事務局員より、2 月 20 日に行われた月次監査の報告と詳細の説明が行われた。

理事会参加者より異議や質問については無し。

◆公益財団法人日本ライオンズ報告

・小野寺公益財団理事長より報告。

財団の事業である全国特別支援学校フットサル地区大会について、全九州各県で教育委員会より後援となっていた。去年 11 月 1 日に東京で開催した第 4 回国特別支援学校フットサル全国大会では河合スポーツ庁長官にお越しいただくなど、財団の地道な取り組みが一つ一つ実っており、奉仕団体としてのあるべき姿ではないかと感じている。

児童養護施設の子供たちへの支援事業である寺子屋事業では全国の大学生を含むボランティアと提携して進めており、全国 51 ヶ所を達成。児童養護施設への支援は全国のライオンズクラブでも多く行われているが、イベント時だけではなく、継続的な取り組みが効果的であると実感している。

しかし財団の取り組みがクラブまで浸透していないと感じる。理事会構成員・議長の皆様の理解と協力、ガバナーやクラブ会長への周知を引き続き願います。

MD335 津田議長より、やはり財団について会員の皆様への周知が必要であると感じ、複合内での WEB 説明会開催や、次回フットサル全国大会への協力の準備などを進めていることが報告された。

MD330 倉田議長より、今年度複合地区年次大会でチャリティーコンサートを行い、LCIF/公益財団法人日本ライオンズへ同額の寄付を行うことを決定したことを報告。

追加議案：SON 関連

倉田議長より発言。SON ユニファイドランに 330A 地区より子供を含む 9 名が参加することになった。交通費を社団より支援いただきたいと相談。

1 名 2,000 円程度、計 18,000 円を予定。

理事長代理である諏訪副理事長より、日本ライオンズから倉田議長へ依頼した件であることも考慮し、経費として日本ライオンズの SON 積立金より拠出を行うことについて理事会へ諮られた。全員の賛成により承認。

MD330 各地区へ SON より届いているボランティア募集・広告協賛のお願いについては次回理事会へ資料を提出し、地区・社団での取り組み方について検討する予定。

・ライオン誌クラブ発送切り替えの件

昨年度理事会で決定した、ライオン誌個人発送をクラブ発送に切り替える件について廣田専務理事より発言。

クラブでのライオン誌例会開催の依頼と、来期夏号より個人発送を廃止し、すべてクラブ発送へ切り替える予定であることを理事会へ周知。この件は社員総会でもお話しする予定である。

◇今後の予定

- ・ 2/26 (木) 13:30-16:30 第 2 回クエスト・薬物乱用防止委員会 (対面・2 部制)
薬物乱用防止委員会では公益財団法人薬物乱用防止センターの方に講演をいただく。
- ・ 3/6 (金) 10:00-12:00 第 8 回国際大会委員会 (WEB)
- ・ 3/6 (金) 14:00-16:00 第 7 回ライオン誌委員会 (WEB)
- ・ 3/9 (月) 13:30-16:00 第 8 回執行理事会 (WEB)
- ・ 3/13 (金) 全国アラートフォーラム大阪
- ・ 3/15(日)-3/18(水) 国際理事会 (シカゴ・オークブルック)
- ・ 3/23 (月) 第 9 回理事会・第 3 回定時社員総会

◇監事講評

下間監事より

スムーズな審議が行われた理事会であったと思う。

理事会前に執行理事会を行っているかと思うが、執行理事の皆様は執行理事会・理事会とご参加・ご発言をいただく機会がある。

一方で理事の方は理事会のみにご参加であるので、理事会を機会ととらえていただき、積極的なご発言をいただければ良いと思う。

石橋監事より

理事会参加者へのねぎらいと、10 周年記念事業への期待を述べた。

乗田監事より

理事会の議事録作成について意見を述べた。内容に間違いがないよう、作成者が確認を丁寧に行うよう依頼。

◇閉会のあいさつ 山崎もとみ副理事長

今後の理事会への引き続きの協力の呼びかけを行った。

◇最後に田中事務局補佐より喜多理事長の近況が報告され、予定通り3月より復帰されることが伝えられた。

◇閉会宣言 廣田専務理事

議事録作成人：

常務理事 山崎もとみ

常務理事 武永 健治郎

議事録署名人

理事長代理 副理事長 諏訪 昇三【押印省略】

監事 下間 俊悦【押印省略】

監事 石橋 貞【押印省略】

監事 小林 聰【押印省略】

監事 乗田 泰【押印省略】

以上

2025-26年度

第2回PRマーケティング委員会 第6回ライオン誌日本語版委員会 合同委員会 議事要録

◎日 時 : 2026年2月4日 (水) 14:30~16:45

◎場 所 : 一般社団法人日本ライオンズ事務所 (Zoom併用)

◎出席者 :

国際理事	仁科 良三 (長野みすずLC)	
国際理事	田名部智之 (青森県・八戸LC)	
【一般社団法人日本ライオンズ】		
理事長代行(副理事長)	諏訪 昇三 (北海道・札幌時計台LC)	* Zoom
副理事長	山崎もとみ (島根県・大田LC)	●欠席
PRマーケティング 委員会委員長(専務理事)	廣田 晃一 (兵庫県・姫路中央LC)	
PRマーケティング 委員会副委員長	水沼 孝夫 (栃木県・真岡LC)	
PRマーケティング 担当 常務理事	車田 信彦 (福島県・玉川LC)	* Zoom
PRマーケティング 担当 常務理事	津田 勝之 (大阪桜之宮LC)	●欠席
PRマーケティング 担当 理事	佐藤 裕幸 (新潟県・柏崎日本海LC)	
PRマーケティング 担当 理事	藤井 信英 (岡山みらいLC)	●欠席
事務長	増澤 義治 (長野県・諏訪湖LC)	
【複合地区PRマーケティング担当委員長】		
330複合地区広報マーケティング 委員会	阿部かな子 (東京ピースLC)	
331複合地区MC・情報テクノロジー 委員会	佐藤 有 (北海道・札幌北の杜LC)	* Zoom
332複合地区PR・IT委員会	加藤 俊治 (宮城県・石巻日和LC)	●欠席
333複合地区マーケティング・PR・IT委員会	福田 智恵 (栃木県・宇都宮中央LC)	* Zoom
334複合地区マーケティング 委員会	曾根 輝夫 (静岡県・三島泉LC)	
335複合地区MC委員会	今市 明弘 (兵庫県・姫路スターLC)	
336複合地区IT・M・ライオンズ 情報委員会	山田 隆嗣 (岡山県・津山衆楽LC)	
337複合地区ICT委員会	上原 明寿 (沖縄県・名護LC)	* Zoom
【ライオン誌日本語版委員会】		
編集長/337複合地区委員	渕野二三世 (大分LC)	
330複合地区委員	田中 明 (埼玉県・和光LC)	* Zoom
331複合地区委員	馬場 哲也 (北海道・函館東LC)	* Zoom
332複合地区委員	岡田 殉 (青森県・五所川原LC)	* Zoom
333複合地区委員	後藤 一男 (栃木うづまLC)	* Zoom
334複合地区委員	前田 磨 (静岡県・三島LC)	
335複合地区委員	秋山洋一郎 (京都紫明LC)	
336複合地区委員 * PRマーケティング 兼任	山田 隆嗣 (岡山県・津山衆楽LC)	

【議事】

《第1部：第2回PRマーケティング委員会》

1. 上半期委員会活動に関する情報交換

〈全体共通〉

- 会員増強の最大の課題は「一般への認知度不足」。
- 内向き PR から、一般向け・若年層向け PR（特に SNS・動画）へ転換が重要。
- 動画を「作って終わり」にせず、拡散・活用方法まで設計する必要あり。

〈330 複合地区〉

- マーケティング補助金を活用し、1～3分のショート動画を制作中。
- YouTube・Instagram・TikTok等で広告配信し、30～50代中心に認知拡大を狙う。
- 3月11日に一斉公開予定。地区限定でなく他地区も活用可能な内容を想定。
- PR動画予算規模は約220万円。

〈331 複合地区〉

- 会員向け・外部向け広報誌の継続、公益財団法人日本ライオンズの事業PRを実施。
- 人員不足（少人数運営）が課題。
- 次年度はマーケティング補助金活用も視野に検討。

〈333 複合地区〉

- マーケティング補助金を活用し、一般向けPR動画を制作。すでに2本完成（入会促進動画、会員の声動画）。
- 今後、LCIF・災害支援・献血・視力保護など計9本程度の動画を計画。
- QRコード活用で名刺・広報物と連動し、会員拡大につなげる狙い。

〈334 複合地区〉

- 今年度は複合地区のHPリニューアルとライオンポータル整備が中心。
- 他地区のPR動画の効果から有効性を再認識し、今後の導入を模索。

〈335 複合地区〉

- 一昨年度に会員向け、昨年度一般向けのPR動画を制作。
- 動画だけでは会員増強に直結しない反省から、
 - 委員会横断の情報共有媒体「ミヤクミヤク通信」を開始。
 - 「ワンプラスワン」（1人が1人勧誘）の再徹底を重視。
- PR+対面での行動につなげることが課題。

〈336 複合地区〉

- 委員会開催は1回のみ。
- 今後どのようなPRが有効か検討段階。

〈337 複合地区〉

- 複合地区としては具体的活動は未着手。
- 各クラブに対し、SNS活用とHP連動による会員拡大を働きかけ。

2. 各複合地区広報素材の共有について

各地区の広報素材（動画、漫画、PR素材等）を相互に活用するにあたっての共有ルールや著作権、運用方法に関する主な意見は以下の通り。

① 共有の基本姿勢

- 「ライオンズ一丸」での活用： 会員増強という共通目的のため、各地区で作られた素材は積極的に共有し、互いに活用すべきであるという意見で一致。
- 叩き台としての利用： 既存の素材を「叩き台」として提供し、他地区がそれを上回るより良いものを作るためのリソースになれば、組織全体の利益につながる（335MD・今市委員長）。

② 著作権と使用条件（権利関係）

- 国際協会の補助金（マーケティング補助金）活用素材：
 - 補助金を受けて制作したものは、基本的に「ライオンズクラブ国際協会」に帰属するという認識のもと、フリー（無料）で提供・発信すべきである。
 - 制作段階から「どこでも流せる、ホームページに貼れる」ことを制作会社と合意しておく必要がある（333 MD・福田委員長）。
- 出演者・音楽の権利：
 - 出演タレントの契約期間（例：5年等）や使用楽曲の著作権がネックになる可能性がある（330 MD・阿部委員長）。
 - これから制作するものは、あらかじめ「権利フリー」の素材を使用するか、契約期間を長く設定するなど、他地区での再利用を前提とした契約を結ぶのが望ましい。

③ 改変・編集のルール

- 一部改変の許容： 最後に流れる地区名テロップを自地区やクラブ名に変更したいという要望に対し、一定のルール（制作会社への少額の編集手数料支払い等）を設けて対応した前例がある。
- 無制限な改変への懸念：
 - データを渡して自由に作り変えさせてしまうと、制作者の意図や「思い」が損なわれるリスクがある。
 - そのまま使用することを基本とし、切り取りや編集は慎重であるべき。

④ クレジット表示と責任の所在

- 制作元の明記： 誰が・いつ・何の目的で作ったのかという「責任の所在」を明確にするため、制作地区名（例：333 複合地区）や制作年度を残しておくべきである（333MD・福田委員長）。
- ブランド保護： 完全に匿名にするのではなく、ライオンズクラブとしての品質と責任を担保する文言を入れることで、素材の信頼性を維持する。

結論（廣田委員長のまとめ）

- 「著作権フリー」を基本路線とする： 今後制作する素材は、他地区でも転用可能な契約形態を目指す。
- クレジットの保持： 可能な範囲で、制作元の意図や責任の所在を示す表記を残す。
- 共有の促進： 相互に素材を提供し合い、ライオンズ全体の PR 効果を最大化させる。

3. 社団ウェブサイトのリニューアル

一般社団法人日本ライオンズのウェブサイトについて各複合地区委員長に参考意見を求めたところ、以下の指摘があった。

「ハブ（拠点）」および「プラットフォーム」化の必要性：協会、各 MD（複合地区）、各地区・クラブの活動をつなぐ中心的な役割を持たせる。

外部への訴求力向上：一般市民や若い世代にもライオンズの良好なイメージを伝える構成にする。
最新技術の導入：単なる情報の置き場ではなく、AIを組み込んだ双方向性のある仕組みが望ましい。

SNS との連携：ウェブサイト単体ではなく、SNS からの誘導を前提とした動線設計が必要。

国際協会との関係性における留意点（重要）：日本ライオンズは「直接活動する団体」ではないため、社団自体が奉仕活動を行っていると思認される表現は国際協会から NG が出る可能性がある（田名部国際理事）。

解決策＝あくまで各クラブや地区の活動を「紹介・誘導」するプラットフォームに徹し、責任主体を分けることで、ブランドの抵触を避ける。

リニューアルを行う場合にはコンペによって業者を選定することを想定しており、その際には各複合地区委員長に業者の紹介をお願いしたいとの説明が、廣田委員長からあった。

《第2部：第6回ライオン誌日本語版委員会》

1. ウェブマガジン編集関係

(1) 2026年2月号（2月1日公開）出来

公開済みの2月号の仕上がりを確認した。

(2) 2026年3～4月号更新予定（案）

3月号「取材レポート」（福岡県・浮羽LC）は渚野編集長が取材を担当し原稿を提出済み。「国際理事だより」は3月に開催される「国際理事会（春季）」の報告を両国際理事にお願いする。

4月号「取材レポート」（兵庫県・西脇LC）は廣田委員長が担当。

335複合地区の今市マーケティング委員長から、アラートフォーラム大阪（3月13日開催）の記事掲載の希望があり、委員会から記事や資料の提出してもらうことにした。

(3) 2026年4月号以降取材候補

前回委員会で取材候補に挙げたクラブの奉仕活動の実施日と、各複合地区委員による取材が可能か現時点の都合を確認した。引き続き調整を進める。

2. 印刷版編集関係

(1) 2026年冬号（1月25日発行／79,000部発行）出来

発行済みの冬号の仕上がりを確認し、概ね好意的な反応を得た。

巻末の「日本ライオンズ分布図」に関して、ミッション1.5の進捗状況を掲載してはどうかとの提案があった（仁科国際理事）。次回委員会で具体案を元に検討する。

(2) 2026年春号（4月25日発行予定）台割（案）

36ページの台割案を確認。特集として、青少年交換の元派遣生、災害支援を機に入会、同年度に親子で会長に就任など、特色ある会員を取り上げる企画案の編集方法を検討。記事と連動してショート動画による発信を行う案や、記事の素材集めを複合地区PRマーケティング委員長と連携して進める案など、今後にもつながるアイデアが出された。

時間的な制約もあり、まずは掲載候補の会員に特集企画への協力を打診した上、質問項目を用意して取材を進める。

3. その他

(1) ライオン誌活用促進とウェブマガジン普及

ウェブマガジン発行時に配信するメールニュースの開封率が3割程度に留まっていること、LINE公式アカウントの登録者数が6,000人強で頭打ちになっていることを確認した。

(2) ライオン誌印刷版の発送

印刷版冬号の発送後、クラブ一括発送の1クラブから荷物の返送があった。受け取りが可能になるまで事務局で荷物を預かることとした。

《第3部：合同委員会》

1. ライオン誌活用促進の方策

(1) ウェブマガジンの普及・活用促進

メールニュース開封率とLINE公式アカウント登録数が伸び悩んでいる現状を踏まえ、今後の方策について意見を交換。以下のような意見が出された。

- ・ ゾーン、クラブといった小さな単位で広めていく
- ・ 地区ホームページからのリンク、地区誌のQRコード掲載による誘導
- ・ 複合地区や地区の会合でPRし、各クラブが例会で取り上げるようアプローチする

(2) 印刷版の活用促進（ライオン誌例会の推奨など）

活用促進の方策として、以下のような意見が出された。

- ・ 「ライオン誌例会」の開催
- ・ クラブ例会の中でライオン誌を取り上げる時間を設ける
- ・ 懸賞によるプロモーション

(3) マーケティング・ツールとしての活用方法

活用方法として、以下のような意見が出された。

- ・ クラブがある地域の銀行、病院、公共施設など人が集まる場所に置いてもらう
- ・ 他団体の会合での配布や事務局への送付

2. 両委員会の協力・連携

(1) ライオン誌編集における協力

第2部の議案2-(2)の春号特集で出された意見を踏まえ、廣田委員長から、各複合地区、地区と連携してより多くの記事が集まる流れを作っていきたい、との方針が示された。

<次回開催予定>

第7回ライオン誌日本語版委員会： 3月6日（金）14:00～16:00

第3回PRマーケティング委員会： 未定

議事録作成： 山田隆嗣（336複合地区）

(2025-26 年度)

第3回 会則委員会 HB 議事要録

◎日 時: 2025 年 12 月 9 日 (火曜日) 午前 11 時 00 分～午後 14 時 00 分

◎場 所: 日本ライオンズ事務所+Zoom

◎出席者: 以下の通り

一般社団法人日本ライオンズ:

理事長	喜多 友一 (上田城南 LC)
専 務	伊賀 保夫 (東京ピース LC)
委員長	渡辺 俊弥 (仙台五城 LC)
副委員長	設楽 幸子 (札幌アカシヤ LC)

複合地区会則委員:

3 3 0 複合地区	森川 明治郎 (西入間 LC)
3 3 1 複合地区	佐々木 忠康 (小樽 LC)
3 3 2 複合地区	荒川 友成 (郡山西 LC)
3 3 3 複合地区	椎名 健二 (牛久茎崎 LC)
3 3 4 複合地区	山本 基博 (恵那 LC)
3 3 5 複合地区	中谷 豊重 (岸和田 LC)
3 3 6 複合地区	松岡 諒 (福山久松 LC) 【WEB】
3 3 7 複合地区	曾山 純廣 (霧島みらい LC)

オブザーバー:

日本ライオンズ事務局長	増澤 義治 (諏訪湖 LC)
-------------	----------------

- | | | |
|---|------------------------------------|-------|
| ① | 開会宣言 招集権者 一般社団法人日本ライオンズ会則委員会委員長 | 渡辺 俊弥 |
| ② | 日本ライオンズ理事長あいさつ | 喜多 友一 |
| ③ | 出席者確認 | |
| ④ | 議事録作成人の指名 MD332 荒川委員・MD333 椎名委員を指名 | |

議案:

1. 2025-26 年度 ライオンズ必携・役員必携発行に向けての検討

(1) 編集箇所の確認

<1> 「ライオンズ必携」「役員必携」改訂版の編集方針について

2025 年改訂版「ライオンズ必携」および「役員必携」の編集方針について議論が行われた。旧会則条文の削除、標準版会則の掲載、目次の再構成、重複内容の整理などが主な議題となった。

① 会則の差し替えと旧版解説の削除:

- 現行版の 17 ページから 202 ページに掲載されている旧会則関連の条文および解説を全て削除する。
- 削除した部分に、最新の「国際会則・規則」「クラブ会則」「複合地区会則」等の標準版を差し込む。
- 前文は一度全て削除し、内容を精査した上で参考資料として後ろのページに移動させる案が提案された。(森川委員)

② 目次の構成:

- 会則の差し替えに伴い、目次を再構成する。森川委員作成のたたき台を基に検討を進める。
- 目的、道德綱領、スローガンは国際協会が定める原文のまま掲載することで合意。

③ 掲載内容の検討:

- 「環境憲章」：複合地区決議の文章であるため、現時点ではそのまま掲載し、修正は次年度以降の課題とする。
- 「ライオンと呼ばれる人」「ライオンズの光」：利用しているクラブがあるため、そのまま掲載する。
- 年表：2024 年、2025 年分を追記する。増澤事務局長より提供される作成済み原稿を差し込む。
- 歌（ライオンズヒム等）：掲載を継続するかどうか、改めて検討する。
- 国際理事候補者資格審査委員会規則、オセアルのガイドライン、国際第 3 副会長立候補者推薦手続規則、33X 複合地区緊急援助基金規定、レオクラブ会則は改定されていないためそのまま掲載する。
- 国際理事候補者資格審査委員会規則については、委員会で改訂が決定した場合は差し替えての掲載とする。

- 国際理事会方針書について、森川委員よりトラブル時に参考となる「第15章 法律」等の抜粋掲載が提案されたが、松岡委員から情報過多への懸念も指摘された。森川委員が第15章を掲載した「たたき台」を作成し、次回委員会で可否を改めて議論することになった。

④ 重複内容の整理:

- 「役員必携」については、「ライオンズ必携」と重複する部分を削除し、内容を整理する。

<2>日本ライオンズおよびライオン誌日本語版に関する規定の追記について

日本ライオンズおよびライオン誌日本語版に関する項目を役員必携に追記する件について、その表記方法と掲載位置が議論された。

① 掲載位置と表記方法:

- 松岡委員より、330 複合地区の会則案を参考に複合地区会則の一部として一体的に定める形式が提案され、複合地区会則の後に記載する方針で合意した。
- 標準版とは異なる 330～337 複合地区独自の規定である旨を注釈で明記する案が承認された。(松岡委員)
- 日本ライオンズ賛助会費額に関する記載は現状と異なるため、会費額の詳細は削除。

複合地区変更には各複合地区大会での承認が必要であり、周知することが必要。

<3>GAT（グローバル・アクション・チーム）および WYPT に関する規定について

GAT、特に WYPT（女性と若者のためのプログラムチーム）の役員必携における位置づけについて議論が行われた。

① 課題と決定事項:

- 標準複合地区会則で WYPT がキャビネット構成員として明記されておらず、投票権についても明確でない点が指摘された。(松岡委員)
- WYPT の役割や位置づけの誤解を防ぐため、役員必携に規定を設けることで合意した。
- GAT の解説部分に、WYPT が①キャビネット構成員であること、②キャビネットにおける投票権を有すること、③その役割、の3点を複合地区会則へ特別規定として明記する。
- 森川委員より、上記内容を反映した原案を委員に回覧し最終決定する進め方が提案され、承認された。

<4>賛助会費額および公益財団法人日本ライオンズの必携への記載について

賛助会費額と公益財団法人日本ライオンズについて記載を行うかどうかについて議論が行われたが、時間的制約や会員間の理解度の状況から、今回の改訂では詳細な記載を見送ることとなった。

① 賛助会費額の記載:

- 賛助会費額は地区により異なり、免除項目も存在するため、一律の記載は困難であると確認された。

- 「納付する義務がある」という趣旨の記述に留め、具体的な金額については掲載しない方向で合意した。

② 公益財団法人日本ライオンズの記載についての検討:

- 記載について協議を行い、既に発行されている必携の年表に設立に関する記載があることが確認され、今回はその記載に留めることになった。
- 今後の記載方法については、次年度以降に継続して審議していく方針で合意した。

<5>用語の解説の更新について

「ライオン・ポータル」や「公益財団法人日本ライオンズ」などを「用語の解説」に追加するか議論されたが、編集期間が短いため今回は見送り、次年度の検討課題とすることを申し合わせた。

1. 発行スケジュールと役割分担について

2025年3月の発行を目指し、今後の具体的なスケジュールと作業の役割分担について議論が行われた。

① スケジュール案:

- まず委員会内で合本原稿（ゲラ）の内容を確定させる。
- 確定したゲラを基に理事会へ提出する原本を作成し、理事会の承認を得る。
- 理事会の承認後、印刷工程へ進む。

② 役割分担:

- 膨大なチェック作業を一人で行うのは困難であるため、役割を分担して進めることを確認した。
- 具体的な担当割りについては、今後速やかに決定する。

③ 改訂編集方針と発行スケジュールの確認

ライオンズ必携改訂の編集・発行計画について、データ版優先・印刷版後追いの方針を確認。全体構成（目次案）と実務編の扱い、印刷工程・見積り手続き、理事会承認のタイムラインを協議した。

森川委員よりライオンズ必携のゲラ作成・A4版統一の編集案が寄せられた。増澤事務長より印刷の3月完了は困難で、最短で5月、場合により6月の見込み。データ版は先行提供可能との意見。3月時点はデータ運用を基本とし、印刷版は4～5月目標で進めることを了承。

印刷会社は複数社見積りを取得し、紙質・ページ数（約400ページ）を前提に工程を調整。資材・機械手配は早期抑えが必要。

理事会へ提出する内容としてはまず目次・編集方針を対象とし、中身は1月～2月に会則委員会で精査・修正。

2. 次回開催日程の決定

1月19日14時開始（ハイブリッド）で合意。

1月27日の理事会に原案を提案・承認取得を目指す。

3. 目次構成（編集方針）の承認

目次改訂案（差し込み含む）について、章立てと収載資料の最新化方針を確認した。

① 第1章「ライオンズ必携」構成案：

- 第一部：目的・道徳・評判 等

- 第二部：国際会則・規則（2025年4月18日改定版：現行）

- 第三部：標準クラブ会則・附則（2025年7月12日版）

- 第四部：標準地区会則・附則（2025年7月12日版）

- 第五部：複合地区会則・附則（最新）

- 第六部：規則ガイドライン・参考資料（国際臨時会候補者審査規則 等、CIF、GAT 関連、決定文書 等）

- 第七部：用語解説、年表、プライバシー方針

② 第2章「役員必携」構成案：

- 第一部：クラブ運営・役員トップ、幹事・会計の実務、理事会・例会運営

- 第二部：地区・複合地区の実務（地区ガバナーキャビネット運営、複合地区協議会 等）

- 第三部：IT・広報（ライオン・ポータル、AI活用 等の最新反映要確認）、物品購入、YCE 実務、レオクラブ、クラブ解散・合併 等

- ③ IT 領域は最新仕様（ライオン AI、ポータルの更新）反映の必要あり、担当割当とアップデート方針を検討。
- ④ 「役員必携 24-25 年度版」をベースに修正点の反映を継続、PDF 化したデータを共有し、委員で分担精査。

4. 作業分担とデータ共有・校正の進め方

役員必携の精査体制とデータ共有手順を確認した。

森川委員より PDF データを委員に再送・共有、1 月 19 日までに分担校正の指摘を集約。事務局は人事・データ更新（ガバナー増加 等）を支援可能。データ環境で改訂反映を進める。目次の最終整理と編集方針は本日承認、単価・印刷部数は後日決定。

5. データ運用と印刷版配布の方針の確認。

新三役セミナーにはデータ版で対応可。必要箇所を各複合でプリントアウトし活用いただければと思うが、一方で冊子版の需要も高いのが現状である。可能な範囲でデータ提供を優先する。印刷版は 4～5 月目標。状況により 8 月まで延伸の可能性あり。

6. AI チャットボットの導入提案（情報提供）

330 複合地区で運用中の会則 AI チャットボット（LINE）について紹介があり、活用拡大を提案。MD330 では LINE 上で会則質問に即時回答するボットの正式版導入を検討中。他複合への提供も可。運用費は 1 アカウント月額 100 円を想定。希望者選択制での導入案。本会議終了後に試用案内（友達追加でデモ利用）を実施。AI による議事録作成のスムーズ化支援要望が寄せられた。

決定事項:

- 次回委員会を 1 月 19 日 14 時（ハイブリッド）で開催する。
- 1 月 27 日の理事会に HB 原案（目次・編集方針）を提案し承認を得る。
- 3 月はデータ版で運用、印刷版は 4～5 月を目標に進める（状況により最長 8 月）。
- 必携は A4 版統一、約 400 ページ構成で編集を進める。
- 印刷会社は複数見積り取得・紙質等を含め増澤事務局長が手配。
- 役員必携は黄色版を基礎に PDF 共有し、委員で分担校正を 1 月 19 日までに実施。
-

検討事項:

- IT・広報（ライオンポータル、AI 機能）の最新反映内容と担当割当。

- 印刷部数、単価、配布方法の最終決定。
- セミナー時期（3～5月）との配布形式最適化（データ/印刷の併用）。

今後の予定:

- 正月明けまでに森川委員より改訂データ（PDF）をメール配信。
- 1月19日(月)委員会で役員必携の修正指摘を討議・確定。
- 1月27日(火)理事会で原案承認後、印刷会社選定・工程着手。
- 2月頃に再精査を実施し、データ版最終化。
- 4～5月に印刷版配布（目標）、状況により8月まで延伸の可能性。

次回開催日程の確認

- 期日: 2025年1月19日(月)
- 時間: 14:00 開始（2時間程度）
- 場所: ハイブリッド開催（対面・オンライン併用）

⑤ 閉会挨拶 会則委員会副委員長 設楽 幸子

以上

議事録作成人

MD332 委員 荒川 友成

MD333 委員 椎名 健二

(2025-26 年度)

一般社団法人日本ライオンズ コンペ開催および第6回 国際大会委員会

議事要録

◎日時：2026年1月7日(水) 13:30 - 16:00

◎場所：ハイブリッド開催(対面+Zoom システム)

出席者リスト

一般社団法人 日本ライオンズ

理事長	喜多 友一	(上田城南)	【対面】
副理事長	諏訪 昇三	(札幌時計台)	【対面】
副理事長	廣田 晃一	(姫路中央)	【WEB】
国際大会委員会委員長/専務理事	伊賀 保夫	(東京ピース)	【対面】
国際大会委員会副委員長/副理事長	山崎 もとみ	(大田)	【WEB】
国際大会委員会副委員長/MD334 議長	浜 一平	(岡谷)	【WEB】

2025-26 年度 複合地区 国際大会委員

MD330 委員	細川 孝雄	(東京赤坂)	【WEB】
MD331 委員	須藤 敏幸	(伊達)	【WEB】
MD332 委員	高橋 寛	(和賀)	【WEB】
MD333 委員	岡野 良男	(土浦環)	【WEB】
MD334 委員	戸祭 宏樹	(鯖江王山)	【WEB】
MD335 委員	江草 長史	(和田山)	【WEB】
MD336 委員	日下 眞二	(出雲中央)	【欠席】
MD337 委員	吉見 章一	(宮崎ひむか)	【WEB】

2025-27 年度国際理事

本部大会委員会所属	仁科 良三	(長野みすず)	【WEB】
-----------	-------	---------	-------

オブザーバー

2026-28 年度 国際理事候補者	松岡 勲	(京都南)	【WEB】
ウイントラベル株式会社	加藤 勉		【対面】
日本ライオンズ事務長	増澤 義治	(諏訪湖)	【対面】

以上

■【第1部】コンペ開催 <13:30-14:45>

◎開会宣言 国際大会委員会 委員長/専務理事

伊賀 保夫

◎一般社団法人日本ライオンズ 理事長 ご挨拶

喜多 友一

香港国際大会早期登録が今月末に迫っています。当委員会で慎重審議していきましょう。

◎2025-27年度 国際理事（本部大会委員会所属）ご挨拶

仁科 良三

国際理事に就任してから、83億人に及ぶ人々を幸福にすることの大変さを感じているが、ライオンズの目的は人道支援を通じて世界の人々を幸福にすることです。

世界中の会員が集う香港国際大会にて、ミッション1.5の成功を誓い合しましょう。

◎出席者確認

議事要録出席者リストを参照。

◎議事録作成人の指名

議事録作成人に MD331 委員 須藤敏幸 L を指名する。

主要議題：

香港国際大会パレード頒布品「コンペ」実施

1. コンペのルール確認（投票人数、投票方法など）

◎投票総数

まずは投票総数の確認が行われ、仁科国際理事、喜多理事長、副理事長3名、国際大会委員長と副委員長各1名、国際大会委員（本日参加の7名）、増澤事務局長の計15名で投票を行うことを確認した。

◎投票方法

投票は投票人の挙手により行うことを確認した。

2. 提案された頒布品のご紹介（交換ピン・缶バッジ、その他）

◎交換ピン

A,B,Cの3社から提出されたデザインシートがZoom画面にて共有され、事務局より説明がなされ、出席者各位より意見が述べられた。

各社、日本・香港それぞれをモチーフとしたデザインが2種1組で提出されたが、日本のデザインのみで良いのではないかという意見が出され、日本のデザインのみを大小1セットとして作成することを申し合わせた。

◎缶バッジ

A,B,C の 3 社から提出されたデザインシートが Zoom 画面にて共有され、事務局より説明がなされ、出席者各位より意見が述べられた。

日本・香港をモチーフとしたデザインが全部で 6 種類紹介されたが、交換ピンと同様に、日本デザインのための審査を行うことを申し合わせ、デザインや素材、単価についての情報共有や意見交換が行われた。

◎その他（小物）

A,B,C の 3 社より提案がある。

A 社からエコバック、B 社から冷感タオル、C 社から団扇（うちわ）が提案され、事務局より詳細な説明がなされた。

香港国際大会のパレードの形態が未定であり、どのようなグッズが適切か判断できないことや、社団での購入もしくは国際理事候補者にご購入いただくか等、意見交換がなされ、パレードの形態が明確にならない時点では審査は難しいとして、現状では日本ライオンズとしての採用は見送ることとした。

3. 審査

◎交換ピンの審査

意見交換の後、各社の A 案（日本のデザイン）の採決に入る。

投票の結果、A 社 9 票、B 社 1 票、C 社 5 票となり、A 社に決定する。

但し、国際大会委員会からの要望として、以下を公認指定業者へ伝えることとした。

○現状のモチーフ内に入っている日の丸を変更し、日本国旗を入れる。

○開催地である「香港」をデザインへ入れる。

○富士山のデザインを変更し、一目で富士山とわかるようにする。

後日修正案を検討し、交換ピンを 2 種 1 組（大・小セット）で注文の準備を進める予定。

◎缶バッジの審査

投票の結果、A 社 5 票、B 社 10 票、C 社 0 票となり、B 社に決定する。

但し、国際大会委員会からの要望として、以下を公認指定業者へ伝えることとした。

○現状のモチーフ内に入っている日の丸を変更し、日本国旗を入れる。

○富士山のデザインを変更し、一目で富士山とわかるようにする。

後日修正案を検討し、注文の準備を進める予定。

◎その他（小物）の審査

現時点ではコンペ対象としないと決定する。

4. 注文の切日、納品予定日などの確認

今回の結果を踏まえ、採用となった各公認指定業者に連絡を行い、速やかに修正案の提出を依頼した上で、最終決定を行うこととする。

—伊賀国際大会委員長より、時間の超過のため、第2部は14時55分から開催するとの連絡があり、休憩に入った。—

■【第2部】第6回国際大会委員会 <14:55-16:00>

◎開会宣言 国際大会委員会 委員長/専務理事

伊賀 保夫

◎2026-28年度国際理事候補者 ご挨拶

松岡 勲

年頭のご挨拶と国際理事候補者として各MDを訪問した際に、社団役員、各MD役員の皆さんに大変お世話になったことに謝意を述べられ、さらに、年末年始に起きた島根東部地震災害へ向けたお見舞いの言葉と、災害支援を行うことを述べられた。

香港国際大会まで残り半年となり、社団役員、国際大会委員会の皆さんの熱意で参加登録の拡大に努めるようお話された。

◎出席者確認

議事要録出席者リストを参照。

◎議事録作成人の指名

議事録作成人に MD331 委員 須藤敏幸 L を指名する。

主要議題：

香港国際大会の件【2026年7月3日（金）-7月7日（火）】

1. 頒布品コンペ 結果報告

交換ピンと缶バッジについて、採用されたデザインと公認指定業者への要望について再度確認がなされた。

その他（小物）の審査については、パレードの詳細等が決定していないことを受け、現時点ではコンペ対象としないと決定されたことが報告された。

2. 各MD早期登録状況のご報告

別紙資料「8MD香港国際大会登録者数ご報告」を基に、各MD委員より早期登録状況について現状報告を受ける。

各 MD 委員からは、年末年始で登録状況についての報告が届いていないことや、今月中に各準地区で開催される地区キャビネット会議、MD 内の委員会等で香港国際大会の登録の呼びかけを行うことと、特に1月末締め切りの早期登録をPRして参加登録を促進していくことが報告された。

また、香港国際大会参加への懸念材料として、日中関係の悪化を心配する声が会員より寄せられていることの報告がなされた。

伊賀国際大会委員長より、各 MD・準地区に「香港国際大会 早期登録のお願い」の文書を発信したことが説明され、今回の香港国際大会は早期登録締め切りが1月30日と早く、早期登録期限を過ぎると登録料が190ドルから265ドルへ大幅に引き上げられることで参加者が少なくなることが懸念されるため、引き続き早期登録への協力が呼びかけられた。

3. 各 MD 公認 TC 決定状況について

未決定の MD331 須藤委員より、現在2社と交渉中で今月中旬には決定をすると報告がある。他の7MDは、資料に記載の通りであるとの確認がなされた。

山崎副理事長より、MD336 複合地区内の大会登録代行料の値上げの件で質問が出され、幹事公認 TC からは各 MD の公認 TC へ向けた登録料の統一などの呼びかけは一切行っていないと返答がなされた。

伊賀国際大会委員長より、登録手数料は各 MD が公認 TC と決めることであり、当委員会で決めることではないので、各 MD で公認 TC へ交渉をお願いする旨の回答がなされた。

4. 幹事公認 TC より最新情報のご報告

・全日本ホテルについて (MD 別ホテル割り当て等)

現在シカゴの国際協会本部担当者ローレン氏と交渉中である幹事公認 TC ウィントラベルより、当初想定していた市街中心部のホテルで日本として希望している250室を確保することについて、難しいという返答があったことが報告された。

国際協会が確保しているホテルを中心とし、その周辺の非公認ホテルも含めた使用についての提案があり、検討がなされたが、仁科国際理事をはじめとした参加者より、やはり国際協会が確保しているホテルを利用すべきであるとの意見が出された。

日本ホテルが複数になる場合は、ツアーデスクの設置が一番宿泊者が多いホテルがよいのではないかという意見もあり、引き続き本部の状況や日本からの参加者数を把握しつつ、幹事公認 TC よりご提案をいただきながら、協議を進めていく。

・「日本ライオンズ代議員会・朝食会」開催について

まずは幹事公認 TC より現在検討中の会場等について説明がなされた。

日程は開会式が行われる 7 月 5 日の早朝とし、6 時 30 分にドアオープン（予定）。

会場は開会式の会場である AsiaWorld-Expo とも近い、香港国際空港近辺のホテルを検討中。

参加人数は 300 人を想定している。

伊賀国際大会委員長より、幹事公認 TC から委員会へ提出された見積もりや、過去の代議員朝食会の資料を元に検討した結果が報告され、登録料を 1 名 10,000 円とすることを国際大会委員会として申し合わせを行った。

去年同様、日本ライオンズが金額の一部を負担することに合わせて、開催概要について今後理事会へ上程し、開催についての承認を得る。

註：国際大会委員会開催時点で国際大会 HP にて掲載されていた行事日程に基づく協議であるため開会式が 7 月 5 日（日）となっているが、その後変更が発表され、開会式が 7 月 4 日（土）となることが 1 月 14 日に国際協会からのメールと公式 HP にて発表された。変更後のスケジュールは以下の通り。

- 開会総会：7 月 4 日（土）
- 選挙：7 月 4 日（土）～7 月 6 日（月）
- 第二総会：7 月 5 日（日）
- 閉会総会：7 月 6 日（月）
- MJF 昼食会：7 月 6 日（月）
- インターナショナル・パレード：7 月 7 日（火）（予定 — 最終調整中）

5. その他

伊賀国際大会委員長より、別紙資料「第 108 回国際大会（中国・香港）日本ライオンズ職員 出張要請」について例年同様、社団事務局長・職員 2 名の計 3 名の出張を要請することの説明がなされた。目的としてはインターナショナル・パレードや日本ライオンズ代議員朝食会などの主要行事の設営・運営のお手伝い、各種総会やセミナーへの参加をはじめ、日本からの参加者へのサポートを行うためである。出張要請を今後理事会に上程することが採決された。

次回、開催日程

第 7 回国際大会委員会を、2026 年 2 月 2 日（月）午後 1 時 30 分～3 時にハイブリット（対面・WEB）会議で開催する。

◎閉会宣言

国際大会委員会 副委員長/副理事長

山崎 もとみ

日本ライオンズ発行<2025-26-C-M06>

公認 TC と MD がより密接な関係を保ち、会員の皆様に安心安全なツアーの提供をお願いしたい。

国際大会委員会 副委員長/MD334 議長

浜 一平

早期登録に向けて MD、社団、公認 TC が協力し、盛り上げていきましょう。

以上

議事録作成人

MD331 委員 須藤 敏幸

2025-26 年度 一般社団法人日本ライオンズ

第7回国際大会委員会 (HB) 議事要録

◎日 時：2026年2月2日(月) 13:30-15:30

◎場 所：ハイブリッド開催(対面+Zoomシステム)

出席者リスト

一般社団法人 日本ライオンズ

理事長	喜多 友一	(上田城南)	【欠席】
副理事長	諏訪 昇三	(札幌時計台)	【WEB】
専務理事	廣田 晃一	(姫路中央)	【WEB】
国際大会委員会委員長	伊賀 保夫	(東京ピース)	【対面】
国際大会委員会副委員長／副理事長	山崎 もとみ	(大田)	【WEB】
国際大会委員会副委員長／MD334 議長	浜 一平	(岡谷)	【WEB】

2025-26 年度 複合地区 国際大会委員

MD330 委員	細川 孝雄	(東京赤坂)	【WEB】
MD331 委員	須藤 敏幸	(伊達)	【WEB】
MD332 委員	高橋 寛	(和賀)	【WEB】
MD333 委員	岡野 良男	(土浦環)	【WEB】
MD334 委員	戸祭 宏樹	(鯖江玉山)	【WEB】
MD335 委員	江草 長史	(和田山)	【WEB】
MD336 委員	日下 眞二	(出雲中央)	【WEB】
MD337 委員	吉見 章一	(宮崎ひむか)	【WEB】

2025-27 年度国際理事

本部大会委員会所属	仁科 良三	(長野みすず)	【WEB】
-----------	-------	---------	-------

オブザーバー

2026-28 年度 国際理事候補者	松岡 勲 (京都南)	【WEB】
MD330 公認 TC 株式会社ウイントラベル東京営業支店 (幹事公認 TC)	加藤 勉	【対面】
MD331 公認 TC 近畿日本ツーリスト株式会社札幌団体旅行支店	黒田 進一	【WEB】
	佐藤 二也	【WEB】
MD332 公認 TC 株式会社ウイントラベル東京営業支店	加藤 勉	
MD333 公認 TC 株式会社ウイントラベル東京営業支店	加藤 勉	
MD334 公認 TC 株式会社ウイントラベル東京営業支店	加藤 勉	
MD335 公認 TC 株式会社 JTB	沼間 章作	【WEB】
MD336 公認 TC 近畿日本ツーリスト株式会社	金子 愛梨佳	【欠席】
MD337 公認 TC 株式会社 JTB 福岡支店	藪田 花奈	【欠席】
日本ライオンズ事務長	増澤 義治 (諏訪湖)	【対面】

以上

◎開会宣言 国際大会委員会 委員長

伊賀 保夫

◎一般社団法人日本ライオンズ理事長代行 副理事長 ご挨拶

諏訪 昇三

喜多理事長がご欠席のため、理事長代行を務めた。

代議員の参加促進および国際理事候補者当選に向けた支援を行う旨の発言があった。

◎2025-27 年度 国際理事（本部大会委員会所属）ご挨拶

仁科 良三

米国建国 250 周年記念日とパレードが重なったため、7 月 7 日にパレードが変更（最終調整中）とされた。なお、最終的な判断は 3 月にシカゴで開催される国際理事会において行われる予定である。

◎一般社団法人日本ライオンズ 専務理事 ご挨拶

廣田 晃一

国際大会委員長が香港国際大会の業務に専念することに伴い、残りの半年間、専務理事を代行する旨の報告がなされた。

◎2026-28 年度 国際理事候補者 ご挨拶

松岡 勲

大会のスケジュールは流動的であり、今後も変更が生じる可能性があるが、関係者の協力を得ながら大会当日を迎えられるよう取り組んでいく旨の発言があった。

1. 本日の出席者確認

出席者リストに則り確認、進行された。

2. 議事録作成人の指名

MD337 吉見章一委員を指名。

3. 議案および確認事項

「第 108 回香港国際大会（2026 年 7 月 3 日-7 日）」最新情報の確認

(1) 大会スケジュールの変更について

香港国際大会公式ホームページの行事予定表に基づき、スケジュール変更について周知が行われた。パレードは最終日の 7 月 7 日に変更（予定）となり、これに伴い、他の行事はそれぞれ 1 日ずつ前倒しとなった。なお、パレードを 7 月 7 日に開催するかについては、現在最終調整中である。

- 開会総会：7 月 4 日（土）
- 選挙：7 月 4 日（土）～7 月 6 日（月）

- 第二総会：7月5日（日）
- 閉会総会：7月6日（月）
- MJF 昼食会：7月6日（月）
- インターナショナル・パレード：7月7日（火）（予定 — 最終調整中）

(2) 大会登録について

- 各 MD 早期登録状況のご報告

各 MD の現在の登録者数について、8MD 委員長より報告がなされ、公認 TC から補足説明が行われた。

第 108 回香港国際大会 8MD 参加予定者数

MD	大会 登録者数	大会 現地参加者数	大会登録者数 内訳		備考
			一般	代議員	
330	114	114			
331	11	11	5	6	56名が参加予定
332	38				80名程が参加するのではないか
333	99	99	58	41	
334	209	209			1/28現在
335	232	220			1/29現在
336	79	75			2/2現在
337	72	2	32	42	1/29現在
大会登録者数 合計	854	730	95	89	

※本資料の数値は、委員会での各 MD 委員長・公認 TC 報告に基づく。

- グループ登録の早期登録期限延長について
グループ登録の期限が、2月28日まで延長された。

(3) 公認ツアーコーディネーターについて

- 各 MD 公認 TC リスト及び申請書類提出の確認

公認 TC リストを基に、各 MD における公認 TC の確認が行われた。

あわせて、伊賀国際大会委員長より、地区承認書については議長の署名を行ったうえで、各 MD より国際協会へ提出するよう周知がなされた。

(4) 幹事公認 TC より最新情報のご報告

・全日本ホテルの件 (MD 別ホテル割り当て、ツアーデスク 他)

幹事公認 TC のウイントラベル加藤様より現状について報告がなされた。

シカゴ本部を通じ、日本向けに公認ホテル 3 社、合計 241 室が割り当てられている旨の説明があった。内訳は以下のとおりである。

- ・インターコンチネンタル グランドスタンフォード：186 室
- ・ニューワールド ミレニアム：30 室
- ・カオルーン シャングリラ：25 室

近日中に各旅行会社よりツアーが発表される見込みであるが、シカゴ本部の指示により、2 月 27 日までに宿泊予定者の氏名を明記した名簿を提出する必要がある旨の説明があった。山崎副委員長より、日本向けに確保している 241 室が不足した場合の対応について質問がなされた。幹事公認 TC より、確保済みの部屋数を超える宿泊希望があった場合には、本部へ追加リクエストを行い、交渉する対応となる旨の説明がなされた。

また、香港国際大会公式ホームページに記載のとおり、現時点ではシャトルバスの利用資格は、公認ホテルを予約した宿泊者に限られる予定であることが共有された。

ツアーデスク (インフォメーションデスク) 設置について、業務内容や社団が負担する費用と旅行会社が負担すべき費用の区分、ならびにツアーデスクの必要性について議論がなされた。多くの委員より、ツアーデスクは必要であるとの意見が出された一方で、費用負担については社団がどこまで対応できるかを明確に線引きできるよう、慎重に検討する必要があるとの指摘があった。

幹事公認 TC より、現在 3 つのホテルにツアーデスク設置について確認中であるが、いずれも料金が低い状況であることが報告された。その中で、インターコンチネンタルの斜め前にあるホテルは比較的料金が抑えられており、推奨できるとの説明があった。

委員会にて検討した結果、会場費については社団が負担し、人件費等の費用については旅行会社が負担する方向で進めるのが望ましいのではないかと申し合わせがなされた。

・「日本ライオンズ代議員会・朝食会」の件 (開催概要、DGE バス 他)

7 月 4 日朝に日本ライオンズによる代議員朝食会を予定している。

会場はリーガルエアポートホテル (香港国際空港併設) で、時間は 7:00~8:30、洋食の着席ビュッフェ形式を予定しており、参加人数は 300 名を見込んでいる。

伊賀国際大会委員長より、ホテルからの正式な見積もりが届き次第、委員会にて報告予定である旨の説明がなされた。

DGE ホテル (フォーポイント バイ シェラトン) から朝食会会場までのバス手配の有無については、今後検討する予定である。また、一部委員より一般参加者の移動についてもバス

利用の検討を求める要望があり、併せて今後検討することとなった。

(5) インターナショナル・パレードについて

・パレード頒布品 採用デザイン及びお見積りの確認

伊賀国際大会委員長より、1月7日に開催された第6回国際大会委員会のコンペで採用された交換ピン（1種2組）および缶バッジについて、修正済みの最終デザインと見積書に基づき金額が共有された。また、パレードユニフォーム（ポロシャツ&キャップ、記念ピン）についても、デザインの再共有がなされた。

・注文方法、締切日について

パレード開催が最終調整中であることから、パレードユニフォーム（ポロシャツ&キャップセット、記念ピン）の発注については一旦保留とするよう、仁科国際理事よりご指示があった。

また、交換ピンおよび缶バッジについては、納期を確認した上で委員会として判断するため、一旦保留とする旨、伊賀国際大会委員長より発言がなされた。

「第63回 OSEAL フォーラム in ベナン（2026年11月12日-15日）」最新情報の確認

(1) 基本情報の確認（開催日時/場所/スケジュール）

伊賀国際大会委員長より、ベナンフォーラム公式ホームページに公開されているフォーラムスケジュールを各自確認するよう周知があった。

次回、開催日程

3月6日10:00より開催

◎閉会宣言

国際大会委員会 副委員長/副理事長

山崎もとみ

検討していかなければいけない案件が沢山あるが、よりよい形にしていけるよう皆様と一緒に努力していきたい。

国際大会委員会 副委員長/MD334 議長

浜 一平

状況が見えない中での協議で大変な部分もあるが、より多くの皆様に参加していただけるよう道筋を作っていきたい。

以上

議事録作成人
MD337 委員 吉見 章一

(2025-26 年度)

一般社団法人日本ライオンズ 第4回 YCE 委員会【対面】議事要録

◎日 時：2026年2月18日(水) 14:30-17:00
◎場 所：一般社団法人日本ライオンズ 会議室

出席者リスト

一般社団法人日本ライオンズ

理 事 長	喜 多 友 一	(上田城南)	【欠席】
理事長代理(副理事長)	諏 訪 昇 三	(札幌時計台)	【欠席】
副 理 事 長	山 崎 も と み	(大田)	
専 務 理 事	廣 田 晃 一	(姫路中央)	
YCE 委員会委員長	濱 田 浩 平	(長崎南)	
YCE 委員会副委員長	津 田 勝 之	(大阪桜ノ宮)	

25-26 年度 各複合地区 YCE 委員

MD330 委員	田 代 哲 也	(南足柄)	
MD331 委員	佐 藤 豪 一	(帯広かしわ)	
MD332 委員	渡 部 政 介	(郡山西)	
MD333 委員	星 野 勝 美	(太田)	
MD334 委員	今 泉 雅 雄	(豊橋南)	
MD335 委員	団 英 男	(神戸みなと)	
MD336 委員	住 吉 孝 文	(玉野)	
MD337 委員	中 川 誠	(宮崎フェニックス)	

オブザーバー

日本ライオンズ事務長	増 澤 義 治	(諏訪湖)	
------------	---------	-------	--

以上

1. 開会宣言 招集権者 一般社団法人 日本ライオンズ YCE 委員会 委員長 濱田 浩平

一般社団法人 日本ライオンズ YCE 委員会委員長 濱田 浩平が開会を宣言。

- ・ 今期の活動を踏まえ、今期の活動状況と来期に向けた引継ぎ事項を検討したい。
- ・ MD335 の団委員が、トップ 10YCE 委員長を受賞された件について改めて祝意を表明。

2. 一般社団法人 日本ライオンズ副理事長挨拶 山崎 もとみ

・ 欠席の喜多理事長に代わり、山崎副理事長が挨拶され、YCE 委員会の各委員へ日頃の YCE 活動への取り組みに感謝を伝えられた。

3. 出席者の確認

濱田委員長により、出席者が確認された。

- ・ 喜多理事長、諏訪副理事長は欠席。
 - ・ MD330 佐藤委員、MD333 星野委員は交通事情により少し遅れて出席。
- 新たに就任された、廣田専務理事（前年度前期 YCE 副委員長）より挨拶。

4. 議事録作成人の指名

濱田委員長から、MD334 今泉委員が指名された。

5. 議題 確認事項および協議事項

(1) 前回議事録の確認

- ・ 12月4日に Zoom で 実施された前回の議事録内容を確認し、承認された。
 - ・ 主な議題は以下の通りであった。
- 今年度冬季派遣の最新状況と問題点の協議および春夏の交換予定の共有。

(2) 冬季派遣の振り返り

① 最終交換数の確認

資料に基づき、冬季派遣・受入の最終人数を確認した。

【冬期派遣実績：合計人数：24名】

MD332：マレーシア（2名）

MD334：イタリア（4名）、ドイツ（4名）、台湾（4名）

MD335：マレーシア（2名）

MD336：台湾（4名）

MD337：台湾（3名 / 337C・337E 地区より MD336 へ）

マレーシア（1名 / MD335 へ）

MD330、MD331、MD333 は派遣なし。

【冬期受入れ実績：合計人数：56名】

MD330：マレーシア（3名）

MD332：マレーシア（1名）

MD334: イタリア (5名)、ドイツ (4名)、マレーシア (10名)

MD335: マレーシア (15名)

MD336: 台湾 (10名)

MD337: シンガポール (8名)

MD331、MD333 は受入れなし。

② 各 MD より情報共有・今後の申し送り等

MD334 より、冬期のヨーロッパからの来日生の帰国フライト便が、政局の影響から中国系航空会社のフライトキャンセルが相次ぎ、対応に苦慮したとの報告があった。新しいチケット料金は相手国が負担し無事に帰国。

この問題は成田や羽田では影響は少ないがセントレアや関空発の便については当分続くと予想される為、今後の派遣・受入計画において、該当する中国系航空会社を避けるよう通知する方針。

航空券代の上昇が懸念されるが、香港経由であれば価格変動は少ないとの見解が示された。

(3)次年度春・夏季事業交換予定の共有

① 各 MD 交換人数の確認

資料に基づき、春・夏季派遣・受入の予定人数を確認した。

MD330: 春期の派遣は、タイへ 4 名、サイパンへ 2 名。

受入れは、タイから 3 名。

夏期は、MD4 に 4~6 名を調整中。 受入れは、計 18 名を計画。

MD331: 派遣は 3 名 (フィンランド・フランス・スイス)、残り 2 名検討中。

受入は、現在 5 名だが、15 名分の枠を確保している。

MD332: 派遣はノルウェー3名、フランス、イギリス各 1 名だが 6 名を目指す。

受入は、スペイン、ノルウェー、フランス、イギリスで 約 8 名。

MD333: 派遣は、フィンランド、チェコスロベキア、ドイツ、フランス、ルーマニアで 6 名確定。米国ウィスコンシンに 1 名追加の可能性あり。

受入は 9 名で 確定済み

MD334: 派遣は、ヨーロッパに 10 名、マレーシアに 9 名の 19 名を予定。

受入は、ヨーロッパ 16 名、台湾 4 名の、20 名の予定。

MD335: 派遣は 未定。

受入は、335B 主催の国際キャンプで 16 か国 19 名の希望あり。

MD336: 派遣・受入共に、台湾にて 10~15 名を予定。台湾とは日程調整中。

MD335、MD337 分もまとめて調整する。

MD337: 派遣はシンガポールへ 12 名決定。 受入れはない。

② 各 MD より現状報告 その他共有事項など報告

【MD 間の派遣・受入枠の調整】

・ MD335 より、東マレーシア(308A2)から夏期に 6 名の受入れ希望があり。

同人数の派遣も可能。MD336、MD337 に打診中。

同じくマレーシア（308B2）地区から、7月に10名前後の派遣可能との提案があった。

・MD337より、シンガポール派遣枠12名に対し、25名の来日希望者がおり他MDに支援の依頼があった。

【海外からの YCE プログラム 現状と課題 問い合わせへの対応】

- ・海外からの問い合わせ窓口が統一されておらず、各複合地区が個別に対応。
- ・各MD共に、YCE公式リストにない国（例：北インド）や、LINE、親族経由など非公式ルートからの申し込みがあり、対応に苦慮している。
- ・特に、国際ディレクトリに掲載の、MD332、MD333は顕著である。

※対応策として

- ・スポンサーがライオンズクラブではない案件は受入ない方針を確認。
- ・各地区での個別対応は継続するが、緊急時はLINEグループで相談する。
- ・提携外からの問い合わせには「キャンプは満席です」と回答し、やんわりとお断りする。
- ・各MDが個別に対応した場合の日本ライオンズYCE委員会における「報告」についての目的が不明確との指摘もあった。

【ユニフォーム（YCE ベスト・ジャケット 現状と課題）に関する検討】

- ・MD330より、派遣生の統一ユニフォームについての質問があった。
- ・MD335より、現在の白ベストタイプのユニフォームが、マレーシアなど服装に厳しい国では「だらしない」と相手国より不評。
ブルージャケットは高価（一着2~4万円）だが、YCEメンバーと判りやすい。
- ・白ベストは安価でサインを書き込めるなど利点を考え、コンペを行った上で導入された経緯がある。寄せ書きなど好評な面もあり、現在のマニュアル（YCEの手引き）にはユニフォームとしてジャケット・ベストの両方を記載している。

※対応策として

- ・ポロシャツやYCEエンブレムを統一する案や、ポロシャツの上にベストを着用する案が提案された。
- ・マレーシア派遣メンバーには、各自でブルージャケットを用意してもらう暫定対応をとっている。
- ・今回は結論に至らず、次回までに各地区で意見を持ち寄り、全員が統一感を持てる着用方法を再検討することになった。

【国際ディレクトリのシステムに関する問題点】

- ・現在のExcelベースの国際ディレクトリは、入力が難しく情報反映も遅いと多数の意見有り。
- ・以前は地図上でキャンプ地を確認できる判り易いシステムだったが、変更になった理由が疑問である。

※対応策として

- ・ LCI の問題であるので、国際理事を通じて LCI へ改善を働きかけるべきとの意見で一致した。

【各 MD から寄せられた YCE 業務の問題点】

- ・ 海外からの問い合わせ対応や調整業務が、各 MD の事務局や委員長への負担増大となっている。
- ・ 担当事務局員の不在や退職により、委員長が業務を抱え込む状況。
- ・ 委員長が毎年交代する為の引き継ぎの困難さが指摘された。
- ・ 現在の窓口担当国の一覧は原則として維持し、フリー国での派遣希望には個別対応する方針を確認。

※対応策として

- ・ MD332 が既に対応用に英語での断り文の雛形を作成しており対応を進めていることが確認され、各 MD にて共有する。各 MD にて雛形の使用については判断する。

(4)今後の YCE 委員会方向性について

- ①現状の総括と次年度へ向けての引き継ぎ事項について

【ユースキャンプの運営について】

- ・ MD333 よりユースキャンプ運営における日本人青少年の参加について、各 MD の事例の確認があった。
- ・ MD336：レオクラブを持つクラブでは、レオクラブのメンバーをキャンプに参加させている。冬のキャンプでは受入10名に対し、レオクラブから8名が参加した。
- ・ MD337：派遣経験者である YC サポーターが主体となりキャンプを運営。
来日生8名に対し6名のサポーターが付き、常に参加者と行動を共にし、交流を深めた。
- ・ MD332：来日生1名に対し、レオやボーイスカウト、地元の高校生・大学生などを複数名配置する形式でキャンプを実施。
最終日には、来日生が日本語で感想を発表する交流も行っている。
- ・ MD334：20年以上前から存在する「ユースキャンプ連絡会」のルールに基づき、OB/OGのスタッフが中心となって運営。
各地区からOB/OGを1名ずつ出し、主体的に活動させている。
- ・ MD331：授業の単位取得を目的として参加する高校生もおり、食事中やスポーツなど、運営側の手が届かない部分でのサポート役として貴重な存在となっている。
- ・ 以上の事例のように、英語が堪能な日本の若者をオブザーバーとして参加させた結果、通訳などで活躍し、本人たちにも良い経験となった。
今後はOB/OGだけでなく、一般の若者も積極的にキャンプに参加させる案が提起された。

【ユースキャンプの費用負担と資金調達について】

- ① ユースキャンプ参加サポーターの費用

- ・ キャンプに参加する日本人サポーター（OB/OG、学生など）の費用は、多くの

MD では準地区の予算から捻出している場合が多いが、MD の予算を活用している事例もあった。

- ・交通費を準地区で均等に負担している MD もある。

② ユースキャンププログラムの運営費用。

- ・基本的に費用は準地区が負担するが、現状厳しい予算である。
- ・MD330 の主な財源は、送別会（フェアウェルパーティー）の会費収入である。

なお、東京ではオリンピックセンター等の安価な宿泊施設を利用し、費用を抑えている報告があった。

【ホストファミリー確保の現状と対策】

- ・MD331 より、ホストファミリー探しに苦労しているとの報告。（各 MD 共通である）
- ・高齢化の影響で集まりにくい状況にある。
- ・クラブ内での YC 活動の認知度が低く、世代交代も課題となっている。

※対応と事例

- ・若いクラブ会員への理解を促進するため、YC 活動の PR を重点的に実施した結果、世代交代が進み、快く引き受けてくれる家族が増えている。
- ・MD330 では、小さい子供がいる家庭も積極的に活動に参加している。
- ・MD337 では、冬の受入の場合、夏の段階で募集を開始している。

【YCE プログラムに関する手引きの確認】

- ・昨年 2025 年 6 月 22 日改定分の手引きが確認された。

【WhatsApp（メッセージアプリ）のセキュリティについての問題】

- ・MD332 から、マレーシアで WhatsApp の不具合（詐欺メッセージ）が発生。ショートメール経由のリンクからアカウントが乗っ取られる事案が報告された。
- ・MD335 からは、マレーシアのホストファミリーが金銭を要求する偽の指示が出た事例も共有された。

※対応策として

- ・LINE など別の連絡手段への変更や、オリエンテーションでの注意喚起が必要との意見が出された。

【将来的な体制に関する提案】

YCE プログラムに関する窓口の一本化

① 現状の課題

- ・各 MD、準地区で対応がバラバラである。
- ・YCE 委員が単年交替の為、専門知識が蓄積されにくい。

② 窓口一本化のメリット

- ・担当者が固定化され、事務処理が簡素化される。
- ・海外からの申し込み窓口が一本化され、各国との調整がスムーズになる。

③ 窓口一本化の課題

- ・専門事務局員の教育・育成に時間が費やされ、数年をかけての取組みとなる。

- ・委員会と事務局の業務分担を明確にする必要がある。

④ 委員会での確認事項

- ・業務負担軽減のため、将来的に社団（日本ライオンズ）に問い合わせ窓口を一本化し、情報を集約・共有する案が提案された。
なお、業務の一元化は即時実現が難しい為、まずは情報共有の方法から始めるのが現実的との意見が出た。（例として、定型文の共有、リスト作成 等）
- ・ユースキャンプについては、各 MD の対応とする事が確認された。
- ・社団に窓口を一本化した場合、社団からの各 MD への一方的な振り分けに対しては、慎重な意見も出された。
- ・中長期的な構想として実現の為に、経験者を集めた検討チームを発足させて、システムの構築、運営費用の検討、専門人材の育成等を担う事も提案された。
- ・本委員会は以上の事を踏まえて、来期より検討チームを立上げ、社団での問い合わせ窓口の一本化に向けての取組みに進む方向性を確認した。

(5)次回委員会日程の調整

- ・4月14日（火）10:00 ～ 12:00 Web 会議（zoom 対応）

6. 閉会の挨拶 日本ライオンズ YCE 委員会 副委員長

津田 勝之

- ・YCE 事業は、未来を担う青少年の為に寄与する事業であり、委員会メンバーの益々の活躍をお願いしたとの挨拶で閉会となった。

以上

議事録作成人

MD334 委員 今泉 雅雄

(2025-26 年度)

第3回アラート委員会 (HB) 議事要録

◎日 時：2026年1月21日(水) 14:00-17:00

◎場 所：ハイブリッド開催(対面+Zoom システム)

◎出席者：

一般社団法人日本ライオンズ

2025-26 年度 理事長	喜多	ともかず	友一	(上田城南 LC)	
2025-26 年度 専務理事	伊賀	やすお	保夫	(東京ピース)	【欠席】
2025-26 年度 アラート委員会委員長	藤井	のぶひで	信英	(岡山みらい LC)	
2025-26 年度 アラート委員会副委員長	くるまだ	のぶひこ	信彦	(玉川 LC)	

2025-26 年度 アラート委員

330 複合地区	おおや	たもつ	大屋 保	(川越 LC)	【Web】
331 複合地区	あさの	けいいち	浅野 敬一	(北見中央 LC)	
332 複合地区	もんま	ひろし	門馬 弘	(原町 LC)	
333 複合地区	みえだ	ひさお	三枝 久夫	(佐野西 LC)	【欠席】
334 複合地区 (MD 奉仕委員会委員長・GST CN)	やまもと	もとひろ	山本 基博	(恵那 LC)	
335 複合地区	ふるかわ	しげひろ	古川 繁浩	(堺 LC)	
336 複合地区	はつか	かずはる	廿日出 一晴	(東広島あきつ LC)	
337 複合地区	たかの	ゆうこ	高野 裕子	(熊本平成 LC)	【Web】

2025-26 年度 日本ライオンズ アラートチーム

アラートアドバイザー	しんざと	まさお	新里 正雄	(沖縄 LC)	【Web】
東日本統括リーダー	きむら	ともり	木村 知紀	(青森 ZERO LC)	【Web】
西日本統括リーダー	はたなか	たかゆき	畑中 隆之	(岡山みらい LC)	

オブザーバー

日本ライオンズ事務長	ますざわ	よしはる	増澤 義治	(諏訪湖 LC)	
------------	------	------	-------	----------	--

以上

藤井委員長挨拶

今日は主に一社アラート規約の変更、また3月に大阪で開催されるアラートフォーラムについて進める。

喜多理事長挨拶

アラートフォーラムを是非とも成功に繋げるよう今日は進めてまいりたい。

出席者の確認 出欠リストに基づき確認。

議事録作成人の指名 332 門馬委員・336 廿日出委員を指名。

1. 前回議事録の確認

事前資料としてお送りしている第2回アラート議事録について、前回はアラートフォーラムがメインとなったことを確認。

2. 2026年3月13日開催「全国アラートフォーラム in 大阪」最新情報

MD335古川委員からアラートフォーラムのプログラム、ライオンズ内外からの講演・登壇者、内容の詳細について説明。

分科会の内容は決まり次第、皆さんに報告する。

アラート委員会が行う第1分科会は対象が第1・第2副地区ガバナーとなり、早めに各地区より人数を提出いただきたい。できる限り出席をいただくようお願いする。

第2分科会については、MD335が行う。

環境保護の一環として資料や掲示物の紙媒体は用意せず、モニター等を使用しペーパーレスで当日は行う。また来賓・役員などのリボンも使用しない。

アラートフォーラムの登録人数が少ないので再度MD335より各MDへ登録要請を行う。

各MDへの参加目標数は330=30人、331=20人、332=30人、333=30人、334=40人、336=80人、337=30人、開催地である335は450人。

各委員からの質問・提案

各メンバーにフォーラムの情報が届いてないのではないかな。

各グループLINEを利用してフォーラムのアピールを行う。

もう一度一社)日本Lより情報の発信を行い、理解を求める。

申込期限を延長することも検討。

現時点での登録状況についてはすでに配信している案内に記載されているQRコードにアクセスし、登録申し込みフォームよりスプレッドシートで確認可能。

3. アラート規約の改定

木村リーダーからアラート規約改定について説明・提案。

全域リーダー、班長、副班長制度の廃止。

各目的を強化した説明文・規約。

アラート活動に豊富な知識を持った者が東西リーダーに相応しい。

またこのリーダーに次期適任者が不在の場合は、現リーダーの任期を伸ばして対応したい。

任命権限が現在は社団理事長となっている箇所について、アラート委員長とするかどうかについて今後検討する。

資金規程についてはさらに検討が必要であるため、参加者の意見をお伺いしたい。

資金規程については各委員より、日本ライオンズアラート委員会の立ち位置や、支援の在り方についてさまざまな意見が寄せられた。

本日の内容を再度委員長、東西リーダーと案を練って次回までに提案する。

改正のための日本ライオンズ理事会・社員総会への上程については来期第1回社員総会での承認も視野へ入れる。

同時に12条に記載されたアラート全体会議についても、班長職が廃止となることから再度の見直しを行う予定。

4. 各 MD の活動報告

MD330

現在社協と各クラブとの協定締結に向けて活動している。

今期の締結目標は50%。

木村東日本統括リーダーと複合地区アラート委員長が講師を務める MD 主催のアラートセミナーを開催する予定。参加人数は150人程度を目標。

MD331

MD331は各社協と各クラブとの協定締結はほぼ完了。

道内でも地震が多くなってきた等、自然災害への懸念事項も高まっている。

2月に帯広社協とLCで勉強会を行う。

MD332

MD内アラート委員会でも日本ライオンズ規定に準じてアラート規定を製作中。

各準地区によってアラートの意識が違う、この温度差を縮めた活動を行う。

東北は先の火災と熊被害問題も有るので、この2件もアラート活動として取り上げたい。次回2月4日に秋田でアラート委員会を行う予定。

MD334

現在 MD334 のアラート委員会は GST 所属の委員会となっている。

MD でアラート運営規約を製作中であるが、主に情報の流れ、資金の流れを重要視した規約にしたい。

各社協とすべてのクラブとの協定締結状況の調査を行った。今後実態調査と協定締結を進めていく予定。

MD335

今期はアラートフォーラム成功に向けて集中している。

準地区の報告は 335-C 地区が巨大災害に対して心構えを持ってもらう内容のアラートセミナーを行い、外部より専門家を招いて地震への備えや避難所の運営などの講演を行った。

各社協と各クラブの協定締結は順調に進んでいる。

MD336

各地区でアラートセミナーが行われた。MD 主催のアラートセミナーについては、今期は会場確保できず断念したため、来期に向けて今期のうちに会場確保を行った。各準地区アラート内規を全準地区と協調した活動が出来るよう、一社) アラート内規に準じた内容に改定することを検討中。

また災害後の活動方法や防災備蓄庫・物資なども準備・検討を進めており、MD 内で協力出来るような体制づくりを行っていく。

MD337

11 月に 337-E 地区の防災備蓄コンテナの視察を行った。

11 月に発生した大分の火災では行政・自治体の対応が完璧であり驚かされた。

337-B 地区でもこの災害への対応を行っている。

引き続きアラートフォーラムへの参加の呼びかけと委員長の任期が今年で終了であるため、次期への引き継ぎを行っていく。

新里アラートアドバイザー

活動費などの資金問題は難しくこれから数年を掛けて検討していくことが必要となる問題であると思う。

アラートに特化したクラブへのガイディングの際も費用が掛かるかと思う。大規模災害などは財団にも協力いただいて合同で活動するなども考えられるのでは。

畑中西日本統括リーダー

規約については委員会をスムーズに進行できるように、皆さんと内容について詰めていきたい。

津波や寒波など災害が懸念されるときでもあるので、アラートフォーラムを活用してアラート活動を皆さんに理解していただきたく思っている。目標以上の動員にご協力をお願いしたい。

副委員長

規約について各準地区、MD、日本ライオンズでそれぞれ立場はあるが、全体の中での整合性、また活動資金の捻出が可能か、等すぐ結論は出ないが今後検討してまいりたい。

アラートフォーラムへのご協力についても引き続きお願いする。

委員長

次回の会議はフォーラム前に2月にWEB会議を行う。

アラートフォーラム登録状況の確認についても、引き続き行う予定。

以上

議事録作成人

332 複合地区委員 門馬弘

336 複合地区委員 廿日出一晴

第4回アラート委員会（WEB）会議議事録

◎日時：2026年2月17日（火）11：00～12：00

◎場所：Zoom システム

◎出席者：

一般社団法人日本ライオンズ

理事長	喜多 友一	(上田城南 LC)	【欠席】
理事長代行 副理事長	諏訪 昇三	(札幌時計台 LC)	
副理事長	山崎 もとみ	(大田 LC)	
専務理事	廣田 晃一	(姫路中央 LC)	
アラート委員会委員長	藤井 信英	(岡山みらい LC)	
アラート委員会副委員長	車田 信彦	(玉川 LC)	

2025-26年度 アラート委員

330 複合地区	大屋 保	(川越 LC)	
331 複合地区	浅野 敬一	(北見中央 LC)	
332 複合地区	門馬 弘	(原町 LC)	
333 複合地区	三枝 久夫	(佐野西 LC)	【欠席】
334 複合地区 (MD 奉仕委員会委員長・GST CN)			
	山本 基博	(恵那 LC)	
335 複合地区	古川 繁浩	(堺 LC)	
336 複合地区	廿日出 一晴	(東広島あきつ LC)	
337 複合地区	高野 裕子	(熊本平成 LC)	【欠席】

2025-26年度 日本ライオンズ アラートチーム

アラートアドバイザー	新里 正雄	(沖縄 LC)
東日本統括リーダー	木村 知紀	(青森 ZEROLC)
西日本統括リーダー	畑中 隆之	(岡山みらい LC)

オブザーバー

日本ライオンズ事務局	増澤 義治	(諏訪湖 LC)
------------	-------	----------

•開会

○第4回アラート委員会を開会。司会はアラート委員会副委員長 L 車田。

○藤井委員長挨拶

喜多理事長が入院中で欠席であることと、理事長代行 諏訪副理事長、山崎副理事長と廣田専務理事のご紹介をいただく。

今日は主に3月13日に開催されるアラートフォーラムの登録状況や今後のアラート委員会の運営について進めていく。

○諏訪副理事長挨拶

喜多理事長は膝の人工関節手術で入院・順調に回復中。3月復帰見込み。

○山崎副理事長・廣田専務理事より挨拶いただく

○出席者の確認 出欠リストに基づき確認。

○議事録作成人の指名 330 大屋委員・334 山本委員を指名。

1. 前回議事録の確認

すでに配信を行っている第3回アラート議事録について、前回はアラート規約の改正についての話し合いがメインとなった事を確認。

2. 2026年3月13日「全国アラートフォーラム in 大阪」最新情報

MD335 古川委員からアラートフォーラムの登録状況、参加申請、当日のスケジュールに関して説明。

•登録状況（最新）

○MD別登録者数（ライオンズメンバー）：

MD330	MD331	MD332	MD333	MD334	MD335	MD336	MD337	計
34	10	20	13	42	462	44	18	653

▪合計 653 名＋一般 15 名＝計 668 名。目標 700 に接近。

▪MD335 古川委員報告：最新で 688 名まで増加。335B 地区は現在 494 名で 500 名到達見込み。

○交流会登録：297 名（想定 500）。

○分科会登録：分科会 1（第 1/第 2 副地区ガバナー向け）＝50 名、分科会 2＝175 名。

•参加方針・当日運営

- アラート委員会関係者は原則参加。MD334 委員は地区内で研修の講師役のため欠席。
- 委員の分科会参加：分科会 1 を優先推奨（人数バランスのため）。両分科会の行き来は可能。
- 当日集合・動線：9:45 頃に現地で一度集合。集合場所はグループラインで到着後に案内。食事をとった後にフォーラム会場へ移動。
- 受付・運営：基本は MD335 複合が担当。当日不足分は状況に応じて委員が支援。
- 目標達成・追加募集
 - 登録締切は今週いっぱい。目標未達 MD は追加登録を継続。
 - 会場キャパは 700 名。700 名を超えても、全体運用・安全面を踏まえ主催側で最終調整を行うので、ぜひ多くの方に参加をしていただきたい。
- 個別対応・要請
 - MD330：目標人数は「30 名」であり、事務局資料に記載されている「50 名」は誤り。
 - MD331：A/B は各 5 名、C はゼロ。理事長代理・諏訪副理事長からの 331C への参加呼びかけを要請。

3. 次年度アラート委員会組織について（班長・副班長の廃止）

- 方針・組織図
 - 社団内の「班長・副班長」役職は昨年度末に委員会で話をした通り、来期以降廃止予定。
 - 第 8 回理事会（2/25）に付議し、承認後に各 MD へ文書にて周知を行う予定である。

4. アラート規約改正（進捗・方針）

- 改訂方針
 - 対策本部の設置：災害発生時に社団が現地対策本部を立ち上げる文言を見直し、各複合地区（MD）側で設置、社団は支援・フォローを行う。
 - 予算規定：アラート委員会のみが独自予算を持つことへの違和感があるため、当面は条文の空白化を含む選択肢で再設計。予算については時間をかけて検討が必要である。
- 承認プロセスの整理
 - 第 34 条（改正・廃止）・第 35 条（施行）について本来は「理事会承認で発効、社員総会は報告」であることを確認。アラート規約改正においては理事会での承認での改訂、社員総会での報告とする予定である。
- 体制・スケジュール
 - 藤井委員長・木村リーダー・畑中リーダーの 3 名で 3~4 月に素案作成。早期に資料を作成し委員会での協議を行うことを目指す。
 - 規約に関する意見はメールもしくはグループラインで受付・反映。

5. 各 MD・リーダー活動報告

- MD330
 - 前回報告内容から大きな変更なし。
 - フォーラム登録目標の修正を依頼（30名が正しい）。
- MD331
 - 帯広で社協共催の講習会を開催（約50名参加）。大変有意義であった。
 - フォーラム登録は10名（A/B各5名、C0名）。豪雪被害のため呼びかけに支障が出ている。
 - アラート委員会活動の意義と重要性、予算の必要性に言及。
- MD332
 - 2/4 秋田で複合地区アラート委員長会議（大雪下で17名参加、欠席1名）。現地で除雪災害対応の重要性を再認識。第1副地区ガバナー・キャビネット役員・地元本部長も参加し地域でのアラートの活動への認識が向上したと感じる。
 - 今回の会議開催を通じて、第1副地区ガバナー、キャビネット役員の方々にもアラート委員会へ参加をいただき、アラートの実際の活動の姿・必要性を理解いただくことが重要であると感じた。
- MD334
 - 社協との協定締結状況を全クラブ（372）で集計。
 - 締結済み=51%、締結予定=約5%、予定なし=33%、無回答=約10%。
 - 地区差：C地区は80%超、D地区は90%。一方A区は1割未満で今後の予定なしが約8割と地区としての締結はほとんど進んでいない。地区ごとの差についてどのように対応するか、今後アラート委員会の皆さんとも話をしていきたい。
 - MD アラート運営規則：修正を重ね最終案を検討。3/30MD内委員会で最終化を目指し、4/15に各地区アラート委員長への説明を行う予定である。
- MD335
 - 全国アラートフォーラム準備を総力展開。B地区で約360名動員。各クラブのアクティビティをアラートへ向けてもらう機会としたい。
 - 2月初めにC地区で地区アラートフォーラムを開催し盛況であった報告。
- MD336
 - 第3回MDアラート委員会で「災害後の活動」を討論。MD内地区の連携での広域対応を志向。

- A地区とD地区はすでにセミナー実施、2/15（日）にC地区（広島・福山）でも約70名参加のセミナーを開催。

- 新里アラートアドバイザー
 - 武永議長経由で全国アラートフォーラムへの第1・第2副地区ガバナー参加の再呼びかけを実施予定。

- 木村東日本統括リーダー
 - 青森の豪雪で多数の被害・交通麻痺。各クラブによる高齢者宅の除雪支援を行った。他県クラブからも協力を受けた。北国での除排雪スキームの必要性を感じた。
 - アラートフォーラムではリーダーシップ／マッチング／LCIF連携の意義を期待。
 - 近年は災害時のボランティア不足が課題であるが、防災士・消防団の方々をはじめとするボランティアとして災害時に活躍する方を集めて支部クラブを作るなど、災害支援はもちろん、会員増強の面でもアラートがライオンズにおいて大きな力を発揮できると見解を示した。

- 畑中西日本統括リーダー
 - 700人規模のフォーラムはライオンズにとって大きなインパクト。アラート理解の温度差解消のためにも重要。さらなる参加促進を呼びかけ。

- 車田副委員長
 - 3月13日に全国アラートフォーラム開催。次回の会議は4月末から5月初旬で開催予定。

以上

議事録作成人

330 複合地区 大屋保

334 複合地区 山本基博

2025-26年度

第5回ライオン誌日本語版委員会 議事要録

◎日 時 : 2026年1月8日 (木) 14:00~16:00

◎場 所 : 一般社団法人日本ライオンズ ウェブ会議室 (Zoom)

◎出席者 :

国際理事 仁科 良三 (長野みすずLC)

国際理事 田名部智之 (青森県・八戸LC)

【一般社団法人日本ライオンズ】

理事長 喜多 友一 (長野県・上田城南LC)

専務理事 伊賀 保夫 (東京ピースLC)

PRマーケティング委員会委員長 廣田 晃一 (兵庫県・姫路中央LC)

PRマーケティング委員会副委員長 水沼 孝夫 (栃木県・真岡LC)

事務長 増澤 義治 (長野県・諏訪湖LC)

【ライオン誌日本語版委員会】

編集長/337複合地区委員 瀧野二世 (大分LC)

330複合地区委員 田中 明 (埼玉県・和光LC)

331複合地区委員 馬場 哲也 (北海道・函館東LC) *欠席

332複合地区委員 岡田 殉 (青森県・五所川原LC)

333複合地区委員 後藤 一男 (栃木うづまLC)

334複合地区委員 前田 磨 (静岡県・三島LC)

335複合地区委員 秋山洋一郎 (京都紫明LC)

336複合地区委員 山田 隆嗣 (岡山県・津山衆楽LC) *欠席

【議事】

1. ライオン誌日本語版の運営

(1) 2025年7~11月ライオン誌関係会計報告

廣田委員長より説明があり、「正味財産増減計算書について、前回(第4回委員会)報告から大きな変動はない。デジタル版関連費の旅費交通費について、これまで取材を担当した委員から旅費申請はないが、誌面充実の為に取材を行っていただいております、申請があれば適切に対応したい」旨の説明があった。委員会全体でも、異議・質疑はなく了承された。

2. ウェブマガジン編集関係

(1) 2026年1月号（1月1日公開）出来

渚野編集長から、既に発行済みの1月号の反響等意見を各委員に求めたが、発行から日が浅い為か発言が無く、「所属する地区の身近な投稿や取材記事には、大きな反響を頂いてることから、今後も各地区から満遍なく様々な奉仕事業の記事の投稿、取材を期待している」と話された。

(2) 2026年2～4月号更新予定（案）

前回委員会において、候補に挙げた活動の取材の手配が付かず、廣田委員長が取材済の事業の掲載予定を変更し、2月号とする。又、333-B地区が主催するシンポジウムについて、水沼副委員長が取材を担当し、出稿する事を確認。

3月号は渚野編集長が337複合地区内の奉仕事業、4月号は廣田委員長が335複合地区内の奉仕事業を取材予定であり、日程を再確認して準備を進める。

5月号以降「取材レポート」の対象選定のため、全クラブへのアンケートで回答があった奉仕事業の中からピックアップした3～5月実施予定の活動について各委員から意見聴取し検討を行った。

渚野編集長から、全複合地区から偏りなく記事を集めるため、各複合地区ごとの掲載欄を設けて委員が記事を集める仕組みを作ってはどうかとの事務局編集担当の提案について説明があり、意見を交換した。

3. 印刷版編集関係

(1) 2026年冬号（1月25日発行予定）台割

表紙の世界遺産シリーズは、姫路城と姫路中央LCのラッピングバスで合成写真のことわりも掲載する。委員取材の奉仕活動、公益財団法人のフットサル大会、札幌フォーラム、国際会長公式訪問、国際理事だよりなど主な記事を確認。過去の記事の再掲載を再開した事、LCIFのLINE公式アカウントが作成され、ライオン誌のQRコード並列記載についても報告。

(2) 2026年春号（4月25日発行予定）台割（案）

前回委員会では特集記事として、YCE経験者の会員や親子会員・夫婦会員、支部クラブを取り上げて会員増強につながる企画が望ましいとの方向性で、各委員が情報を収集することになったが、まだ具体的な情報が集まっていない。引き続き情報収集を進めて、次回委員会で企画案をまとめる。

4. その他

(1) ライオン誌活用促進とウェブマガジン普及

ウェブについては、LINEアカウント登録が頭打ちの状況を改善する為の方法について意見を出し合った。

ライオン誌例会開催を推奨してライオン誌の活用を促進するため、印刷

版発送方法をクラブ一括に統一することが望ましいとの委員会としての見解を確認。この件は委員会の提案として、廣田委員長から社団理事会に上程する。

(2) PRマーケティング委員会との合同会議

次回、PRマーケティング委員会との合同委員会での協議事項について意見を交換した。

<次回開催予定>

第6回委員会：2月4日（水）14:30～16:45（日本ライオンズ事務所／Zoom併用）

＊第6回はPRマーケティング委員会と合同開催

第7回委員会：3月6日（金）14:00～16:00（ウェブ）

議事録作成：岡田 殉(332複合地区委員)

(報告第2号)

● 会員並びにクラブ活動状況報告集計表他

- ・ サバナナ基本集計表 2026年2月度
- ・ サバナナLCIF寄付実施状況一覧 2026年2月度
- ・ LCIF1000ドル寄付者一覧 2025年7月～2026年2月
- ・ 100\$100%クラブ 2025年7月～2026年2月

R	Z	クラブ名	アクティビティ		労力奉仕		例会出席率	会員異動				女性内訳		会員内訳			特典会員を除く	さらに支部会員を除く		
			件数	金額	件数	時間		期首	前月末	入会	退会	当月末	女性	正会員	子会員	正会員			支部	特典会員
1	1	鋼路	1	153,724	0	0	100	27	26	0	0	26	7	1	6	19	8	7	19	11
		白糠	0	0	0	0	100	7	7	0	0	7	0	0	0	7	0	0	7	7
		標茶	0	0	0	0	37.5	33	32	0	0	32	4	0	4	28	0	4	28	28
		鋼路みなと	3	1,021,316	0	0	93.9	57	63	0	0	63	18	3	15	47	14	16	47	33
		鋼路温原	1	30,000	0	0	52.9	17	17	0	0	17	1	1	0	17	0	0	17	17
	2	根室	1	22,500	1	3	87	36	39	0	0	39	15	3	12	27	0	12	27	27
		羅臼	0	0	5	10	100	15	13	0	0	13	5	0	5	8	0	5	8	8
		鋼路ぬさまい	10	1,398,889	3	23	56.7	63	62	1	3	60	19	2	17	37	0	23	37	37
		中標津	2	0	1	69	100	17	18	0	0	18	3	3	0	18	0	0	18	18
		鋼路ゆうやけ	2	130,056	1	32	48.4	44	50	0	0	50	3	1	2	48	15	2	48	33
		リジョン小計	20	2,756,485	11	137		316	327	1	3	325	75	14	61	256	37	69	256	219
R	Z	クラブ名	件数	金額	件数	時間	例会出席率	期首	前月末	入会	退会	当月末	女性	正会員	子会員	正会員	支部	特典会員	特典会員を除く	さらに支部会員を除く
2	1	旭川	0	0	0	0	80	28	28	0	0	28	5	2	3	25	0	3	25	25
		旭川大雪	1	115,137	1	55	59	42	46	0	0	46	1	1	0	46	0	0	46	46
		旭川平和	0	0	0	0	58.3	28	31	0	0	31	0	0	0	31	0	0	31	31
		当麻	0	0	0	0	85.2	16	17	0	0	17	0	0	0	17	0	0	17	17
		愛別	0	0	0	0	82.6	23	23	0	0	23	0	0	0	23	0	0	23	23
	2	東川	1	0	1	6	51.9	26	26	0	0	26	1	1	0	26	0	0	26	26
		旭川中央	1	150,000	1	12.5	100	14	15	0	0	15	3	1	2	13	0	2	13	13
		富良野	10	50,681	0	0	89.6	64	67	0	0	67	14	8	6	61	2	6	61	59
		上富良野	0	0	0	0	87.5	34	34	0	0	34	7	7	0	34	0	0	34	34
		旭川ナナカマド	0	0	0	0	100	26	26	0	0	26	2	2	0	26	0	0	26	26
		旭川クリスタル	0	0	0	0	79.4	17	17	0	0	17	2	2	0	17	0	0	17	17
		旭川パーチャル	0	0	1	16	73.6	20	19	0	0	19	1	1	0	19	0	0	19	19
		リジョン小計	13	315,818	4	89.5		336	349	0	0	349	36	25	11	338	2	11	338	336
R	Z	クラブ名	件数	金額	件数	時間	例会出席率	期首	前月末	入会	退会	当月末	女性	正会員	子会員	正会員	支部	特典会員	特典会員を除く	さらに支部会員を除く
3	1	帯広	0	0	1	4	76.4	22	22	0	0	22	5	1	4	17	0	5	17	17
		本別	0	0	0	0	45.6	25	24	0	0	24	3	2	1	23	0	1	23	23
		十勝池田	0	0	0	0	56.2	15	16	0	0	16	0	0	0	16	0	0	16	16
		音更	0	0	0	0	54.2	41	47	0	0	47	6	6	0	47	0	0	47	47
		浦幌	1	39,968	0	0	30.7	13	13	0	0	13	1	1	0	13	0	0	13	13
	2	豊頃	1	15,000	1	35	86.8	18	19	0	0	19	0	0	0	19	0	0	19	19
		幕別	1	10,169	0	0	100	17	17	0	0	17	1	1	0	17	0	0	17	17
		帯広かしわ	5	24,600	0	0	100	24	24	0	0	24	2	2	0	24	0	0	24	24
		帯広中央	0	0	2	4	33.3	27	25	0	0	25	5	0	5	20	4	5	20	16
		帯広平原	1	56,000	0	0	60.7	26	29	0	0	29	4	3	1	28	0	1	28	28
		鹿追	1	0	0	0	63.8	17	18	0	0	18	0	0	0	18	0	0	18	18
		上士幌	0	0	0	0	72.5	18	20	0	0	20	0	0	0	20	0	0	20	20
		芽室	0	0	0	0	80.9	25	20	1	0	21	2	2	0	21	0	0	21	21
		帯広鈴蘭	1	510	1	5	100	16	16	0	0	16	5	1	4	12	0	4	12	12
		帯広さくら	5	35,000	3	84	90.9	11	11	0	0	11	11	7	4	7	0	4	7	7
		リジョン小計	16	181,247	8	132		315	321	1	0	322	45	26	19	302	4	20	302	298
R	Z	クラブ名	件数	金額	件数	時間	例会出席率	期首	前月末	入会	退会	当月末	女性	正会員	子会員	正会員	支部	特典会員	特典会員を除く	さらに支部会員を除く
4	1	留前	0	0	0	0	72.9	24	24	0	0	24	9	3	6	18	0	6	18	18
		羽幌	1	50,000	1	1.5	80	41	42	0	0	42	13	1	12	30	0	12	30	30
		留前みなと	9	321,448	0	0	74.3	56	55	0	0	55	21	4	17	37	0	18	37	37
		遠別	0	0	0	0	73.3	15	15	0	0	15	1	1	0	15	0	0	15	15
		増毛	1	50,000	0	0	82	26	25	0	0	25	3	3	0	24	0	1	24	24
	2	名寄	1	5,000	1	5	86.1	45	48	0	0	48	6	3	3	44	0	4	44	44
		士別	0	0	0	0	61.7	39	38	0	0	38	1	0	1	37	0	1	37	37
		美深	1	0	1	8	84.6	13	13	0	0	13	0	0	0	13	0	0	13	13
		稚内	1	31,500	0	0	83.3	27	29	0	0	29	11	4	7	21	0	8	21	21
		枝幸オホーツク	1	15,372	0	0	62.5	16	16	0	0	16	5	2	3	13	0	3	13	13
3	幌延	1	20,000	0	0	66.6	18	18	0	0	18	4	4	0	18	0	0	18	18	
	歌登	7	31,375	0	0	60	15	17	0	1	16	7	1	6	10	0	6	10	10	
	猿払	0	0	0	0	34	22	22	0	0	22	1	1	0	22	0	0	22	22	
	稚内北斗	1	46,850	0	0	40.5	74	74	0	0	74	24	10	14	52	13	22	52	39	
			リジョン小計	24	571,545	3	14.5		431	436	0	1	435	106	37	69	354	13	81	354
R	Z	クラブ名	件数	金額	件数	時間	例会出席率	期首	前月末	入会	退会	当月末	女性	正会員	子会員	正会員	支部	特典会員	特典会員を除く	さらに支部会員を除く
5	1	北見	0	0	0	0	100	36	38	0	0	38	3	3	0	38	0	0	38	38
		置戸	1	20,000	0	0	66.6	11	12	0	0	12	1	1	0	12	0	0	12	12
		遠軽	0	0	0	0	86	25	24	1	0	25	1	1	0	25	0	0	25	25
		北見白糠	4	135,000	2	877.5	62.8	76	77	1	2	76	29	11	18	55	9	21	55	46
		湧別	0	0	0	0	58.8	17	17	0	0	17	0	0	0	17	0	0	17	17
	2	紋別オホーツク	0	0	0	0	73.8	21	21	0	0	21	0	0	0	21	0	0	21	21
		白滝	2	15,924	2	18	100	20	18	0	0	18	8	1	7	9	0	9	9	9
		佐呂間	0	0	1	32	65.6	18	19	0	0	19	3	0	3	16	0	3	16	16
		東北海道WEB	0	0	0	0	66.6	17	18	0	0	18	4	4	0	18	0	0	18	18
		網走	8	45,000	2	48	67.7	42	45	0	0	45	2	2	0	45	0	0	45	45
		美幌	18	169,723	2	60	68.7	34	32	0	0	32	3	3	0	32	0	0	32	32
		津別	26	59,000	26	12	55.8	15	17	0	0	17	0	0	0	17	0	0	17	17
		北見中央	4	778,309	1	79	100	41	40	0	0	40	9	3	6	33	0	7	33	33
		網走桂	3	95,000	0	0	72.4	30	29	0	0	29	2	2	0	29	0	0	29	29
		端野	0	0	0	0	100	15	15	0	0	15	1	1	0	15	0	0	15	15
		リジョン小計	66	1,317,956	36	1126.5		418	422	2										

LCIF寄付実施状況一覧 2026年2月度 (報告第2号)

R	Z	クラブ名	MJF一括		MJF分割		その他個人		その他クラブ		LCIF合計		期首からの累計	
			件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
1	1	釧路	1	1,000	0	0	0	0	0	0	1	1,000	14	2,973
		白糠	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		標茶	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2,500
		釧路みなと	1	5,000	0	0	0	0	0	0	1	5,000	56	37,202
		釧路湿原	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	365
	2	根室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	420
		羅臼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		釧路ぬさまい	9	9,000	1	100	0	0	0	0	10	9,100	46	12,700
		中標津	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1,000
		釧路ゆうやけ	0	0	0	0	11	143	0	0	11	143	12	802
R合計			11	15,000	1	100	11	143	0	0	23	15,243	147	57,962
2	1	旭川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	500
		旭川大雪	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	46	4,600
		旭川平和	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31	620
		当麻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	1,868
		愛別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	東川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	198
		旭川中央	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	1,300
		富良野	0	0	3	300	0	0	0	0	3	300	9	6,300
		上富良野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		旭川ナナカマド	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26	520
旭川クリスタル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
旭川バーチャル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
R合計			0	0	3	300	0	0	0	0	3	300	176	15,906
3	1	帯広	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	2,795
		本別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24	568
		十勝池田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		音更	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	4,722
		浦幌	0	0	0	0	0	0	1	260	1	260	1	260
		豊頃	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	483
		幕別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	360
	2	帯広かしわ	0	0	0	0	24	144	0	0	24	144	51	5,624
		帯広中央	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	2,316
		帯広平原	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	42	5,853
		鹿追	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		上士幌	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		芽室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	20
		帯広鈴蘭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	21
帯広さくら	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1,020		
R合計			0	0	0	0	24	144	1	260	25	404	212	24,042
4	1	留萌	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	451
		羽幌	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	53	4,387
		留萌みなと	2	2,000	0	0	7	91	0	0	9	2,091	60	7,088
		遠別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	1,756
	2	増毛	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26	2,600
		名寄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	46	3,250
		士別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	43	1,280
		美深	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		稚内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	3,100
	3	枝幸オホーツク	0	0	0	0	0	0	1	100	1	100	1	100
		幌延	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	100
		歌登	0	0	0	0	5	100	0	0	5	100	5	100
		猿払	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	300
稚内北斗	0	0	0	0	0	0	1	304	1	304	5	3,404		
R合計			2	2,000	0	0	12	191	2	404	16	2,595	302	27,916
5	1	北見	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	39	2,760
		置戸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		遠軽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		北見白樺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	48	2,400
		湧別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		紋別オホーツク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	440
		白滝	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	1,080
		佐呂間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	520
	2	東北海道WEB	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		網走	0	0	6	78	0	0	0	0	6	78	49	938
		美幌	0	0	18	1,104	0	0	0	0	18	1,104	18	1,104
		津別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	320
		北見中央	0	0	3	1,100	0	0	0	0	3	1,100	33	10,239
		網走桂	0	0	0	0	6	78	0	0	6	78	7	378
端野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
R合計			0	0	27	2,282	6	78	0	0	33	2,360	243	20,179
地区合計			13	17,000	31	2,682	53	556	3	664	100	20,902	1,080	146,005
												緊急援助資金		10,371
												キャビネットからの送金		6,592
												地区合計		162,968

今期目標 15万ドル		実績	\$162,968	109%				
MJF	\$85,000	\$1000未満	\$61,005	緊急援助資金	\$10,371	キャビネットからの送金	\$6,592	

1000ドル寄付者

1000ドル寄付者

2025~2026 1000ドル寄付							人数	2025~2026 1000ドル寄付							人数																		
月	R	Z	クラブ名	会員氏名	寄付額	回数		月	R	Z	クラブ名	会員氏名	寄付額	回数																			
7月	1	1	釧路みなと	大島 尚久	5,000	13	23	10月	1	1	標茶	熊谷 一行	1,000	1																			
	1	1	釧路みなと	井田 正昭	3,000	25		10月	1	1	釧路みなと	井田 正昭	1,000	27																			
	1	1	釧路	中谷 宣巨	1,000	28		10月	1	1	釧路みなと	大島 尚久	1,000	14																			
	1	1	釧路みなと	大津 幸三	1,000	2		10月	1	2	中標津	長谷川 松美	1,000	7																			
	1	1	釧路みなと	武田 真使	1,000	2		10月	3	1	帯広	稲川 議一	1,000	3																			
	1	1	釧路みなと	松並 正幸	1,000	2		10月	4	3	稚内北斗	井ノ浦 義明	1,000	39																			
	1	1	釧路みなと	佐々木 良吉	1,000	1		10月	5	2	北見中央	浅野 敬一	2,000	21																			
	1	1	釧路みなと	浅野 一弘	1,000	3		11月	1	1	釧路みなと	井田 正昭	1,000	28																			
	1	1	釧路みなと	浅野目 充	1,000	1		12月	1	1	釧路みなと	井田 正昭	1,000	29																			
	1	1	釧路みなと	吉岡 幸二	1,000	1		1月	1	1	釧路みなと	井田 正昭	1,000	30																			
	1	1	釧路みなと	石田 健太郎	1,000	1		1月	1	1	帯広かしわ	小森 唯永	3,000	63																			
	1	1	釧路みなと	熊谷 明男	1,000	1		1月	1	1	帯広かしわ	番場 規真	1,000	3																			
	1	1	釧路みなと	菅野 貴光	1,000	1		1月	1	2	帯広かしわ	山本 哲也	1,000	8																			
	1	1	釧路みなと	西池 聡	1,000	1		1月	4	3	稚内北斗	梅村 俊範	1,000	15																			
	1	1	釧路みなと	木村 宏幸	1,000	1		1月	5	2	北見中央	浅野 敬一	1,000	23																			
	1	1	釧路みなと	大森 一道	1,000	1		1月	5	2	北見中央	伊藤 光隆	1,000	10																			
	1	1	釧路みなと	小原 修幸	1,000	1		2月	1	1	釧路みなと	井田 正昭	5,000	35																			
	2	1	当麻	佐藤 利博	1,000	1		2月	1	1	釧路	長谷川 伸	1,000	1																			
	2	2	富良野	佐藤 信雄	1,000	14		2月	1	2	釧路ぬさまい	残間 順雄	1,000	3																			
	2	2	富良野	澁谷 正文	1,000	1		2月	1	2	釧路ぬさまい	高瀬 力	1,000	8																			
2	2	富良野	坂本 斉	1,000	3	2月	1	2	釧路ぬさまい	中井 厚志	1,000	9																					
3	2	帯広中央	香川 俊雄	1,000	18	2月	1	2	釧路ぬさまい	山田 正昭	1,000	17																					
4	1	羽幌	橋本 修司	1,000	1	2月	1	2	釧路ぬさまい	中村 國昭	1,000	13																					
8月	2	2	富良野	広瀬 寛人	1,000	7	11	2月	1	2	釧路ぬさまい	有田 高行	1,000	2																			
	2	2	富良野	奥野 裕史	1,000	5		2月	1	2	釧路ぬさまい	杉本 隆英	1,000	9																			
	2	2	富良野	小山 芳明	1,000	1		2月	1	2	釧路ぬさまい	久保田 庸央	1,000	3																			
	3	1	帯広	石邑 義幸	1,000	8		2月	1	2	釧路ぬさまい	地久間 正寛	1,000	1																			
	3	2	帯広平原	矢吹 定夫	1,000	4		2月	4	1	留萌みなと	柳澤 豊	1,000	7																			
	3	2	帯広平原	田邊 宏	1,000	3		2月	4	1	留萌みなと	原田 則子	1,000	1																			
	3	2	帯広平原	清野 芳明	1,000	1		<div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <h2>100\$ 100%クラブ</h2> <table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td>9月</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>帯広平原</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">12月</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>旭川大雪</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>1</td> <td>増毛</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">1月</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>旭川中央</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>1</td> <td>白滝</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>釧路ぬさまい</td> </tr> </table> </div>				9月	3	2	帯広平原	12月	2	1	旭川大雪	3	1	増毛	1月	2	2	旭川中央	5	1	白滝	2月	1	2	釧路ぬさまい
	9月	3	2	帯広平原																													
	12月	2	1	旭川大雪																													
		3	1	増毛																													
1月	2	2	旭川中央																														
	5	1	白滝																														
2月	1	2	釧路ぬさまい																														
4	1	留萌みなと	柳澤 豊	1,000	5																												
5	1	北見	伊東 隆志	2,000	8																												
5	2	北見中央	浅野 敬一	1,000	19																												
5	2	北見中央	伊藤 光隆	1,000	8																												
9月	1	1	標茶	木下裕幸	1,000	2	8																										
	1	1	釧路みなと	井田 正昭	1,000	26																											
	1	1	釧路みなと	榎田 欣也	1,000	1																											
	3	1	音更	林 郁雄	1,000	1																											
	3	1	音更	大熊 秀之	1,000	1																											
	3	1	音更	松本 光伸	1,000	1																											
	3	1	帯広さくら	高橋 好志子	1,000	6																											
	4	2	名寄	村山 聡	1,000	8																											

(報告第3号)

LCIF交付金 使用状況報告

◆これまでの申請状況◆

・防災準備交付金

2026年2月24日 防災準備交付金 最終申請書

9,757ドル 交付済 …資料①

・地区シェアリング交付金

2025年4月9日 海洋プラスチックゴミによる

海洋汚染問題について小学生への啓蒙活動

7,677ドル 交付済

・クラブシェアリング交付金

(1) 2025年6月 旭川平和LC

1,148ドル 交付済

(2) 2025年10月 釧路ぬさまいLC

2,007ドル 交付済

(3) 2025年10月 稚内北斗LC

1,376ドル 交付済

(4) 2025年11月 北見中央LC

3,648ドル 交付済

(5) 2025年11月 釧路ぬさまいLC

2,030ドル 交付済

(6) 2026年2月 富良野LC

950ドル 申請中 …資料②

※今年度、地区シェアリング交付金申請可能額→33,762ドル

4月9日7,677ドル使用→残26,085ドル

(今年度付与一覧表→参考資料)

防災準備交付金申請書

【一般情報】

事業名：北海道 道東地区における防災用品の寄贈と防災用品実習訓練

- ・申請日：2026年2月24日
- ・事業が行われる場所：北海道釧路市、根室市、釧路町、白糠町、標茶町、羅臼町、中標津町（北海道 道東地区 2市5町）
- 【関係クラブ】釧路LC、白糠LC、標茶LC、釧路みなとLC、釧路湿原LC、根室LC、羅臼LC、釧路ぬさまいLC、中標津LC、釧路ゆうやけLC
- ・申請金額：\$ 9757.80
- ・申請地区：331-B

【事業の説明、目標および目的】

1. 地区における自然災害の歴史はどのようなものですか？これまでの自然災害の頻度と深刻度をご記入ください

北海道の道東地区は、日本列島の中でも地震やそれに伴う津波の発生リスクが高く、過去に甚大な被害を経験しています。また、大雨による水害や冬の暴風雪も発生しています。

(自然災害の主な種類、頻度、深刻度)

道東地区における主な自然災害とその特徴は以下の通りです。

① 地震と津波

千島海溝や日本海溝沿いでは、大規模なプレート境界型地震が繰り返し発生しており、道東地区はその影響を強く受けています。

- ・頻度：歴史的に見ると、十勝沖や根室沖では数十年に一度の頻度でマグニチュード8クラスの巨大地震が発生しています。

- ・深刻度：1993年釧路沖地震(M7.5)：釧路地方を中心に家屋損壊などの被害が発生しました。2003年十勝沖地震(M8.0)：十勝地方を中心に大きな被害をもたらし、広範囲で停電なども発生しました。

釧路・道東沖では、今後30年以内にM8～8.6程度の十勝沖地震(発生確率20%程度)やM7.8～8.5程度の根室沖巨大地震(発生確率80%程度)、さらにはM8.8以上の超巨大地震(30年以内確率7～40%)が発生する可能性があり、特に千島海溝沿いの巨大地震による大津波への警戒が重要で、釧路市においては人的被害想定が市民の半数の77,000人に及び、自治体も防災対策を強化しています。地盤が軟弱な地域も多く、地震・津波対策が切迫している状況です。

【千島海溝巨大地震の被害想定リンク】

[北海道庁による被害想定](#)

北海道大学教授のレポート

- ・津波被害：地震発生時には津波のリスクが非常に高く、過去の地質学的記録からも壊滅的な津波が繰り返し襲来していたことが分かっています。天保14年(1843年)の根室南方沖地震津波や、チリ地震津波(1960年)なども被害をもたらしました。

② 風水害(台風・豪雨)

- ・頻度：台風が勢力を保ったまま接近することは稀ですが、北上する過程で温帯低気圧に変わった後や、停滞前線の影響で集中豪雨が発生することがあります。
- ・深刻度：1981年(昭和56年)8月の洪水(56水害)：台風12号と15号の影響による記録的な豪雨で、十勝川流域などで甚大な氾濫被害が発生しました。

③ 冬期の災害(豪雪・暴風雪)

北海道特有の冬の厳しい気象条件も重要な災害要因です。

- ・頻度：ほぼ毎年、冬型の気圧配置が強まる時期に発生します。
- ・深刻度：記録的な大雪や暴風雪は、交通網の寸断、長時間の停電、特に道東地域では、吹き溜まりによる影響も大きくなることがあります。

④ 火山噴火

道東には複数の活火山が存在します(例：雌阿寒岳、摩周湖周辺など)。

- ・頻度：大規模な噴火は稀ですが、有史以来、噴火活動は続いています。
- ・深刻度：噴火が発生した場合、降灰による広範なインフラ被害や、避難生活の長期化が懸念されます。

2. 地区内のライオンズクラブ及び、その他の地域組織の既存の緊急計画をご説明ください。事業の対象地域におけるこれまでの救援活動にライオンズクラブが関与したことがあれば、それについてご説明ください。

道東地区の10ライオンズクラブは、災害時に地方自治体や社会福祉協議会との連携をスムーズにするため「災害時における福祉・ボランティア活動支援に関する相互連携協定」の締結を進めており、主に資機材の提供、ボランティアセンターの運営支援、緊急物資の配布などの、救援活動を計画しています。また、331-B地区アラート委員会では、66クラブ全てに1名ずつアラート委員を設置し、災害時に迅速に対応出来るようにしています。

他の地域組織については、それぞれ独自の緊急計画に乗っ取り、防災訓練等を行っています。ライオンズクラブは相互応援協定に基づき対応します。

【防災訓練のリンク】

国土交通省の防災訓練

対象地域における、これまでの救援活動にライオンズクラブが関与したことはありません。

3. 防災準備を支援するライオンズの行動計画について概説してください

a. 防災準備活動の対象となる地理的地域を明記してください

- ① 釧路市②釧路町③白糠町④標茶町⑤中標津町⑥羅臼町⑦根室市
道東地区 10 ライオンズクラブのある 2 市 5 町



b. 推定される受益者数は何人ですか？

- ・ 段ボールベッドによる受益者 **64人**
(釧路市 29 台、根室市 7 台、釧路町 7 台、標茶町 7 台、中標津町 7 台、羅臼町 7 台)
- ・ トイレによる受益者 (トイレテント、簡易トイレ)
30人収容の避難所に1~2セットを32か所 **960人**
(釧路市 29 台、根室市 7 台、釧路町 7 台、標茶町 7 台、中標津町 7 台、羅臼町 7 台)
- ・ 非常食による受益者 (三種類各 150 個) 白糠町、**150人**
- ・ 段ボールベッドによる組み立ての実習
30人の小学生に10か所で訓練 **300人**
合計で **1,474人** (ただし避難所の人数により多寡がある)

c. 事業はどのようなスケジュールで実施されますか？

- 1 2 月下旬 各クラブから自治体に説明。
各クラブにマッチング資金提供と金額の確認(10LC×50,000円)
- 1 月中旬 各自治体に希望する品目と数の確認
- 1 月下旬 品物の見積と自治体の保管場所について確認
- 2 月上旬 キャビネット会議で審議
- 3 月末 各自治体の保管場所について実地検分
- 4 月末 最終確認と発注
- 5 月 贈呈式
- 6 月中旬 納品後、保管場所の確認
段ボールベッドの組み立て訓練を随時小学校等で実施

- d. その事業は地域社会全体の緊急・防災準備体制にどのように組み込まれますか？

各自治体の保管場所に備蓄し防災体制を整える一助とする

- e. 他に参加する組織があれば、背景情報を提供し、事業を支援するその役割についてご説明ください。

ライオンズクラブが、防災士ネットワークが行う段ボール組み立て訓練やトイレの使用方法についての訓練を、小学校で行うよう企画し、積極的に当日ボランティアとして参加し、実地訓練を一緒に行い、防災準備に対しての意識向上を図る。

- f. 特にこの事業では、ライオンズやLCIFの貢献であることがどのように表示されますか？

年次大会で2市5町の各市長、町長をお招きし贈呈式を行う予定です。
2市5町の新聞社に記事の掲載をお願いするとともに、釧路根室管内の各自治体に寄贈するため各自治体の広報誌に大きく取り上げていただくよう働き奉仕のインパクトをアピールする。
LCIF 交付金事業という、ラベルを作成し物品に一つずつ貼る。

【事業予算】

収入（1 \$ 153.723190 円）			支出（1 \$ 153.723190 円）		
資金源	金額 \$	備考	経費項目	金額 \$	経費に関する説明
331-B 事業費	3,252.60	¥500,000	1 簡易ベッド	4717.15	64 台
			2 トイレ用テント	4030.10	64 台
			3 簡易トイレ	2564.61	64 台
			4 防災食（五目）	463.69	150 個
			5 防災食（カレー）	463.69	150 個
			6 防災食（鮭粥）	411.00	150 個
			7 送料	360.16	
LCIF	9,757.80	見込み			
合計	13,010.40		合計	13010.40	

【申請書の承認】

・第3回キャビネット会議 議事録を添付します。

・地区ガバナーの署名

ここに、私がLCIF防災準備交付金の交付基準と交付金申請書を確認したことを証明します。私の知る限り、ここに提示された情報は正確であり、記述された通りの必要が存在します。私は、本申請書を承認するとともに、資金が交付された場合には、交付金管理責任者として、確実にその資金が適正かつ効果的に使用され、正当な会計処理、ならびにライオンズクラブ国際財団への定期的な報告が行われるよう、全力を尽くします。

地区ガバナー氏名：	大島 尚久	地区名：	331-B 地区
住 所：	北海道釧路市中島町 6-25		
電話番号：	0154-68-5647	F A X 番号：	0154-68-5648
Eメール：	kushirocab331b@marimo.or.jp		

署名 Oshima Naohisa

日付



地区及びクラブシェアリング交付金申請書/DCG Application

提出先：lcifdistrictandclub@lionsclubs.org

1 申請の概要/Project Description

- ① 申請年月日/Submission Date 2026年 2月 6日
- ② 申請者/Applicant 地区申請 地区名 331-B 地区
 クラブ クラブ名 富良野ライオンズクラブ クラブ番号 24829
- ③ 申請者の連絡先/Contact 代表者（事業内容を説明できる人）
 氏名（漢字）後藤 英知夫（ローマ字）Ichio Goto
 電話 0167-23-3896 Eメール lions@furano.ne.jp
- ④ プロジェクト名と実施場所/Project Name and Location
- a. プロジェクト名（事業内容が分かる名前）富良野市民憩いの場へのラベンダー植樹
- b. 実施場所 富良野市民が集う富良野市役所・富良野文化会館駐車場入り口付近の花壇
 (2m×2m、1ヶ所、4m×4m、2ヶ所)
- ⑤ この事業で支援する人道的なニーズ/Description of unmet needs addressed by the project
- ・富良野のシンボルツリーであるラベンダーの植樹により、環境美化や自然景観の保全に寄与する。
 - ・地元住民・児童・ボランティア参加型の維持管理により、自然への理解や地域愛着心を醸成する。
 - ・富良野の主要観光資源であるラベンダー文化に寄与し、観光価値向上や来訪者の増加に繋げる。
- ⑥ この事業の受益者と人数/¥
- a. この事業で直接的に奉仕する人々の説明/Description of beneficiaries
- ・富良野らしい景観を創出し、市民や来訪者の満足度（地域ブランド力向上）に寄与する。
 - ・維持管理活動への参加経験を通して、次世代の奉仕意識を育成する。
- b. 奉仕を受ける人の数/# of beneficiaries
 市民：約 19,000 人
- ⑦ 事業計画/Plan and Schedule
- a. 事業の企画から実施までのスケジュール/Schedule（年月日を明記して時系列で説明）
- ・2026.5.7：苗木搬入 表土運搬作業（予定）
 - ・2026.05.08：ラベンダー植樹実施（予定）
- b. 事業に参加するライオンズや協力団体とそれぞれの役割/Lions and partners involved and their roles
- ・富良野ライオンズクラブがラベンダー苗木購入と花壇整備を行い、主体的に植樹を行う。
 - ・富良野市役所各部署の横断的サポートにより、植樹場所の選定やその後の維持管理に関与する
- 2 交付金申請額と事業予算/DCG amount and project budget（下記の表に項目別予算を記入して下さい）
- a. 交付金申請額/DCG requested to LCIF \$ 950（1ドル以下は切り上げてください）

- 下記の予算書に基づいた申請額になっているか確認してください。

b. 予算書の作成/Project Budget

- 収入の「交付金申請額」は地区またはクラブが保有する交付金申請可能額を上限に、事業に必要な額を申請する月のライオンズレートでドル計算して記載してください。合計もドルに換算した金額を記載してください。
- 支出は費目別の記載は日本円で記載し、合計金額のみ申請する月のライオンズレートでドル計算して記載してください。支出合計と収入合計が一致する予算書になることを確認してください。
- 必要に応じて行を追加してください。

収入/Income		支出/Expenses	
交付金の他に、クラブの事業予算や他団体からの収入を事業で使用する場合は、その他収入源に記載		この事業で支払う全経費を費目別に記入。交付金で費用の一部のみ賄う場合には、どこに交付金が使われるのか明記	
交付金申請額/Amount of DCG funds requested	950 ドル 146,037 円	1.ラベンダー苗木	212.20 ドル 32,620 円
その他収入源/Other Sources	178.13 ドル	2.花壇整備（表土運搬）	744.19 ドル
1.クラブ事業費	27,383 円		114,400 円
2.		3.植樹看板製作	171.74 ドル 26,400 円
3.		4.	円
4.		5.	円
5.		6.	円
合計	173,420 円 1,128.13 ドル	合計	173,420 円 1,128.13 ドル

申請する月のライオンズレート/Lions rate used \$1.00= 153.72319 円

審議事項



【議案第1号】

地区ガバナーの選出について

2026～2027年度331-B地区ガバナー指名選挙には、第2R第2Z富良野ライオンズクラブ所属L. 広瀬寛人のみが立候補者届出書を提出し、第3回キャビネット会議にてこれを正式に受理しました。

資格審査の結果、国際協会規則の条件を全て満たしていると判断されました。

よって、第72回地区年次大会に次期地区ガバナー候補として、331-B地区年次大会議事規則（第2回キャビネット会議要録 議案第3号138頁）に基づき信任投票の実施を求めたい。

【議案第2号】

第73回地区年次大会開催地並びにホストクラブ

次期、地区年次大会は富良野市で、ホストクラブは、旭川LC、旭川大雪LC、旭川平和LC、当麻LC、愛別LC、東川LC、旭川中央LC、富良野LC、上富良野LC、旭川ナナカマドLC、旭川クリスタルLC、旭川バーチャルLC より同意書が提出され、第3回キャビネット会議で承認されましたので計12クラブをホストクラブとして推薦したい。

【議案第3号】

第一副地区ガバナーの選出について

2026～2027年度331-B地区第一副地区ガバナー指名選挙には、第4R第1Z 留萌みなとライオンズクラブ所属L.柳澤 豊のみが立候補者届出書を提出し、第3回キャビネット会議にてこれを正式に受理しました。

資格審査の結果、国際協会規則の条件を全て満たしていると判断されました。

よって、第72回地区年次大会に次期第一副地区ガバナー候補として、331-B地区年次大会議事規則（第2回キャビネット会議要録 議案第3号138頁）に基づき信任投票の実施を求めたい。

【議案第4号】

第二副地区ガバナーの選出について

2026～2027年度331-B地区第二副地区ガバナー指名選挙には、第5R第2Z北見中央ライオンズクラブ所属L.浅野 敬一のみが立候補者届出書を提出し、第3回キャビネット会議にてこれを正式に受理しました。

資格審査の結果、国際協会会則の条件を全て満たしていると判断されました。

よって、第72回地区年次大会に次期第二副地区ガバナー候補として、331-B地区年次大会議事規則（第2回キャビネット会議要録 議案第3号138頁）に基づき信任投票の実施を求めたい。

第4回キャビネット会議 提出議案

- ・ 議案

- ・ 提出

- ・ 質問 帯広平原LC

第4回キャビネット会議 提出議案

(第3)R (第2)Z 帯広平原 ライオンズクラブ

2026年3月5日

会長名 L 清野 芳明

【議案・提案・**質問**】

※いずれかに○をお付けください

(議案)

- 1.ヘアードネーションをして集めた髪が、その先、どのような流れになっているのか？
- 2.ウィッグを作成する際も費用が発生しているかと思うが、その費用は誰が負担しているのか？
- 3.ウィッグを使用している方に費用が発生しているのか？

(質問への回答)

キャビネット幹事 L木村 宏幸

1.ヘアードネーションへの質問ですが、まず美容室からヘアードネーションとドナー情報シートを回収してください。用紙はクラブ保管、ヘアーはNPO法人 HEROへジップロックにいれて送付用紙(小)を添えてクラブから発送。HEROでは、レシピエント(ウィッグ希望者)の頭の型を取り海外の工場へ…31cmの髪の毛を二つ折りにして植毛します。30人分でやっと1つのウィッグが出来上がります(およそ8万円の経費)その後、賛同美容室でレシピエントと最終調整とカット

2.作成にかかる8万円の経費は、HEROさんのHPでの寄付金や企業コラボ等でまかなわれています。(詳しくはホームページをご覧ください。トピックスには331-B地区からの寄付状況が掲載されています)

3.HEROさんでは全て無償で提供しています。

(現在200人あまりがウィッグを待っています。大半が女の子で

ボブヘアのウィッグを希望していますので40cm-50cmの長い

ヘアードネーションが望まれています。)

(医療用の人毛ウィッグの販売価格はおよそ30万円と高額です)

NPO法人 HERO



※送り終わったらキャビネットへ報告用紙を提出してください。希望されるドナーに感謝状、

ゴールドリボンピンをクラブへ発送いたします。美容室もしくはドナーにお渡しください。

**各コーディネーター
各委員会 報告**



地区GMTコーディネーター報告

L. 矢 吹 定 夫

ライオンズクラブ国際協会A. P. シン会長は、2027年7月までに世界の会員数150万人を目標とする「ミッション1.5」を推進しています。

2026年2月28日発表のミッション1.5ターゲット実績によれば現在、全国の会員数は、91,972人、331複合地区は、5,570人、331-B地区は、1,853人であります。

今年度当初の2025年7月31日の全国の会員数は、90,808人、331複合地区は、5,571人、331-B地区は、1,856人です。

例年の年度末の退会状況を鑑みますと大変厳しい状況となっております。

昨年は、各ライオンズクラブに「会員拡大」を目的として「SWOT分析」「会員動向集計表」「行動計画」等の作成をお願いし実行して頂きました。

特に「行動計画」の作成は、全会員に依頼し現在も進行中であり、各ゾーン・チェアパーソンに取りまとめをお願いしているところであります。

「会員拡大」は、クラブ会員が暮らしている地域の社会奉仕活動を目的とした仲間を増やし、生涯の友人を作り、個人としての成長や仕事に活かせる経験をする為にも必要不可欠です。

より良い地域のニーズに合ったアクティビティ（奉仕活動）を考案し実行する為には、若い力が必要です。まずは、自分の所属するクラブの「会員拡大（純増1名）」をお願い致します。

地区GETコーディネーター報告

L. 村 山 聡

本年度、大島ガバナーの目標である「新クラブ2つの結成」と「会員純増20名」を掲げ、年度初めから活動を開始しており、各ゾーン・チェアパーソン及びゾーン委員、そしてクラブ役員の皆様には、GMA推進に向けた取り組みを進めていただいております。残り3か月を切った現在、最後まで目標達成に向けてご協力をお願いいたします。

現状、新クラブ結成に向けて取り組みを進めております。比較的会員数の多い支部クラブの格上げや、広域でのWEBクラブの結成を目指して活動してきましたが、現時点では結成には至っておらず、改めて新クラブ結成の難しさを実感しております。

そのような中、名寄LCにおいて支部クラブ結成に向けた準備を進めております。支部クラブとしては異例の形態ではありますが、名寄、下川、中川と広域に点在するメンバーを対象に、WEB例会を中心としたクラブとする予定です。将来的には、この支部クラブを核として会員を増やし、単独のWEBクラブに発展させたいと考えております。

年度末に向け、各クラブ役員の皆様にはメンバーの退会防止に努めていただき、またZCの皆様には解散クラブが発生しないよう、情報を早めに把握していただき、キャビネットとして適切に対応してまいりたいと思います。

なお、ミッション1.5の取り組みは来年度が最終年度となりますが、今年度の活動を無駄にすることなく、来年度にしっかり引き継いでまいります。

地区GLTコーディネーター報告

L. 小 路 泰 孝

第4回キャビネット会議での地区GLTコーディネーター報告を致します。

まず、3月7日土曜日にZOOMでの開催を行いました「GLTセミナー」には、100名以上の各クラブ会員の皆様にご参加を賜り、厚く御礼申し上げます。

セミナーには元国際理事・GATアドバイザーL. 濱野 雅司氏による「クラブ活性化のための指導力育成について」をテーマとし、とても勉強になる貴重なお話を聴かせて頂きました。また、参加して頂きました方々より、「とても有意義な時間であった」、「機会があれば、また講話を聴きたい」との声も頂き、ご助力を頂いた、大島ガバナーをはじめとする釧路キャビネットの皆様には心より感謝申し上げます。

今回が最後のキャビネット会議となり、1年間があつという間に過ぎてしまい、地区GLTコーディネーターの大役を拝命し、自分の力不足を痛感しておりますが、この1年、釧路キャビネットで経験をさせて頂いた事を今後のライオンズ活動に大いに活かして行く所存であります。

多くの方々に出会い、沢山の学びの機会を頂き、皆様に感謝の気持ちで一杯です。

この1年間、本当にありがとうございました。

地区GSTコーディネーター報告

L. 櫻 井 正 人

早いもので釧路キャビネットも残す所三か月を切りました。大島ガバナーの下でキャビネット構成員の一人として参加してまいりましたが、最後まで全力を尽くしていきたいと思っております。

まずは献血250万mlの目標に対しての報告ですが2月末現在で1,884,629mlでございます。もう一息の所までできておりますので、目標達成に向かって最後の協力お願い致します。また、4月に入り気温も少し上がってきております。昨年から皆様にご協力を頂いております海岸や公園等の合同清掃アクティビティも、引き続きできる範囲で構いませんのでこちらの方もよろしく申し上げます。交付金事業であります海洋プラスチックゴミ問題の、授業内容のDVDも製作が終わり地区内の小学校384校にお配りし、全クラブにも配布が終了いたしました。中古眼鏡リサイクル事業におかれましても、今回のキャビネット会議にて受付を終了いたします。集まった眼鏡は4月10日現在で約2056個です。改めてご協力ありがとうございました。

最後に力不足で大島ガバナーが思う期待に十分に答えることができませんでしたが、なんとかゾーン・チェアパーソンの皆様、そして各委員会の委員長、副委員長の皆様、そしてキャビネット役員の皆様のお力添えを頂くことで、少しは協力できたかなと思っております。引き続き残りの期間よろしく願いいたします。

地区LCIFコーディネーター報告

L. 坂 本 齊

お疲れ様です。今期も残すところあと数か月となりました。大島ガバナーの今期の目標を少しでもお手伝いしたく、LCIF 寄付金 15 万ドル、会員一人 100 ドル寄付、「100 ドルで何ができるか」の啓発、地区シェアリング交付金およびその活用、0 クラブのヒアリング、新しい試みである LCIF スタンドの設置など、LCIF に関わる啓発・周知活動に従事してまいりました。

これらの活動においては、各クラブのレベルアップを願い、「やらされ感」のない信頼関係を会員の皆様と少しでも築けるよう努めてまいりました。今後も持続性のある、芯の通ったライオンズ精神に沿いながら、残りの期間を完全燃焼したいと考えております。

今期の LCIF の状況は、3 月 13 日現在サバンナで 146,906 ドル、0 クラブ 15 となっております。今後の課題として、寄付金のリジョン・ゾーンの偏りについて、皆様と共に考えてまいりたいと思います。強制ではなく容易ではありませんが、LCIF への理解を深めていただき、会員お一人おひとりから 100 ドルのご寄付をいただければ、ガバナーやキャビネット事務局、各リジョンの負担軽減、そして 331-B 地区の維持・発展につながります。

今後の活動といたしましては、シェアリング交付金の申請受付、クラブチャリティボウリング大会、4 月 4 日 MD331 チャリティボウリング決勝大会、5 月 23 日年次大会 LCIF スタンドがごございます。

結びに、今期ライオンズクラブ活動に関わられたすべての会員の皆様、ならびにご尽力・ご支援を賜りました大島ガバナー、第一副地区ガバナーL 広瀬、第二副地区ガバナーL 柳澤、キャビネット役員、ZC・Z 委員の皆様にご心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

地区WYPTコーディネーター報告

L. 木 下 裕 幸

皆様こんにちは。日頃ライオンズ活動に邁進されていることと思います。

HD1000 キャンペーンも各クラブでの活動のおかげで徐々にではありますが、成果が見えております。

先日には、キャビネットよりヘアードネーション啓発ポスターを 10 枚お配りいたしました。各地の幼稚園をはじめ小学校、中学校、高校など色々な場所にも掲示されていると思います。足りない場合のためにデータもお配りしたところです。これからこの活動がさらに広がり、一人でも多くの子供たちに笑顔を届けられるよう活動の輪を広げていきたいと思っております。

また、女性会員の入会促進ですが、331-B 地区で 7 月から 2 月までの入会者が 22 名となっております。大変多くの女性会員が入会されました。このことにつきましては各 ZC の皆様や各クラブの皆様の努力の結果であり感謝いたします。また、女性会員を 1 名でも増員したクラブにはアワードが贈られることになっておりますので、宜しく願い致します。

釧路キャビネットでの活動も残りわずかになりましたが、これからも一層広がるように最後までご協力お願いいたします。

長期計画リサーチ委員会

委員長 L. 伊 東 隆 志

大島ガバナーよりお受けしました次の諮問事項3点につきまして、答申書の取りまとめをいたします。

1. 副ゾーン・チェアパーソン制について
2. キャビネット事務局 事務員の固定化について
3. ガバナー候補の発掘（特に3リジョン）

このほか、ガバナーローテーションについて検討する予定となっております。

地区大会委員長

委員長 L. 高 瀬 力

第72回地区年次大会 本登録を2月27日に締め切りました。式典登録数800名、参加実数735名、晩餐会登録数623名、参加実数635名ゴルフコンペ129名でした。また、大会記念バッジも合わせて、購入のお願いをいたしましたが589個となりました。例年通り、抽選番号を付けて抽選を行いますので、たくさんの購入をお願い致します。

最後にホストクラブ・各部会で大会に向けて万全を期すよう準備を進めておりますので、多数のL・L Lのご登録をお願い申し上げます。

会則・コンプライアンス委員会

委員長 L. 高 橋 哲 也

331複合地区コンプライアンス規定については、日本ライオンズ会則委員会で作成された規定案に沿って331複合地区に合うように改定して作成されたものを制定し、同規定を2026年7月1日から施行することにつき、331複合地区年次大会で決議をいただく予定であります。

国際大会・国際協調・LCIF委員会

委員長 L. 石 田 健 太 郎

国際大会について、香港大会への登録者が3/5時点で、331MDで79人、331B地区で43名となっております。パレードの順番も決まり着々と準備が進んでおります。

LCIFについて、チャリティボウリング大会ですが、3/9時点14クラブ84名に参加していただきました。締め切りまでにあと何クラブか増える予定です。決勝大会にも複合要請の10名を超える参加者になる見込みです。参加していただいたライオンの皆様ありがとうございました。

献血・献眼・薬物防止委員会

委員長 L. 齋藤修嗣

献血 250 万 ml の報告ですが、櫻井コーディネーターから報告があった通り、あと 62 万 ml となりましたので、引き続きよろしく願いいたします。中古眼鏡も 2000 個以上集まっています。ご協力ありがとうございました。

YCE委員会

委員長 L. 小野寺一史

YCE 委員会からは 2026 夏期 YCE 事業について 3 月 9 日現在の状況は別紙（参考資料）のとおりとなっており、受入ホストファミリーの発掘にたいへん苦慮しております。

引き続き各リジョンの YCE 担当委員を先頭に働きかけを強化するとともに、キャビネット役員の皆様方にも今後ますますのご理解ご協力をお願いいたします。

M・I T委員会

委員長 L. 榎田欣也

当委員会で作成いたしますエコー誌は、8 月、10 月、2 月号と発行を終え、現在 4 月号は 4/16 着をめざして準備しています。最後の 6 月号も、各クラブの活動報告、キャビネット行事など、明るく楽しく掲載させて頂きますので、ご協力をよろしく願いいたします。

あと、年次大会のガバナーズアワードの一つに情報活動賞（例会会報誌等）がございまして、会報誌の審査をこれから行います。ご協力頂いたクラブの皆様ありがとうございました。

引き続き最後までご協力のほど、どうぞよろしく願いいたします。

オセアルフォーラム特別委員会

委員長 L. 杉本隆英

オセアルフォーラム札幌の最終決算報告は、まだ届いておりません。赤字ではないようだという情報しかございませんが、決算書がキャビネットに届きましたら、全クラブに発信になると思いますので、もうしばらくお待ちください。

あと、次回オセアルフォーラムは、2026 年 11 月 12-15 日マレーシア・ペナンです。多数のご参加のほどよろしく願いいたします。

平和ポスターコンテスト委員会

委員長 L. 吉 岡 幸 二

平和ポスター委員会のご報告申し上げます。89枚のポスターが集まり、最優秀賞1点、優秀賞5点、佳作10点の選考をし、受賞された作品には表彰状と参加賞等をお送りいたしました。応募された作品は、年次大会の晚餐会会場で全ての作品を掲示し、合わせて受賞の発表をしたいと思っております。

アラート委員会

委員長 L. 浅 野 敬 一

本年度も、アラート委員会に対するご支援ありがとうございました。

3年間の任期を無事務めあげられましたのも、会員皆様のご協力のおかげと感謝申し上げます。社会福祉協議会との協定も、この3年間で順調に進捗いたしました。

アラート委員会は、災害発生時に被災者の速やかなる支援を最大の使命としております。

今までも繰り返し申し上げておりますが、世界中、また日本国内におきましても、いつどこで起こるか予測不可能な甚大な災害。

災害時に我々ライオンズクラブとしてどんな支援ができるのか、被災地が何を求めているのかを正確に判断をして、支援活動をおこなって行かなければなりません。

2月11日に帯広市におきまして、災害ボランティア設置運営に関する研修会が行われました。非常に有意義な研修会でした。このような研修会が各地で行われております。各ライオンズクラブに置かれましても積極的に参加していただきたいと思っております。

本日の時点では終わっておりますが、大阪でアラートフォーラムが行われました。約800名以上の登録で331B地区から5名331A地区から5名の参加をいただきました。

公益財団法人 日本ライオンズ特別委員会

特別委員長 L. 柳 澤 豊

公益財団法人日本ライオンズにこれまで、ご寄付頂きました331-B地区内会員の皆様、ご理解とご支援誠にありがとうございました。

現在、2月末で11クラブ199名、金額¥523,000を賜りました。

日本ライオンズの事業内容等についても、フットサル大会の記念誌が全クラブに配布されたりと、徐々に331-B地区内に浸透してきていると思っております。更なる理解とご協力を、今後共どうぞよろしくお願い申し上げます。

參考資料



2026年夏期YCE派遣生リスト 2026.3.10 現在

	希望派遣先	ふりがな	性別	年齢	地区
		氏名			スポンサーLC
1	フランス	たかはし れん	男	16	331-B
		高橋 蓮			士別
2	スペイン	やまざき ゆうな	女	22	331-B
		山崎 優奈			網走
3	スイス	せいの れあ	男	16	331-B
		清野 鈴葵			釧路みなと
4	イタリア マレーシア カナダ	しむら かずき	男	18	331-C
		志村 一稀			苫小牧ハスカップ
5	スペイン	にしなが あかり	女	22	331-B
		西永 朱里			上富良野

2026年夏期YCE来日生リスト 2026.3.10現在

	国	名前	性別	年齢	
1	フィンランド	Miio KIVISTÖ	男	17	
2	フィンランド	Meeri RÄTY	女	18	
3	フィンランド	Minea PEURANEN	女	18	
4	フィンランド	Karolina DUCZEK	女	18	
5	スイス	Elena FONTANA	女	18	
6	スイス	Niccolo Dario Valentino ISELI	男	19	
7	スイス	Sofia Iniesta GONZALVEZ	女	19	
8	スペイン	Gonzalo Daniel JIMENEZ MATA	男	18	
9	スペイン	Paula GONGZÁLEZ	女	20	
10	ハンガリー	Liza KAUSCHITZ	女	18	
11	チェコ	Matej JAROS	男	23	
12	スロバキア	Sarah Nelly SVEDORA	女	17	
13	フランス	Philippine DEFFONTAINES	女	17	
14	フランス	Hanaé GUERFI	女	20	

2026年夏期YCEホストファミリーリスト 2026年3月10日 現在

	ホストクラブ名	ホストファミリー	受入希望・性別
1	北見白樺	山中 大輔 L	後半 女性
2	北見中央	渡辺 力 L	後半 女性

2025-2026年度 地区及びクラブシェアリング交付金申請可能額更新のご案内

- ・2024-2025年の寄付実績に基づき、本年度のシェアリング交付金申請可能額が付与されました。数字は2025年7月29日現在です。
- ・昨年度に「奉仕に力を」資金に5千ドル以上の寄付をして新規付与額を得たクラブを表の上段にまとめてあります。その下に地区シェアリングの金額があります（黄色ハイライト）。地区シェアリングは、昨年度の地区の寄付及び5千ドル未満のクラブの寄付総額に基づいて付与されています。5千ドル未満のクラブ寄付実績を地区シェアリングの金額の下に入れてありますのでご参照ください。また、昨年度の寄付がなかったクラブで、累積申請可能額を保有するクラブを下に加えてあります（オレンジハイライト）。
- ・クラブの合併などで特別な事務処理を行った場合には、該当するクラブの欄外に説明を加えてあります。
- ・リードギフト及び4回以上メジャーギフトの誓約をしているメンバーがいるクラブでは、2024-2025年度の寄付額が5千ドル未満でも新規付与額がついている場合があります。この件の詳細についてご質問ございましたら、オセアル調整事務局LCIF課までお問い合わせください。

<申請額の留意点>

- ・交付金申請は、累計申請可能額を上限として1ドル以上の単位（1ドル以下は切り捨て）で申請することができます。

<数字に関するお問い合わせ先>

- ・昨年度寄付額及び申請可能額に関するご質問は、LCIF寄付者サービス課 donorassistance@lionsclubs.org までお問い合わせください。

地区	クラブID	クラブ名	2024-2025年度 寄付額	2025-2026年度 新規付与額	累計申請可能額
District 331 B	24888	OBIHIRO KASHIWA	\$8,533.45	\$1,280.02	\$10,500.48
District 331 B	24853	KITAMI CHUO	\$7,970.32	\$1,195.55	\$5,864.06
District 331 B	24829	FURANO	\$6,133.38	\$920.01	\$984.01
District 331 B	66207		\$49,356.00	\$7,403.40	\$33,762.77
District 331 B	35115	HIGASHIKAWA	\$93.05	\$0.00	
District 331 B	24832	HABORO	\$1,020.01	\$0.00	
District 331 B	24841	HONBETSU	\$593.39	\$0.00	
District 331 B	34152	BIFUKA	\$66.70	\$0.00	
District 331 B	24816	BIHORO	\$1,266.57	\$0.00	\$99.11
District 331 B	24809	ASAHIKAWA	\$2,480.06	\$0.00	\$1,800.05
District 331 B	24810	ASAHIKAWA CHUO	\$240.03	\$0.00	\$765.00
District 331 B	110481	ASAHIKAWA CRYSTAL	\$340.00	\$0.00	
District 331 B	24808	ASAHIKAWA HEIWA	\$646.77	\$0.00	\$10,174.08
District 331 B	24811	ASAHIKAWA HIGASHI	\$260.03	\$0.00	
District 331 B	50000	ASAHIKAWA NANAKAMADO	\$666.35	\$0.00	\$750.15
District 331 B	24812	ASAHIKAWA TAISETSU	\$1,800.01	\$0.00	\$0.04
District 331 B	154201	Asahikawa Virtual	\$172.80	\$0.00	
District 331 B	32898	AIBETSU	\$230.00	\$0.00	\$855.00
District 331 B	24803	ABASHIRI	\$3,000.01	\$0.00	
District 331 B	29237	ABASHIRI KATSURA	\$106.73	\$0.00	
District 331 B	24854	KITAMI	\$4,800.04	\$0.00	
District 331 B	33913	KITAMI SHIRAKABA	\$2,450.18	\$0.00	\$945.05
District 331 B	24863	KUSHIRO MINATO	\$4,014.06	\$0.00	\$1,134.36
District 331 B	31715	KUSHIRO NUSAMAI	\$173.44	\$0.00	\$5,438.28
District 331 B	49466	KUSHIRO SHITSUGEN	\$340.10	\$0.00	
District 331 B	24864	MAKUBETSU	\$340.00	\$0.00	
District 331 B	40343	MONBETSU OKHOTSK	\$460.01	\$0.00	
District 331 B	24865	MASHIKE	\$560.01	\$0.00	
District 331 B	24880	NEMURO	\$1,580.20	\$0.00	\$1,011.41
District 331 B	24879	NAYORO	\$292.21	\$0.00	\$967.51
District 331 B	24885	OBIHIRO	\$633.58	\$0.00	\$8,817.06
District 331 B	24886	OBIHIRO CHUO	\$300.01	\$0.00	\$1,675.00
District 331 B	24887	OBIHIRO HEIGEN	\$256.55	\$0.00	\$2,488.80
District 331 B	78571	OBIHIRO SAKURA	\$134.08	\$0.00	\$795.00
District 331 B	41631	OBIHIRO SUZURAN	\$240.07	\$0.00	
District 331 B	61253	SHIRATAKI	\$530.71	\$0.00	
District 331 B	24913	SHIRANUKA	\$200.01	\$0.00	
District 331 B	24916	SHIBECHA	\$2,470.27	\$0.00	
District 331 B	24912	SHIBETSU	\$1,356.30	\$0.00	\$1,125.02
District 331 B	127031	Saroma	\$380.00	\$0.00	
District 331 B	24896	OTOFUKE	\$880.00	\$0.00	
District 331 B	24899	RUMOI	\$420.03	\$0.00	
District 331 B	24900	RUMOI MINATO	\$3,134.82	\$0.00	\$2,639.08
District 331 B	40081	UTANOBORI	\$100.03	\$0.00	
District 331 B	24929	TSUBETSU	\$2,186.73	\$0.00	

District 331 B	24939	WAKKANAI	\$1,500.02	\$0.00	
District 331 B	56038	WAKKANAI HOKUTO	\$3,319.04	\$0.00	\$4,125.05
District 331 B	59952	TANNO	\$40.03	\$0.00	
District 331 B	24927	TOMA	\$320.03	\$0.00	
District 331 B	24934	TOYOKORO	\$380.01	\$0.00	
District 331 B	24857	KUSHIRO	\$0.00	\$0.00	\$4,037.61

新しいシェアリング交付金 寄付レベルの枠組みについて

お世話になっております。地区およびクラブシェアリング交付金は、クラブが直接自らのコミュニティ奉仕事業のために申請し、使用することができる交付金を通じて地域コミュニティでのクラブ奉仕事業に力を与えるとともに、クラブに LCIF を身近に感じていただく目的で 2018 年に導入されたプログラムです。その申請件数は年々増加し、日本においても年間 200 件以上が申請されるプログラムになりました。

このプログラムをさらに有効に活用いただけるものとするため、LCIF 理事会は以下の通りシェアリング交付金の可能資金となる寄付レベルの枠組みを変更いたしました。今年度(2025～2026 年度)中(2025 年 7 月 1 日～2026 年 6 月 30 日)およびそれ以降に行われる寄付については、来年度以降、新たな寄付および交付レベルが適用されます。クラブまたは地区の寄付額が多ければ多いほど、交付金として申請できる金額も大きくなります。これまで通り、交付には、LCIF の承認が必要となります。

クラブ寄付額(年度中)

- US\$5,000 ～ \$9,999.99 の寄付 15%を交付金として利用可
- US\$10,000 ～ \$19,999.99 の寄付 20%を交付金として利用可
- US\$20,000 以上の寄付 30%を交付金として利用可

地区寄付額(年度中)※US\$5,000 未満のクラブ寄付は地区寄付に算入されます。

- US\$10,000 ～ \$19,999.99 の寄付 15%を交付金として利用可
- US\$20,000 ～ \$29,999.99 の寄付 20%を交付金として利用可
- US\$30,000 以上の寄付 30%を交付金として利用可

シェアリング交付金を利用するための最低寄付額は、これまで通りクラブでは US\$5,000、地区では US\$10,000(一年度につき)です。交付金事業は LCIF の承認を受ける必要があり、「奉仕に力を」資金(用途無指定)への寄付のみが対象となります。災害指定された寄付は 100%指定目的に使用されるため、シェアリング交付金資金の対象にはなりません。

ライオンズクラブ国際協会331複合地区
2025—2026年度
一般会計収支中間報告書
(自2025. 7. 1～至2025. 12. 31)

(単位:円)

支出の部				収入の部			
科 目	予 算 額	執 行 額	予算対比	科 目	予 算 額	執 行 額	予算対比
日本ライオンズ会費	6,956,640	3,478,320	3,478,320	前年度繰越金	4,630,463	4,630,463	0
会 議 費	1,500,000	1,061,152	438,848	複 合 地 区 費	10,434,960	5,264,100	5,170,860
旅 費・交 通 費	1,500,000	1,014,490	485,510	日本ライオンズ会費	6,956,640	3,478,320	3,478,320
通 信 費	500,000	203,201	296,799	雑 収 入	8,000	12,636	△ 4,636
事 務 所 費	2,900,000	1,414,849	1,485,151				
消 耗 品 費	100,000	11,126	88,874				
交 際 費	50,000	0	50,000				
備 品 費	50,000	0	50,000				
印 刷 費	1,000,000	401,333	598,667				
人 件 費	4,000,000	1,768,285	2,231,715				
福 利 厚 生 費	500,000	170,555	329,445				
雑 費	200,000	58,900	141,100				
慶 弔 費	300,000	39,020	260,980				
国 際 関 係 費	800,000	0	800,000				
退 職 金 積 立	240,000	120,000	120,000				
予 備 費	1,433,423		1,433,423				
剰 余 金		3,644,288	△ 3,644,288				
計	22,030,063	13,385,519	8,644,544	計	22,030,063	13,385,519	8,644,544

ライオンズクラブ国際協会331複合地区
2025-2026年度
YCE特別会計収支中間報告書
(自2025. 7. 1～至2025. 12. 31)

支出の部				収入の部			
科目	予算額	執行額	予算対比	科目	予算額	執行額	予算対比
派遣・受入関係	700,000	444,450	255,550	前年度繰越金	3,417,203	3,417,203	0
委員会関係	500,000	29,360	470,640	3地区負担金	450,000	225,000	225,000
事務・通信費	200,000	7,260	192,740	キャンプ負担金	0	0	0
キャンプ費用	1,500,000	1,329,571	170,429	雑収入	550,000	450,000	100,000
予備費	1,517,203	0	1,517,203				
剰余金		2,281,562	△ 2,281,562				
計	4,417,203	4,092,203	325,000	計	4,417,203	4,092,203	325,000

ライオンズクラブ国際協会331複合地区
2025-2026年度
レオ特別会計収支中間報告書
(自2025. 7. 1～至2025. 12. 31)

支出の部				収入の部			
科目	予算額	執行額	予算対比	科目	予算額	執行額	予算対比
レオ支援金	150,000	150,000	0	前年度繰越金	1,016,845	1,016,845	0
予備費	1,166,845	0	1,166,845	3地区負担金	300,000	150,000	150,000
剰余金		1,016,845	△ 1,016,845				
計	1,316,845	1,166,845	150,000	計	1,316,845	1,166,845	150,000

ライオンズクラブ国際協会331複合地区
2025-2026年度
緊急災害援助資金収支中間報告書
(自2025. 7. 1～至2025. 12. 31)

(単位:円)

支出の部				収入の部			
科目	予算額	執行額	予算対比	科目	予算額	執行額	予算対比
緊急援助資金	11,209,095	0	11,209,095	前年度繰越金	11,209,095	11,209,095	0
				クラブ拠出金	0	0	0
剰余金		11,217,860	△ 11,217,860	雑収入	0	8,765	△ 8,765
計	11,209,095	11,217,860	△ 8,765	計	11,209,095	11,217,860	△ 8,765

ライオンズクラブ国際協会331複合地区
2025-2026年度
第72回年次大会特別会計収支中間報告書
(自2025. 7. 1～至2025. 12. 31)

(単位:円)

支出の部				収入の部			
科目	予算額	執行額	予算対比	科目	予算額	執行額	予算対比
第72回年次大会費	2,012,932	0	2,012,932	前年度繰越金	853,492	853,492	0
				複合地区大会費	1,159,440	584,900	574,540
剰余金		1,439,519	△ 1,439,519	雑収入	0	1,127	△ 1,127
計	2,012,932	1,439,519	573,413	計	2,012,932	1,439,519	573,413

ライオンズクラブ国際協会331複合地区
 一般会計・特別会計
 貸借対照表
 (2025年12月31日現在)

(単位:円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
現金	465,056	預り金	1,982,501
大会現金	70,935		
普通預金(北海道銀行)	8,376,586	退職積立金	3,720,000
普通預金(緊急援助資金)	11,217,860		
普通預金(年次大会)	765,684	一般会計剰余金	3,644,288
普通預金(退職積立金)	3,722,744	YCE特別会計剰余金	2,281,562
		レオ特別会計剰余金	1,016,845
立替金	123,710	緊急災害援助資金	11,217,860
		大会特別会計剰余金	1,439,519
敷金	560,000		
合計	25,302,575	合計	25,302,575

ライオンズクラブ国際協会 331 複合地区
2025－2026 年度中間会計監査報告書

私たちは、331 複合地区 2025－2026 年度会計期間にかかる中間会計監査を行い次のとおり報告します。

1. 監査の方法の概要

会計帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて、中間財務諸表の正確性を検討した。

2. 監査意見

各会計の収支計算書及び貸借対照表は会計帳簿の記載金額と一致しており、収支及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。

以上

2026年3月8日

ライオンズクラブ国際協会 331 複合地区
2025－2026 年度

会計監査委員 大津幸三 

会計監査委員 児島克己 

ライオンズクラブ国際協会 331 複合地区
第 72 回複合地区年次大会要綱

開催地 札幌市
 開催期日 2026年5月31日（日）

月 日	時 間	行事内容	開催場所	登録料
5月31日 （日）	12:30～13:15	代議員登録	京王プラザホテル札幌 〒060-0005 札幌市中央区 北5条西7丁目2-1 TEL: 011-271-0111	5,000 円
	13:30～14:30	代議員総会		
	14:50～16:30	大会式典		
	16:50～18:20	懇親会		15,000 円

ライオンズクラブ国際協会331複合地区
第72回年次大会委員会組織図

元国際理事	
鶴嶋 浩二	(札幌中島)
杉本 忠夫	(札幌ライラック)

大会議長
 ガバナー協議会議長
設楽 幸子
 (札幌アカシヤ)

大会名誉顧問		
【 A 地区 】	【 B 地区 】	【 C 地区 】
美田 法賢 (札幌バイオニア)	伊東 隆志 (北見)	渡部 義男 (苫小牧中央)
松浦 淳一 (岩見沢はまなす)	藤原 回向 (稚内北斗)	馬場 哲也 (函館東)
諏訪 昇三 (札幌時計台)	阿部 昭 (士 別)	須藤 敏幸 (伊 達)
鈴木 善一 (千 歳)	中谷 宣巨 (釧 路)	中村 全博 (小 樽)
荒井 喜和 (札幌清田)	香川 俊雄 (帯広中央)	北島 孝雄 (木古内・知内)
能澤 正明 (札幌トラスト)	奥山 壽雄 (白 滝)	吉原 成昌 (苫小牧ハスカップ)
柏崎 昭朗 (岩見沢中央)	山田 正昭 (釧路ぬさまい)	本所 光男 (室蘭東)
安部 尚明 (札幌赤レンガ)	佐藤 信雄 (富良野)	佐々木忠康 (小 樽)
三澤 聖一 (札幌新星)	井ノ浦義明 (稚内北斗)	松浦 則雄 (函館北斗)
小野寺眞悟 (札幌北の杜)		高橋 和雄 (苫小牧)
渡辺 修 (美 唄)		奥山 幸一 (函館みなど)
山口 富雄 (札幌クラーク)		小玉 誠 (苫小牧白鳥)
宮脇 寛海 (恵 庭)		後藤 忍 (函館グリーン)
古谷野 環 (美 唄)		田中 稔 (苫小牧中央)
岩井 淳佳 (札幌アカシヤ)		荒川 隆志 (室蘭東)

大会副議長	
B地区ガバナー	
大島 尚久	(釧路みなど)
A地区ガバナー	
山崎 巖	(札幌北の杜)
C地区ガバナー	
高橋 伸介	(室蘭東)

年次大会委員会	
委員長	
小川 裕也	(札幌すすきの)
副委員長	
古川 法之	(札幌すすきの)

ホストクラブ	
大会副委員長一会長	
折田 純一	(札幌大通)
荒木 重視	(札幌すすきの)
田中 基博	(札幌北の杜)
佐藤 学	(札幌アカシヤ)
中川 賢一	(札幌時計台)
山崎 博史	(札幌わかば南)

大会会計監査	
大津 幸三	(釧路みなど)
児玉 克己	(室蘭東)

ガバナー協議会運営委員会	
委員長	
村重 欣延	(札幌アカシヤ)
副委員長	
片山 雅裕	(札幌北の杜)
木村 宏幸	(釧路みなど)
門脇 宏幸	(室蘭東)
事務局長	
熊谷 敬子	(札幌北の杜)

総務部会	
部会長	荒木 重視 (札幌すすきの)
副部会長	山崎 信孝 (札幌すすきの)
代議員部会	
部会長	塗 竜太郎 (札幌アカシヤ)
副部会長	山本 國昭 (札幌アカシヤ)
式典部会	
部会長	中川 賢一 (札幌時計台)
副部会長	今村 太亮 (札幌時計台)
会場部会	
部会長	高田 英明 (札幌大通)
副部会長	折田 純一 (札幌大通)
大会記念誌部会	
部会長	美馬 剛 (札幌わかば南)
副部会長	熊谷 優範 (札幌わかば南)
懇親会部会	
部会長	田中 基博 (札幌北の杜)
副部会長	高橋 寛 (札幌北の杜)

年次大会議事規則

1. 3 3 1 複合地区第 7 2 回年次大会は、大会に参加した複合地区内の現・元国際協会役員およびクラブ代議員をもって構成する。その他の会員および同伴者は大会に参加することができるが、発言したり投票したりすることはできない。
2. クラブ代議員は、クラブ会長が署名した資格証明書を公式プログラムに記載された登録時間内に資格証明委員会に提出し、資格を確認されなければならない。
3. 代議員総会の定足数は登録代議員の過半数とする。
4. 大会議長はガバナー協議会議長、大会副議長にはガバナー協議会副議長及び幹事、会計が当たる。大会議長が欠けた場合は副議長がこれに代わる。
5. 議長は下記の委員会を設け、代議員のうちからその委員長および副委員長（さらに、必要な場合は顧問）を任命する。
 - (1) 資格証明委員会
 - (2) 議事運営委員会
 - (3) 国際理事候補者推薦手続委員会
 - (4) 決議委員会
 - (5) 指名・選挙委員会
6. 委員会の議長には委員長が就任し、委員長に事故あるときは委員がその職務を代行する。
7. 議決はすべて、出席し投票した代議員全員の過半数をもって決する。可否同数の場合は議長の裁定するところによる。ただし、複合地区会則改正には3分の2以上の賛成投票を要する。クラブ代議員が投票できないときは補欠がこれに代わる。
8. 議案は、あらかじめ文書をもって各地区ガバナーを経由して第3回ガバナー協議会開催日の2週間前までにガバナー協議会に提出する。ガバナー協議会はこれを検討のうえ大会の議案を決定し、大会開催30日前までに各クラブに通知する。それ以外の方法で提出された議案を審議しようとするときは、動議議案とし大会に出席したすべての代議員の3分の2以上の同意を必要とする。ただし、その議案は前もって文書で議長に提出しなければならない。
9. 発言は、議長の許可を得てから行う。発言者は所属クラブ及び氏名を明確に告げてから発言する。議案に対し代議員の質疑は1回3分間とし再質問2回を超えてはならない。但し、大会では議長が特に必要と認めた場合はこの限りではない。
10. 別に定めのない限り、議事手続きはロバート議事規則による。

ライオンズクラブ国際協会 331 複合地区
第72回年次大会 議事運営委員会構成表

大会議長	ガバナー協議会議長	L 設 楽 幸 子 (札幌アカシヤ)
大会副議長	ガバナー協議会副議長	L 大 島 尚 久 (釧路みなと)
大会副議長	ガバナー協議会幹事	L 山 崎 巖 (札幌北の杜)
大会副議長	ガバナー協議会会計	L 高 橋 伸 介 (室 蘭 東)

資 格 証 明 委 員 会

委員長	ガバナー協議会議長	L 設 楽 幸 子 (札幌アカシヤ)
副委員長	ガバナー協議会副議長	L 大 島 尚 久 (釧路みなと)
副委員長	ガバナー協議会幹事	L 山 崎 巖 (札幌北の杜)
副委員長	ガバナー協議会会計	L 高 橋 伸 介 (室 蘭 東)

議 事 運 営 委 員 会

委員長	ガバナー協議会副議長	L 大 島 尚 久 (釧路みなと)
副委員長	ガバナー協議会運営委員会委員長	L 村 重 欣 延 (札幌アカシヤ)
副委員長	ガバナー協議会運営委員会副委員長	L 片 山 雅 裕 (札幌北の杜)
副委員長	ガバナー協議会運営委員会副委員長	L 木 村 宏 幸 (釧路みなと)
副委員長	ガバナー協議会運営委員会副委員長	L 門 脇 宏 幸 (室 蘭 東)
副委員長	ガバナー協議会運営委員会事務局長	L 熊 谷 敬 子 (札幌北の杜)

国際理事候補者推薦手続委員会

委員長	ガバナー協議会議長	L 設 楽 幸 子 (札幌アカシヤ)
副委員長	ガバナー協議会副議長	L 大 島 尚 久 (釧路みなと)
副委員長	ガバナー協議会幹事	L 山 崎 巖 (札幌北の杜)
副委員長	ガバナー協議会会計	L 高 橋 伸 介 (室 蘭 東)

決 議 委 員 会

委員長	元議長・一般社団法人日本ライオンズ副理事長	L 諏 訪 昇 三 (札幌時計台)
副委員長	A地区第一副地区ガバナー	L 其 田 勝 則 (砂 川)
副委員長	B地区第一副地区ガバナー	L 広 瀬 寛 人 (富 良 野)
副委員長	C地区第一副地区ガバナー	L 山 本 憲 治 (小樽みなと)

ライオンズクラブ国際協会331複合地区

第72年次大会収支予算

(単位:円)

支 出 の 部		収 入 の 部	
科 目	予 算 額	科 目	予 算 額
総務部会	450,000	前年度繰越金	853,492
代議員部会	400,000	複合地区大会費	1,183,520
式典部会	500,000	大会登録料 @5,000×200名	1,000,000
会場部会	300,000	懇親会登録料 @15,000×150名	2,250,000
大会記念誌部会	750,000		
懇親会部会	2,250,000		
予備費	637,012		
合 計	5,287,012	合 計	5,287,012

第72回年次大会登録料振込指定銀行

■銀行名 北海道銀行 札幌駅北口支店
 ■口座番号 普通預金 1158832
 ■口座名 ライオンズクラブ331複合地区年次大会
 議長 設楽 幸子

**ライオンズクラブ国際協会 331 複合地区
第 7 2 回年次大会代議員総会提出議案（案）**

- 第 1 号議案 2024－2025 年度 一般社団法人日本ライオンズ会計決算報告承認の件
- 第 2 号議案 2025－2026 年度 一般社団法人日本ライオンズ上半期会計決算報告承認の件
- 第 3 号議案 2024－2025 年度 331 複合地区会計決算報告の承認を求める件
- 第 4 号議案 2025－2026 年度 331 複合地区会計中間決算報告の承認を求める件
- 第 5 号議案 2025－2026 年度複合地区会計決算報告の審議を次年度ガバナー協議会に委譲する件
- 趣旨説明 本年次大会における複合地区会計報告は、大会期日が年度途中に開催されるため任期を通じた報告は不可能なため、2025-2026 年度の後期決算を含む年次決算の審議の権限を次年度ガバナー協議会に委譲することを承認願いたい。
- 第 6 号議案 ライオンズクラブ国際協会 331 複合地区コンプライアンス規定の件
- 趣旨説明 本規程は、ライオンズクラブ国際協会の基本理念に基づき、健全な組織体制の維持と社会的信用の向上を図るため、コンプライアンスに関する基本事項を定めるものである。複合地区・準地区・クラブの自主性を尊重しつつ、問題発生時に事態の深刻化を未然に防ぎ、迅速かつ適切に対処できる体制を構築することを目的として、331複合地区コンプライアンス規定を制定する。ついては、本規程を2026年7月1日より施行することに承認願いたい。
- 第 7 号議案 2026-2028 年度国際理事候補者支援の件
- 趣旨説明 2026-2028 年度国際理事候補者として、335-C 地区・京都南ライオンズクラブ所属 L 松岡 勲（まつおか いさお）元協議会議長が 8 複合地区の統一候補者として決定されております。
- 本年 7 月 3 日より中国・香港にて開催される（第 108 回）国際大会において投票支援を行なうことにご賛同、ご協力を願いたい。
- 第 8 号議案 次年度複合地区年次大会開催地の件
- 趣旨説明 2026-2027 年度 331 複合地区年次大会の開催地は札幌市とすることを承認願いたい。

報告事項

第1号報告 2026-2027年度ガバナー協議会議長の選任について

趣旨説明 複合地区会則第5条4項に則り、次期ガバナー協議会議長には331-A地区 現地区ガバナーL山崎 巖（札幌北の杜LC）が選任されました。

第2号報告 第71回331複合地区年次大会代議員総会で承認済である一般社団法人日本ライオンズ賛助会費値上げの件

趣旨説明 2016年1月より、賛助会費を月額80円に据え置いて来たが、昨今の経済情勢を踏まえ、組織存続の為に値上げを行う。2025年度より2年において40円ずつ計80円の値上げを行うことになった。これにより賛助会費については、2025年度は120円となり、2026年7月より月額160円となる。



We Serve

釧路キャビネット事務局

〒085-0031 釧路市中島町6番25号

TEL (0154) 68-5647・FAX (0154) 68-5648

E-mail: kushirocab331b@marimo.or.jp